

公立大学法人沖縄県立看護大学 年 報



令和7年度（2025年度）
公立大学法人沖縄県立看護大学
OKINAWA PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

目次

概要

1. 大学の使命	1
2. 沿革	1
3. 大学の組織	3
1) 大学運営組織図	
2) 教職員の構成	
(1) 専任教員	
(2) 事務職員	
(3) その他	
4. 附属図書館	4
5. 国際交流	4
6. 地域貢献・地域社会への開放	5
1) 公開講座	
2) 看護職の継続教育	
3) ボランティア活動（大学企画）	
4) ボランティア活動（他機関企画）	
5) 協働連携	
6) オープンキャンパス	
7. FD・SD活動	13
1) FD活動	
(1) 実施状況	
(2) 次年度に向けた課題	
2) SD活動	
(1) 実施状況	
(2) 次年度に向けた課題	

学事

<看護学部>

1. 令和7年度学事暦	16
2. 教育	17
1) 教育目標	
2) 教育の目的	
3) カリキュラム	
4) 学生指導	

5) 臨地実習	
(1) 実習科目と段階別実習	
(2) 実習に関わる感染症対策	
(3) 倫理教育	
(4) ハラスメント対策	
(5) 実習施設一覧	
(6) 次年度の課題	
3. 教員構成	25
4. 学生の状況	29
1) 志願者・受験者・入学者数	
2) 学年別学生数	
3) 奨学金貸与・授業料減額免除の状況	
4) 令和7年度卒業生数と進路	
5. 学生の健康管理	31
1) 定期的な健康管理の実施	
2) 保健室の利用状況	
3) 学生相談室の利用状況	
4) 学校医の所見	
6. 学生の活動	33
1) 自治活動	
(1) 学生会の執行体制	
(2) 学生会の主な活動	
2) 自主企画のボランティア活動	
3) 研究活動	
4) 社会活動	
7. 看護卒業研究一覧	35
＜大学院看護学研究科＞	
1. 令和7年度学事暦	37
2. 教育	38
1) 教育目標	
2) 教育課程の編成	
3) 履修・研究指導	
3. 教員構成	43
1) 博士前期課程	
2) 博士後期課程	

4. 学生の状況	46
1) 志願者・受験者・入学者数	
2) 学年別学生数	
3) 長期履修制度を利用している学生数	
4) 奨学金貸与の状況	
5) 令和7年度修了者数と進路	
5. 学位論文一覧	47

<別科助産専攻>

1. 令和7年度学事暦	48
2. 教育	49
1) 教育目標	
2) 教育課程の編成	
3) カリキュラム	
4) 学生指導	
5) 臨地実習	
(1) 実習の概要	
(2) 実習協議会	
(3) 学生の実習評価	
(4) 実習施設一覧	
(5) 次年度の課題	
3. 教員構成	51
4. 学生の状況	52
1) 志願者・受験者・入学者数	
2) 学生数	
3) 奨学金貸与の状況	
4) 令和7年度修了者数と進路	
5. 助産研究一覧	54

運営

<法人組織>

1. 全学自己点検・評価検討委員会	55
2. 危機管理委員会	57
3. 情報セキュリティ委員会	59
4. 人事委員会	61

<大学組織>

5.	教授会	62
6.	教務委員会	65
7.	実習専門部会	73
8.	入学試験委員会	78
9.	学生委員会	80
10.	別科助産専攻運営委員会	83
11.	研究科委員会	85
12.	研究科教務委員会	88
13.	研究科入学試験委員会	92
14.	学術情報委員会	94
15.	大学公式ウェブサイト運営会議	97
16.	大学広報委員会	98
17.	衛生委員会	101
18.	ハラスメント防止・対策委員会	103
19.	研究不正防止計画推進委員会	105
20.	研究・研修委員会	107
21.	紀要編集委員会	111
22.	研究倫理審査委員会	113
23.	地域協働連携センター運営委員会	115
24.	国際交流室運営委員会	117
25.	沖縄島嶼保健看護協働センター	120
26.	IR・データサイエンス教育推進委員会	122

概 要

1. 大学の使命

本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日の状況および社会的要請、また、グローバル化が進む社会における人々の健康上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することである。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および継続教育の中核的機関として看護実践および学術的発展に寄与することである。

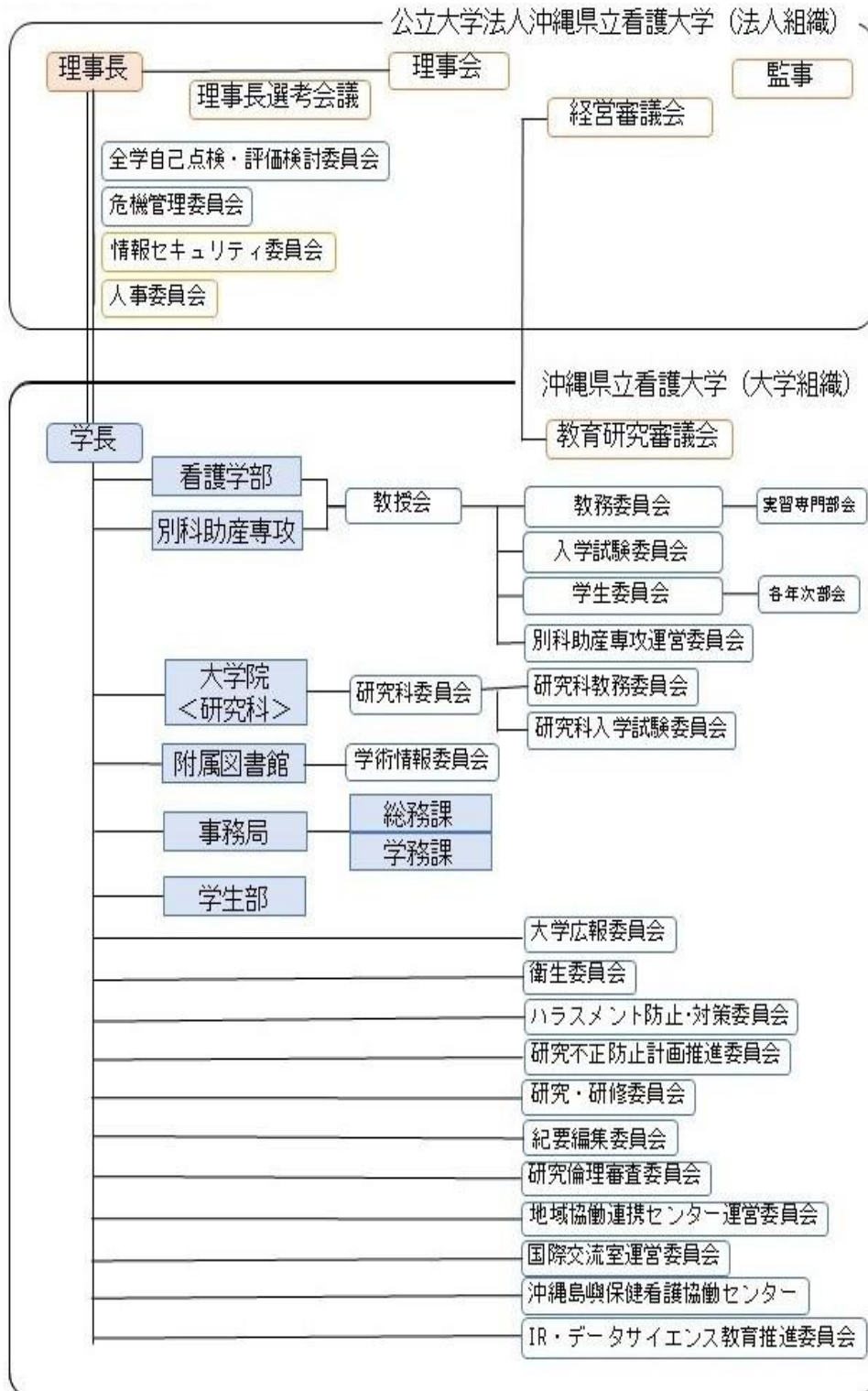
2. 沿革

1999年（平成11年）	4月	沖縄県立看護大学開学
	6月	沖縄県立看護大学 後援会設立総会開催
	7月	開学記念式典・祝賀会・記念講演を開催
	11月	第1回キャンパスフェアを開始 （平成12年度に「看大祭」に改称・以後毎年開催）
2000年（平成12年）	8月	第1回オープンキャンパス開催（以後毎年開催）
2001年（平成13年）	7月	ハワイ大学との学術交流協定締結 第1回海外研修セミナー ハワイ2001実施
2003年（平成15年）	3月	第1回卒業式
2004年（平成16年）	4月	沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程開設
2006年（平成18年）	3月	第1回博士前期課程学位授与式
2007年（平成19年）	3月	第1回博士後期課程学位授与式 大学機関別認証評価（1回目）
2008年（平成20年）	4月	沖縄県立看護大学 別科 助産専攻 開設
	9月	文部科学省助成 「島嶼環境を活かして学ぶ保健看護の教育実践」・ 「島嶼看護の高度実践指導者の育成」採択
	10月	開学10周年記念式典・祝賀会・記念講演を開催
2009年（平成21年）	3月	第1回別科助産専攻修了式
	7月	沖縄県立看護大学同窓会統合記念総会
	9月	文部科学省助成 「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄 構想」連携校
2011年（平成23年）	2月	大学院前期課程 専門看護師教育課程の認定（精神看護、老年看護、がん看護、慢性疾患看護） 台北医学大学との学術交流協定締結
	10月	文部科学省助成 「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」採択

	11月	地域医療再生基金「島しょ・へき地の看護職者の人材養成・人材確保事業」採択
2012年（平成24年）	9月	文部科学省助成「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」連携校採択
2014年（平成26年）	3月	大学院前期課程 専門看護師教育課程の認定（小児看護） 大学機関別認証評価（2回目）
	11月	地域医療介護総合確保基金「島しょ・へき地の地域包括ケアシステム構築支援事業」採択
2015年（平成27年）	2月	国立大学法人琉球大学、公立大学法人名桜大学、沖縄県警察本部との「安全・安心なまちづくりに関する協定書」を締結
	3月	「沖縄県立看護大学あり方検討委員会」発足 大学院前期課程高度実践看護師教育課程の認定（プライマリケア）
2016年（平成28年）	10月	「第1回世界のウチナーンチュ・ナースデイ」開催
2017年（平成29年）	4月	那覇市と「災害時における避難所等施設利用に関する協定書」を締結
2018年（平成30年）	9月	開学20周年記念式典・記念講演を開催
2020年（令和2年）	12月	琉球大学大学院保健学研究科と単位互換に関する協定を締結
2021年（令和3年）	3月	大学機関別認証評価（3回目）
2022年（令和4年）	4月	公立大学法人沖縄県立看護大学 設立
2022年（令和4年）	10月	「第2回世界のウチナーンチュ・ナースデイ」開催
2023年（令和5年）	11月	国立台北護理健康大学との学术交流協定締結
2024年（令和6年）	6月	多良間村と連携協力に関する協定を締結
	7月	琉球大学大学院保健学研究科、名桜大学大学院看護学研究科と単位互換に関する協定を締結
2026年（令和8年）	2月	大学院前期課程高度実践看護師教育課程の更新認定（プライマリケア）

3. 大学の組織

1) 大学運営組織図



2) 教職員の構成

(1) 専任教員

令和8年3月

教授	10名
准教授	13名
講師	6名
助教	11名
助手	4名
看護教育支援専門員	5名
合計	49名

(2) 事務職員

令和8年3月

局長	1名
学務課長	1名
総務課長	1名
主査	5名
主任	1名
主事	8名
事務補助	6名
合計	23名

(3) その他

令和8年3月

図書業務専門員	4名
保健業務専門員	1名
合計	5名

4. 附属図書館

沖縄県立看護大学附属図書館は、看護を主題とする大学図書館である。そのため、蔵書構成としては、看護学の専門図書ならびに逐次刊行物を中心に所蔵し、その周辺領域である自然科学、社会科学の図書や教養科目ならびに専門科目に関する基本図書は選択的に収集している。

表 分類別蔵書冊数 (図書)

2026年1月28日時点

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	看護	合計
不明	1	2	8	34	6	0	0	1	2	13	5	72
洋書	101	316	113	1,113	2,793	88	28	60	1,332	190	1,262	7,396
和書	1,046	2,703	1,347	9,614	21,123	885	332	1,345	1,474	3,442	16,520	59,831
合計	1,148	3,021	1,468	10,761	23,922	973	360	1,406	2,808	3,645	17,787	67,299

令和7年度の総開館日数は310日、総入館者数は41,377人、一日あたりの平均来館者数は133人となった。

5. 国際交流

本学では、看護学の学術研究及び保健・医療・福祉教育の発展のため、学部学生、大学院生及び教職員の交流を促進し、大学相互の利益と発展に貢献できるよう取り組んでいる。

1) 受入と派遣

今年度も本学と台北医学大学、国立台北護理健康大学との国際交流協定の締結に基づき、8月に海外研修生の受け入れと年に2回、8月と3月に学部学生の派遣を実施している。

2) 本学以外の海外研修の支援

- (1) 沖縄からアジアへトビタテ：沖縄県の「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」（2022年5月15日決定）を踏まえ、主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材、特にアジアとの架け橋となる人材の育成を目的として、地域企業（産）、大学等（学）及び沖縄県等（官）の連携により沖縄県内でのインターンシップと海外研修プログラムへ学生を派遣した。
- (2) 中国人民共和国駐福岡総領事館が主催した、沖縄の大学生と中国の大学生の交流を通して、理解を深めるために、今年度初めて北京語言大学への学生と教員を派遣した。

3) 国内外の外国人との交流

- (1) JICA 沖縄は1985年4月17日にASEAN各国の人造りセンター支援を中心とした技術研修機関として設置されており、JICA 沖縄研修生が本学を訪れ、講義・演習を受講し、在学生との意見交換などの交流を通して異文化理解をすることを支援した。

表 受入・派遣一覧

	大学等	日程	人数
受入	台北医学大学	令和7年7月14日(月)～7月25日(金)	2名
	国立台北護理健康大学	令和7年7月14日(月)～7月25日(金)	5名
	JICA 課題別研修 「公衆衛生活動による母子保健強化」10か国*	令和7年7月4日(金)	10名 ^a
		令和7年10月24日(月)	11名 ^b
派遣	夏の台北研修	令和7年8月18日(月)～8月27日(水)	学部生8名
	北京語言大学	令和7年9月6日(土)～9月10日(水)	学部生2名
	沖縄からアジアへトビタテ	令和8年2月15日(日)～3月15日(日)	学部生3名
	春の台北研修	令和8年3月9日(月)～3月20日(金)	0名

^a コートジボワール

^b インドネシア、パキスタン、ドミニカ共和国、ニカラグア、レバノン、スーダン、ウガンダ、赤道ギニア、タジキスタン、ミクロネシア

6. 地域貢献・地域社会への開放

1) 公開講座

令和7年度の公開講座は、大学教員（または専門職）が主体となり、地域貢献の一環として企画・実施した。従来の単発的な講演形式ではなく、小規模で継続性と実践性を重視し、地域住民や多職種関係者が参加できる学びと交流の機会を開催した。意見交換や連続講座を通して地域課題の共有と理解の深化を図るとともに、実践に活かせる知識の普及と支援力向上に寄与した。公開講座は看護の視点から地域の課題に関わる大学の地域貢献を示すとともに、協働関係の構築を推進する活動である。

表 令和7年度 公開講座一覧

	月日	時間数	テーマ	講師	会場	主催	対象者	参加者数
1	6/28	2時間	こどもまんなかで考える子育て～ペアレントトレーニングが導く幸せな家庭～	知名氏, 岡崎氏, 石渡氏, 新垣氏, (鈴木)	視聴覚室	地域協働連携センター運営委員会	こどもの支援に関わる方、親	61名
2	6/8	2時間	目指せ大学院！ -学んだ知識を看護に活かそう-	山城綾子	共同セミナー室	研究科入学試験委員会	大学院入学試験準備予定者・大学院での学びを望んでいる看護職者	3名
3	9/27	2時間	ペアレントトレーニング① オリエンテーション・他己紹介・テーマ：行動をみる	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室7	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	6名
4	10/11	2時間	ペアレントトレーニング② ・テーマ：ほめることを習慣にしよう	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室6	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	6名
5	10/25	2時間	ペアレントトレーニング③ ・テーマ：こどもの良い行動に注目しよう	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室7	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	6名
6	11/8	2時間	ペアレントトレーニング④ ・テーマ：親子タイムと指示の出し方	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室7	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	6名
7	11/22	2時間	ペアレントトレーニング⑤ まとめ	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室7	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	6名
8	12/20	2時間	ペアレントトレーニング⑥ フォローアップセッション	岡崎氏, 石渡氏, 鈴木	講義室7	地域協働連携センター運営委員会	発達障害をもつ子どもの親	5名
9	3/17	1時間 30分	沖縄医療保健看護歴史史料保存・公開事業	沖縄医療保健看護歴史保存・公開事業推進ワーキンググループ	中講義室	学術情報委員会/ 附属図書館	看護職・学生・ 大学院生	70名(学内 39名、学外 31名)
10	年間	6回 開催	基礎看護研究方法ゼミ (研究計画, 研究方法トピック)等	教員等	対面・遠隔	基礎看護領域	看護職、院生	延べ30名

11	年間	3回	精神保健看護研究会 「精神障害をもつ人のリカバリー」	専門職, 教員	リモート	精神保健看護領域	専門職, 院生等	延べ 63 名
12	年間	毎月 第1金曜	沖縄小児看護実践検討会	教員, 小児 CNS,	対面・遠隔	小児保健看護領域	専門職, 教員	
13	年間	3回 前後	沖縄南部療育医療センター、研究支援、	教員	対面	小児保健看護領域	専門職	
14	2/15	4時間	日本保育保健協議会 九州ブロック大会 企画 運営、保育職向けの研修会	教員	対面	小児保健看護, 日 本保育保健協議会	保育職等	
15	7/17	1時間	健康教育, キャリア教育 (北中学校)	4年次 4名, 教員 1名	宮古島	地域保健看護領域	中学3年生 110名	島嶼

2) 看護職の継続教育

＜沖縄県委託事業 小規模離島自治体で働く新任期保健師研修会＞

【研修の対象】

沖縄県内の小規模離島自治体に勤務する新任期（1～3年目）の保健師または離島に初めて赴任された保健師（経験の有無は問わない）で、第1回～第3回目まで参加が可能な者（対面、ZOOM、いずれでも可）

表 研修会開催一覧表

回	実施時期	研修内容	方法	参加者
第1回	R7/5/23(金) 14:00-17:00	『地域・自分・他の離島の保健師を知ろう』 ・地区カルテを使った地域診断 ・セルフマネジメントについて	ハイブリッド	3名
第2回	R7/8/6(水) 14:00-17:00	『先輩の地区保健活動の視点を学ぼう』 ・離島の先輩保健師の事例や地域活動の紹介	ハイブリッド	9名
第3回	R8/2/6(金) 14:00-17:00	『「つなぐ」を意識して活動を振り返ろう』 ・今年度の目標と地域保健活動の振り返り	ハイブリッド	3名

3) ボランティア活動（大学企画）

本学オープンキャンパスでは、学生148名がボランティアとして参加し、各体験ブースの運営補助、高校生への大学紹介、学内案内等を行い、来場者対応を通して主体性やコミュニケーション力の向上を図った。また、台湾からの大学生研修においては、学生27名がボランティアとして参加し、英語・中国語を用いた交流、沖縄文化（三線演奏等）の紹介、名所案内などを行い、国際交流と文化理解を深めた。

これらの活動は、本学のディプロマ・ポリシーの一つである「グローバルな視点を持ち、人間の置かれた地理的・文化的特性および多様性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力」の育成につながる大学企画ボランティア活動である。

表 ボランティア活動一覧（大学企画）

	活動名	活動日	活動場所	参加者数		備考
				学生	教員	
1	オープンキャンパス	7/19	本学	148名	全職員	各ブースの補助、高校生への本学の紹介、学内案内等
2	台湾研修学生ボランティア	7/19-25	本学等	27名	国際交流委員会	台湾からの研修生との交流(英語・中国語)、沖縄と台湾の文化の紹介・交流(三線演奏等)、名所の案内等

4) ボランティア活動（他機関企画）

令和7年度は、看護系単科大学としての特性を活かし、地域貢献の一環として学生主体によるボランティア活動を年間を通して展開した。本学は学生数が限られているものの、学生は主体的に多様な地域へ赴き、医療・保健・福祉分野に加え、教育、防災、地域イベント、障害児支援など幅広い活動に参加した。

特に本学の特徴である島嶼地域での活動として、久米島や宮古島、栗国村、伊平屋村における祭りやマラソン大会、地域行事支援などにも参画し、地域住民との交流を深めた。また、学校健診補助、子ども医療センターでの活動、防災訓練での傷病者役など、看護学生として幅広い対象に専門性を活かした実践も行われた。これらの取組は、学生が地域社会における看護職の役割を体験的に学ぶ機会となるとともに、本学が地域に開かれた教育研究機関として社会的役割を果たしていることを示すものである。

表 ボランティア活動一覧（他機関企画）

	活動名	活動日	活動場所	参加者数		備考
				学生	教員	
1	沖縄県警青少年サポーター	1年間(随時)	各最寄りの警察署	4	0	青少年との交流等
2	こども BLS講座	4/29	特別講義室	8	1	小学 4・5・6 年生 20 名
3	泊高校生徒定期健康診断	5/11	泊高校	6	0	健診補助等
4	美ら海教育学校ボランティア	6/14-15	沖縄美ら海教育学校	1	0	キャンプ補助
5	海しびなーSUN フェスタ	6/29	豊崎美ら SUN ビーチ	17	0	ビーチスタッフ補助
6	SDGs キャンプ(沖縄美ら海教育学校)	7/11-12	恩納村真栄田岬等	1	0	キャンプづくり、子どもとの遊び等
7	沖縄看護学生連携のためのメディカルビーパ	7/13	西原町	20	0	県内看護系大学連携, 企画・運営
8	こども支援病院ボランティアわらびの会	8/17	県立南部医療センター・こども医療センター	2	0	対話, ケア
9	旧盆助け合い草刈り	8/25-29	沖縄市高齢者宅	4	0	草刈り等
10	ゆいジョブ！お仕事発見フェア	9/18	コンベンションセンター	1	0	スタッフ補助
11	離島の学童クラブ・塾で講師	9月(7日間)	石垣市	1	0	講師等(子ども居場所ボランティアセンター派遣)
12	久米島祭り	9/20-21	久米島町	11	0	(島嶼)ゲーム運営補助, 会場設営
13	エナ助産院ボランティア	9/26	南風原町	1	0	清掃、赤ちゃんの世話等
14	石垣島産業まつり	10/4-5	石垣市	2	0	(島嶼)血圧測定・ベジチェック
15	有料老人ホームの高齢者との対話ボランティア	9月	那覇市	4	0	OICC:対話
16	県総合防災訓練	10/19	識名公園予定地	2	0	傷病者役
17	県ゆうあいスポーツ大会	10/25	県総合運動公園	3	0	運営補助
18	わらび会クリスマス会	12/3	県小児保健センター	3	0	病気・障害のある子との遊び等
19	久米島マラソン	10/26	久米島町	6	1	(島嶼)エイド ST 救護・サポート
20	尚巴志ハーフマラソン	11/2	南城市	6	0	運営サポート
21	宮古島産業祭り	11/2-3	宮古島市	6	1	(島嶼)血圧測定・ベジチェック
22	アの国祭り	11/8-9	粟国村	5	0	(島嶼)ゲーム運営補助, 会場設営

23	那覇市立神原小学校 運動会(救護班)	11/9	那覇市	1	0	救護班、会場巡回,
24	まわしティーダ祭り(那覇市)ボランティア(救護班)	11/30	那覇市	1	0	救護班、会場巡回, 片付け
25	地域共生社会をみんなで創るお祭り LIFE ART MATSURI ボランティア	1/18	浦添市			OICC:健康測定等
26	伊平屋ヴィレッジトレイル	1/31	伊平屋村	4	0	(島嶼)完走賞作成、サポート
27	多数病者訓練ボランティア	1/31	県立南部医療センター・こども医療センター	4	0	傷病者役
28	Kukuru インターンボランティア	1月～2月 (土)	一般社団法人 Kukuru	5	0	病気・障害のある子へのケア等
29	那覇市立曙小学校 職業体験ブースボランティア	2/14	那覇市	9	1	キッズニア体験
30	那覇さくらまつり(救護班)	2/15	那覇市	6	0	OICC:健康測定等
31	ありがとう与儀公園まつり	2/21	那覇市	10	1	OICC:健康測定等

5) 協働連携

本学では、島嶼地域を含む自治体、医療機関、学校、地域団体等と協働し、学生が主体的に地域に関わる実践的な学修機会を継続的に創出した。地域住民との交流活動やインターンシップ、学校・地域行事への参画など、多様なフィールドにおける活動を通して、学生が地域の特性や課題を理解し、対人支援力や協働力を高めることを目的としている。これらの取り組みは、大学と地域との信頼関係の構築を基盤とした協働連携の推進に寄与していると思われる。

表 協働連携の取り組み一覧

	活動名	活動日	活動場所	参加者数		備考
				学生	教員	
1	ふしゃぬふうぐなー cafe 多良間村	2 ヶ月に 1 回	本学, レンタルスペース, 屋外 (運動場等)	毎回 8 名 前後 (登録 25 名)	3 名	(島嶼) 多良間島出身高校生 と大学生定期的な交流会
2	多良間村八月踊り体験、高齢者へのサポート	9/28-30	多良間村	10 名	1 名	(島嶼) フィールドワーク、住民・専門職との交流等
3	多良間村インターンシップ	3/11-13	多良間村	5 名	0	(島嶼) 多良間村との協働
4	県立宮古病院インターンシップ	3/5-6	県立宮古病院	2 名	0	(島嶼) 県病院事業局との協働
5	県立八重山病院インターンシップ	3/5-6	県立八重山病院	2 名	0	(島嶼) 県病院事業局との協働
6	与儀小学校区まちづくり協議会	毎月	与儀小学校、与儀地区	20 名 (祭り)	1	トックリキワタ祭り救護・健康測定
7	那覇市立寄宮中ピアサポート	1 年間 (随時)	寄宮中あすなる教室	7 名 (登録)	1	対話、学習支援等

6) オープンキャンパス

開催日時	: 2025 年 7 月 19 日 (土) 10 時~15 時
キャッチコピー	: 「出会うのは、命と、地域と、これからの私。OPEN CAMPUS 2025」
来場者数	: 463 人 (前年度 410 人)
アンケート回収数/率	: 276 人/59.6%(前年度 291 人/65%)

学部生・別科学生のボランティア 154 名の協力を得て開催した。行列や熱中症防止のため、入場開始を 9 時 30 分に設定し、受付を記入でなく、Forms で実施するなどの工夫をした。その結果、出入口の行列や受付の混雑なく入場を促すことができた。また、Instagram のフォローを増やすために、フォロー特典のグッズを配布した。学生広報委員による Instagram の動画作成を行い、教員の管理下のもとアップした。学生による動画の撮影や内容は、若者向けの内容となり、タイムリーに発信ができ、

好評であった。

アンケートの回収率をあげるために、アンケート回答者にオリジナルシャーペンを配布した。今年度は、調査に進学先の情報も加えて実施した。来場者の76.6%が進学先の検討をしており、本学への志願を回答した210名のうち強く思うと回答したものが64.1%であった。来場者のうち、県内の看護系大学が62.2%、看護学校を受験予定者が17.0%、県外看護系大学15.2%であった。最も重要視しているのが「教育内容・カリキュラム」であり、次いで「在学生や教職員の雰囲気」であった。本学への志望度が下がったプログラムにフリートークが上位に挙がっていた。回答者は3名ではあったが、学生の対応など見直しが必要な可能性がある。本学の学生、教職員の印象は好評であった。

7. FD・SD活動

1) FD活動

教員の教育能力および研究能力を組織的、継続的に向上させ、大学教育の質を高めることを目的とする。

(1)実施状況

- ・全教員対象のFD研修を企画し実施した。(参照：表 令和7年度FD活動一覧)
- ・大学教員研修セミナー（主催：公益財団法人大学セミナーハウス主催、開催地：東京都八王子）へ、新任教員の助教2名を派遣した。セミナーは、①オンラインセミナー（Zoom）、②合宿セミナー（1泊2日）により行われた。
- ・看護教育支援専門員対象のFD研修を企画・実施した。(参照：表 令和7年度FD活動一覧)
- ・研究活動報告会を開催し（令和7年5月15日）、学内教員の研究報告6演題および研修参加報告2演題が発表された。教員44名（参加率42/43名、97.7%）、大学院生2名、学外者4名、その他1名の計51名が参加した。
- ・研究活動報告会後に、発表者交流会を開催し、研究活動報告会の発表者による発表内容の補足や、発表者を囲み研究に関するディスカッションを行った。交流会は2つのセッションで行われ、参加者は各32名、30名であった（教員参加率30～32/43名、69.8～74.4%）。
- ・学内における各委員会のFD研修の実績を取りまとめ、年度末に本学HPにて公表した。

(2)次年度に向けた課題

今後のFD研修については、研修の方向性や目的を明確にした上で行う必要がある。

表 令和7年度FD活動一覧

	月日	研修名	講師	主催	参加人数
1	5月20日 8月14日 3月13日	看護教育支援専門員対象FD研修会 (3回シリーズ)	宮里智子 (ファシリテータ)	研究・研修委員会	5
2	7月14日～9 月30日	研究倫理教育セミナー	日本学術振興会 eラーニングを利用	研究不正防止計画推進委員会	77
3	7月16日	コンプライアンス研修	名城事務局長 (コンプライアンス推進責任者) 比嘉総務課長 (経理事務責任者)	研究不正防止計画推進委員会	59
4	8月5日	海外の文献から理論的アプローチを学ぶ (実証主義、構造主義、構築主義)	山口賢一	研究・研修委員会	13
5	8月6日	2025年度 教育活動交流会	渡久山朝裕 氏 (臨床心理士、沖縄県立看護大学非常勤講師)	教務委員会	40
6	8月6日	科研申請支援: ラウンドテーブルディスカッション	瓜崎貴雄 大城真理子	研究・研修委員会	19
7	8月18日	研究方法を学ぼう 複線径路等至性アプローチ	安田裕子先生 (立命館大学総合心理学部 教授)	研究・研修委員会	50
8	9月11日	AI活用を見据えたIR	名桜大学 立津慶幸 先生 (上級准教授, IR室専任室員)	IR・データサイエンス教育推進委員会	42
9	9月24日	エコー勉強会	富士フィルムメディカル株式会社 下川部力先生 (診療放射線技師)	教務委員会	17
10	令和8年3月 9日	令和7年度大学院生の研究に関するFD研修	研究指導教員	研究科教務委員会	16

2) SD 活動

職員が現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な職員の能力、資質等を向上させることを目的とする。

(1) 実施状況

事務局職員の資質向上を図ることを目的とし、令和7年11月に、沖縄県公立大学運営事務研究会を開催した。(幹事校：本学、参加者：本学9名)

内容は、働き方改革、事務の簡素合理化など、各大学の運営上の課題についての意見交換となっており、大学事務を処理する上で有益な情報を得ることができた。

また、下記研修を開催又は職員の派遣等を行い、業務遂行に必要な能力等の向上を図った。

- ・情報セキュリティ講習会 参加者：55名
- ・ハラスメント研修会 参加者：48名
- ・会計セミナー（初級） 派遣：2名（Zoom開催）
- ・公立大学職員セミナー（初任職員向け） 派遣：2名（現地開催）
- ・第二種衛生管理者試験準備講習 派遣：2名（現地開催）
- ・研究インテグリティ・研究セキュリティに関するセミナー 3名（Zoom開催）

(2) 次年度に向けた課題

職員の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な職員の能力、資質等の向上を図るため、引き続き研修等への参加を促す必要がある。

学 事

<看護学部>

1. 令和7年度学事暦

令和7年度 看護学部 学事暦

学期	項 目	令和7年度（2025年度）	
前 期	入学式	4月2日（水）	
	新人生ガイダンス	4月2日（水）、3日（木）、4日（金）※3日間	
	2・3・4年次ガイダンス	4月4日（金）	
	新入生オリエンテーション	4月4日（金）	
	前期授業開始	4月7日（月）	
	履修登録	4月7日（月）～4月9日（水） 1年次選択科目抽選申込 ～4月4日（金） 2年次選択科目抽選申込 ～4月4日（金）	
	履修登録（修正）	4月10日（木）～4月11日（金）	
	保健看護包括実習（2年次）	4月11日（金）～8月1日（金） *毎週金曜日	
	開学記念日	5月15日（木）*休講	
	定期健康診断	5月21日（水）1・2年次 5月29日（木）3・4年次	
	演習及び臨床実習（4年次）	6月2日（月）～8月1日（金）	
	早期体験実習（1年次）	6月13日（金）～7月11日（金） *毎週金曜日 離島実習の場合 6月11日（水）～13日（金）	
	慰霊の日	6月23日（月） *休講	
	オープンキャンパス	7月19日（土）	
	期末試験（1～3年次）	8月7日（木）～8月14日（木）	
	〃（4年次）	科目ごとに設定	
	夏季休業	8月15日（金）～9月30日（火）	
	夏の台湾研修	8月18日（月）～8月27日（水）	
	別科助産専攻入試 ※1	8月30日（土）	
	前期卒業式（学位授与式）	9月18日（木）以降	
	看大祭	夏季休暇中の2日間で開催 ※学生会が決定	
	後 期	後期授業開始	10月1日（水）
		演習及び臨床実習（2年次）	9月29日（月）～11月7日（金）
		演習及び臨床実習（3年次）	9月29日（月）～2月20日（金）
		大学院入試 ※1	10月4日（土） 予備日10月11日（土）
		看護統合実習（4年次）	10月6日（月）～11月28日（金）
島嶼・国際保健看護実習（1年次）		11月4日（火）～11月14日（金）	
特別選抜入試（看護学部） ※1		11月29日（土）	
冬季休業		12月25日（木）～1月7日（水）	
大学入学共通テスト ※2		1月17日（土）～1月18日（日）	
大学院入試（2次） ※1		2月7日（土）	
外国人特別学生選抜入試 ※1		2月14日（土）	
期末試験（1年次）		2月26日（木）～3月4日（水）	
〃（2年次）		2月16日（月）～2月20日（金）	
〃（3・4年次）		科目ごとに設定	
一般選抜入試（前期・看護学部）※1、※3		2月25日（水）	
後期授業終了		3月13日（金）	
卒業式		3月15日（日）	
春季休業		3月15日（日）～3月31日（火）	
春の台湾研修		3月中旬	

※1 入試準備のため、前日は16時より教育管理棟立入禁止となります。

※2 大学入学共通テスト準備のため、前日は終日大学敷地内立入禁止となります。

※3 公立大学協会発行の「入学者選抜についての実施要領」に基づき決定するため、変更になる可能性があります。

2. 教育

1) 教育目標

沖縄県の公立の看護系大学である本学部は、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および継続教育の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することを使命としている。

2) 教育の目的

学部教育の目的は、生命の尊厳を重んずる豊かな人間性を育成するとともに、看護に関する高度な専門的知識や技術を修得させることにより、保健医療福祉の分野において看護を科学的に実践し、人々の健康と福祉の向上に貢献することのできる人材を育成することである。

学部では広い視野をもち、あらゆる場で個人、家族、集団、地域を対象に保健看護を実践できるジェネラリストを育成する。具体的には、時代の変化に即して主体的にものごとを考え、社会人および看護職者として行動できる人であり、県内の離島・へき地、県外および国外などそれぞれの地域の保健医療上の課題を自分のこととして捉え、他者と協働連携しながら、社会のために必要な役割を發揮できる人である。したがって、本学の卒業要件には看護師と保健師両方の国家試験受験資格の取得が含まれており、いわゆる統合カリキュラムを導入している。

3) カリキュラム

学部のカリキュラムは、「教養科目」と「専門関連科目」の科目群に大別し、「専門関連科目」はさらに「専門教養科目」「広域・基板看護科目」「生涯発達看護科目」「統合科目」に分類している。「教養科目」は、豊かな人間性と幅広い知識を学ぶ科目として、自然科学、社会科学、人文科学、そしてリテラシーに関する授業科目を配置している。教養科目の中には、沖縄の生活と文化、日本語表現法、環境学等、地域の生活と文化や環境への理解、コミュニケーション能力の育成等、人間を理解し、関係をとる上で重要な科目を含んでいる。「専門教養科目」には人体の構造と機能、臨床心理、保健医療福祉制度、疫学と保健医療情報等、人間を身体的・精神的・社会的側面から多面的に捉え、多様な場や対象に合わせた看護実践を支える知識や技術を学習する授業科目を配置している。「広域・基板看護科目」は、看護実践の基礎及びあらゆる発達段階の人に共通に必要な知識・技術・態度を学ぶ科目であり、この中には基礎看護、精神保健看護、地域保健看護が含まれる。「生涯発達看護科目」は、人間の一生における発達段階、すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象を、家族を含めて捉え、看護する上で必要な知識・技術・態度を学ぶ科目である。「統合科目」はそれまでに学んだ内容を統合し、看護職者として生涯学習につなげていく科目であり、島嶼・国際保健看護、看護専門職論Ⅱ、看護統合実習、看護卒研究等がある

4) 学生指導

(1) グループ担当教員の設置

各学年に在籍する約 80 人の学生を、1 グループおよそ 20 人ずつの 4 グループに分けている。1 グループにつき 2 人の教員をグループ担当教員として配置し、学生が学生生活において必要とする様々な支援（健康上、経済上、学修上の相談対応と助言、進路相談、応募書類作成において助言をおこなうなどの就職活動支援、合理的配慮に関する相談対応など）を行った。

(2) 学生オリエンテーション

○新入生向けガイダンス

入学式の日から3日間にわたってガイダンスを実施した。主な内容は以下のとおりとなっている。

- ・各グループでの交流会
- ・奨学金ならびに補償制度（学生生活保険）の案内
- ・学生生活相談やハラスメント相談の窓口の紹介
- ・教員紹介
- ・科目の紹介
- ・履修登録の方法
- ・予防接種の進め方
- ・情報セキュリティ講習
- ・生活安全講習

○在学生向けガイダンス

2～4年次を対象に1日の午前の時間を利用してガイダンスを実施した。主な内容は以下のとおりとなっている。

- ・新教職員紹介
- ・カリキュラムや学生便覧の変更事項の説明
- ・本学大学院の案内
- ・学生生活相談窓口の紹介
- ・健康管理と感染予防について
- ・情報セキュリティ講習
- ・生活安全講習
- ・各グループでの交流会

5) 臨地実習

(1) 実習科目と段階別実習

本学は、実習を第1段階から第4段階の段階別でとらえ、実習を行っている。令和7年度も段階別実習を行った。

<段階別実習>

第1段階は、看護実践の場において看護役割モデルとなる看護職者の仕事を観察し、看護職者が果たしている役割や看護の意義、社会における期待を理解し、看護職者に求められる能力について考え、今後の職業的準備のあり方について学ぶ。離島に住む人々や国内に滞在する外国人など、看護の対象と生活する場の広がりを理解する「早期体験実習」や「島嶼・国際保健看護実習」がある。第2段階は、保健医療福祉の行われる多様な場で、発達段階に応じた対象の病気の予防、健康の維持増進に向けた包括的な保健看護の活動を学ぶ。生活者の視点から、看護職者の役割と地域の社会資源の活用について学ぶ。対象に応じた基本的な観察技術とコミュニケーション技術を修得する「保健看護包括実習」や「生活援助・療養援助実習」がある。第3段階は、健康を障害された人々に対し、援助的人間関係を築き、健康の回復や疾病増悪の予防に向けた看護の方法を修得する。必要な援助を見出し根拠に基づいた看護の実践方法を修得する。対象者の意思を尊重した関わり方を

学ぶ。「クリティカルケア看護実習」「精神保健看護実習」「母性保健看護実習」「小児保健看護実習」「成人保健看護実習」「老年保健看護実習」がある。第4段階は、地域や医療施設においてさまざまな健康レベルにある人々の多様なニーズに対応する看護の機能と役割を理解し、必要な看護の実践方法を修得する。既に学んだ知識、技術を統合し、応用しながら看護を実践する専門職者としての態度を修得する。自己の実践した看護について経過と課題が論理的に表現できる。「地域保健看護実習Ⅰ」「地域保健看護実習Ⅱ」「在宅保健看護実習」「看護統合実習」がある。

(2) 実習に関わる感染症対策

実習中のマスク着用、手洗い、実習2週間前からの健康管理記録の記載等、感染予防対策を厳重に行っている。これらの感染予防対策を行えるよう、1年生全員へ手指消毒用アルコールとポーチ、ゴーグルを配布し、ポーチとゴーグルは4年間の実習をとおして使用できるようにしている。実習期間中は、手指消毒アルコールについては、使い切った場合、あるいは、期限が切れる半年を目安に再配布し、また、マスクと環境清拭用クロスを配布している。

従来の感染予防対策として、小児疾患4種（風疹、麻疹、流行性耳下腺炎、水痘）、B型肝炎、および、11月以降に実習がある場合は、インフルエンザ予防接種を実習要件としている。実習期間中は、発熱や体調不良の症状など学生の体調の変化を注意深く見守り、症状出現時は実習施設と連携して対応している。実習期間内における感染および感染予防を補償する学生保険に全員が加入している。

(3) 倫理教育

2年次前期の「保健看護包括実習」、2年次後期の「生活援助・療養援助実習」、および「3年次後期実習」のオリエンテーションにて倫理教育を実施した。「保健看護包括実習」では、過去の実習で実際に発生した倫理的問題を含む事例を教材として用いた。「生活援助・療養援助実習」および「3年次後期実習」では、臨地実習において遭遇し得る場面を描いたDVD、オンライン教材の動画を視聴し、その中の倫理的課題の所在や、それらに対して学生がとるべき態度について事前課題として提示した。

実習オリエンテーション当日は、学生が事前に取り組んだ課題を持参し、グループでの共有、および、ディスカッションを行った後、全体で内容を共有した。学生からは、自身の安易な行動が受け持ち患者や家族の人権を侵害する可能性があること、またその影響は学生個人のみならず、大学や実習施設、さらには後輩の実習受け入れにも及び得ることへの理解が深まったとの意見があがった。また、すべての実習オリエンテーションにおいて、「実習に関する誓約書」および「実習記録に関する誓約書」の説明を行い、個人情報保護および看護の対象者への基本的な人権尊重の重要性について確認した。

(4) ハラスメント対策

今年度は、セクシャルハラスメントに関する報告が4件（生活援助・療養援助実習1件、精神保健看護実習1件、成人保健看護実習2件）あった。これらの内容および対策については、「インシデント・アクシデントレポート」の書式に基づき記録され、実習専門部会にて情報共有を行い、その後教務委員会へ報告した。報告書の作成に関しては、教員と学生の双方で作成した領域と、教員のみが作成した領域があり、提出方法に関する統一した方針が確立されていないことが明らかとなった。また、対策についても領域ごとに判断に任されており、事案発生後の対応フローが明文化され

ていないことから、対応後の状況が不明瞭なまま処理されている点が課題である。

さらに、一部の学生においては、患者との関係性や教員による評価への影響を懸念し、報告が遅れる事例がみられた。このため、今後は実習オリエンテーションにおいて、ハラスメント事案発生時には早期に報告することを明確に伝える必要がある。

今後の改善策としては、教務委員会を中心に学生委員会およびハラスメント委員会と連携し、ハラスメントに関する報告書書式の統一ならびに事案発生後の対応フローの「見える化」を進めることが求められる。また、本学は女子学生が多いことを踏まえ、FD等を通じてセクシャルハラスメントに関する研修会を実施し、教員間での認識共有と体制整備を図る必要がある。

(5) 実習施設一覧

実習科目	実習施設の名称
早期体験実習	県立南部医療センター・こども医療センター 県立中部病院 県立宮古病院 琉球大学病院 浦添総合病院 大浜第一病院 公立久米島病院 沖縄南部療育医療センター 沖縄中部療育医療センター 母子未来センター 訪問看護ステーションはえばる 訪問看護ステーション名嘉村 訪問看護ステーションリアン 訪問看護ステーション eight 訪問看護ステーションみやこ 看護小規模多機能めぐみ小禄南 在宅看護センターほっとやすぎ高蔵 沖縄市地域包括支援センター東部南 沖縄市役所 与那原町役場 健康づくり財団 協会けんぽ
島嶼・国際保健看護実習	AICA 阿嘉島 座間味島 渡嘉敷島 平安座島 宮城島 久高島

保健看護包括実習	県立南部医療センター・こども医療センター かみや母と子のクリニック 母子未来センター エナ・助産所 子育て支援センター ゆんたく 子育て支援センター むるが家 子育て支援センター はっぴい 子育て支援センター すまいる 子育て支援センター うえばる一む 子育て支援センター ていーら あじゃ保育園 さくら保育園 首里当蔵保育園 久場川みらいこども園 童の城保育園 天久みらいこども園 鏡原保育園 宇栄原みらいこども園 第2 愛心こども園 樋川みらいこども園 沖縄県健康づくり財団 那覇市医師会生活習慣病検診センター 浦添総合病院健診センター とよみ生協病院健診センター ふれあいセンター ちゅらゆい kuku アソシアホイスコーレ 地域若者サポートステーション琉球 ふいーるど・ばわー 那覇市小禄老人福祉センター 那覇市識名老人福祉センター 那覇市壺川老人福祉センター 那覇市末吉老人福祉センター 那覇市金城老人憩の家 那覇市社会福祉協議会
----------	--

生活援助・療養援助実習	県立南部医療センター・こども医療センター 県立宮古病院 沖縄セントラル病院 北中城若松病院 那覇ゆい病院 大浜第二病院
クリティカルケア看護実習	県立南部医療センター・こども医療センター 浦添総合病院 大浜第一病院 中頭病院
精神保健看護実習	博愛病院 天久台病院 平安病院 新垣病院 平和病院
母性保健看護実習	県立南部医療センター・こども医療センター 県立中部病院 沖縄赤十字病院 中頭病院 仲地レディースクリニック
小児保健看護実習	県立南部医療センター・こども医療センター 沖縄南部療育医療センター 那覇市立病院 琉球大学病院
成人保健看護実習	県立南部医療センター・こども医療センター 浦添総合病院 大浜第一病院 中頭病院
老年保健看護実習	看護小規模多機能型居宅介護めぐみ小禄南 グループホームめぐみ小禄南 小規模多機能ホーム安岡 小規模多機能型居宅介護事業所くくば原 中頭病院 ちゅうざん病院 大浜第二病院
在宅保健看護実習	看護小規模多機能 小禄南 看護小規模多機能 愛貴 看護小規模多機能 若松 トータルサポートの駅グリーンンハウス訪問看護那覇 訪問看護ステーショングリーンンハウス中城

	<p>訪問看護ステーションいきがい 訪問看護ステーションウィル（豊見城） 訪問看護ステーションつるかめ 名嘉村訪問看護ステーション 訪問看護ステーションリアン 訪問看護ステーションみつばち 訪問看護ステーションみやこ 訪問看護ステーションなないろ ちゅうとく訪問看護ステーション オハナース訪問看護ステーション はえばる訪問看護ステーション つるかめ訪問看護ステーション つむぎ訪問看護ステーション</p>
地域保健看護実習Ⅰ	<p>沖縄県中部保健所 那覇市保健所 沖縄県南部保健所</p>
地域保健看護実習Ⅱ	<p>沖縄県宮古保健所 沖縄県八重山保健所 金武町総合保健福祉センター うるま市役所 うるま市健康福祉センターうるみん 沖縄市役所 嘉手納町役場 浦添市保健相談センター 北中城村役場 西原町役場 豊見城市役所 糸満市役所 八重瀬町保健センター 南城市役所 渡嘉敷村役場 北大東村役場 栗国村役場 久米島町役場 宮古島市役所 多良間村役場 竹富町役場</p>

看護統合実習	県立南部医療センター・こども医療センター 県立中部病院 沖縄赤十字病院 沖縄メディカル病院 北中城若松病院 琉球大学病院 沖縄南部療育医療センター 沖縄中部療育医療センター 浦添総合病院 大浜第一病院 友愛医療センター 豊見城中央病院 アドベンチストメディカルセンター 沖縄中央病院 グループホームめぐみ首里 北部地区医師会病院健康管理センター ハートライフ病院予防医学センター 那覇市地域包括支援センター国場 健康づくり財団 首里城下町クリニック第一 JICA 沖縄 沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 保健センター
--------	---

(6) 次年度の課題

本学のカリキュラムポリシーにおける「グローバルな視点を持ち、地理的・文化的特性および多様性を理解し、地域に根差した看護実践能力を養うため、沖縄県の島嶼性や太平洋に開かれた地域性を活かした科目を配置する」という方針に基づき、1年次の「早期体験実習」および「島嶼・国際保健看護実習」、2年次の「生活援助・療養援助実習」、4年次の「地域保健看護Ⅰ・Ⅱ実習」および「在宅保健看護実習」では、沖縄県内の島嶼（石垣、宮古、久米島、粟国、北大東、渡嘉敷、竹富、慶良間）において実習を展開している。

島嶼地域に滞在しながら行う実習は、学生がその地域の環境に身を置き、住民と近い距離で関わることができるため、学びの深化と広がりが期待できる。しかし、昨今の物価高騰の影響により、実習期間中の移動費・宿泊費等、学生の金銭的負担が増大しており、大きな課題となっている。後援会等による負担軽減策は講じられているものの、十分とはいえない現状である。また、島嶼での実習に同行する教員の確保も課題である。領域所属教員を配置できない場合には、看護支援専門員の派遣や臨時的な教員の雇用が必要となるが、採用期間が実習期間に限られるため長期的な安定雇用につながらず、人材確保が困難な状況が続いている。

島嶼環境における実習は本学の特色のひとつであり、この特色に魅力を感じて進学する受験生も少なくない。そのため、学生が経済的負担を抱えることなく学びを継続できる環境整備と支援体制の構築が、今後の重要な課題である。

3. 教員構成

教授 9 名、准教授 13 名、講師 3 名、助教 11 名、助手 4 名

職位	氏名	領域等	担当科目
学長	神里 みどり	成人保健看護	看護専門職論Ⅰ
学部長 教授	赤嶺 伊都子	成人保健看護	成人保健看護Ⅰ、成人保健看護Ⅱ、保健看護 包括実習、成人保健看護演習、成人保健看護 実習、生涯人間発達論、看護大学ゼミナール Ⅲ、卒業演習、看護統合実習、看護卒業研究
研究科長 教授	田場 由紀	老年保健看護	早期体験実習、生涯人間発達論、保健看護包 括実習、ヘルスアセスメント、老年保健看護 Ⅰ、老年保健看護Ⅱ、老年保健看護演習、老 年保健看護実習
学生部長 教授	佐伯 宣久	人体構造・機能 学系	人体の構造と機能、人体の構造と機能演習Ⅰ・ Ⅱ、疾病論Ⅰ・Ⅱ、微生物と免疫
附属図書館長 教授	宮里 智子	基礎看護	看護大学ゼミナールⅢ、看護専門職論Ⅰ、看 護専門職論Ⅱ、早期体験実習、生活援助・療 養援助技術Ⅰ、生活援助・療養援助技術Ⅱ、 生活援助・療養援助技術Ⅲ、生活援助・療養 援助実習、ヘルスアセスメント、看護統合実 習、看護卒業研究
教授	瓜崎 貴雄	精神保健看護	精神保健看護Ⅰ・Ⅱ、人間関係論、臨床心理、 精神保健看護演習、看護卒業研究、早期体験 実習、保健看護包括実習、精神保健看護実習、 看護統合実習
教授	井上 松代	母性保健看護	学部：生涯人間発達論、早期体験実習、母性 保健看護Ⅰ・Ⅱ、母性保健看護演習、母性保 健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
教授	上原 和代	小児保健看護	生涯人間発達論、早期体験実習、小児保健看 護Ⅰ、小児保健看護Ⅱ、保健看護包括実習、 小児保健看護演習、小児保健看護実習、ヘル スアセスメント、生活援助療養援助技術Ⅰ、 看護統合実習、看護卒業論文
教授	謝花小百合	成人保健看護	看護大学ゼミナールⅢ、クリティカルケア看 護、緩和ケア論、早期体験実習、看護統合実 習、看護卒業研究
教授	佐久川政吉	島嶼・在宅保健 看護	島嶼・国際保健看護実習、島嶼・国際保健看護、 災害看護、早期体験実習、在宅保健看護実習、 看護統合実習、看護卒業論文

准教授	山城 綾子	外国語 (英語)	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、 看護大学ゼミナールⅠ
准教授	山口 賢一	社会学・外国語 (英語)	看護大学ゼミナールⅠ、英語Ⅲ・Ⅳ、社会学、 家族社会学演習
准教授	栗島 一博	情報学	情報学、疫学と保健医療情報、保健医療情報 演習、看護大学ゼミナールⅠ、看護大学ゼミ ナールⅡ
准教授	栗原 幸子	基礎看護	看護学原論、生活援助・療養援助技術Ⅰ～Ⅲ、 ヘルスセスメント、看護過程展開演習、生活 援助・療養援助実習、看護統合実習、看護卒 業研究
准教授	牧内 忍	地域保健看護	身体活動論 AB、身体活動論演習、早期体験実 習、保健医療情報演習、ストレスマネジメント と健康教育、地域保健看護Ⅰ～Ⅲ、地域保 健看護演習、保健看護包括実習、地域保健看 護実習Ⅰ、Ⅱ、看護統合実習・看護卒業研究
准教授	知念 真樹	地域保健看護	看護専門職論Ⅰ、保健医療情報演習、保健医 療福祉制度、ストレスマネジメントと健康教 育、島嶼国際保健看護、地域保健看護Ⅱ～Ⅲ、 地域保健看護演習、島嶼・国際保健看護実習、 保健看護包括実習、地域保健看護実習Ⅰ・Ⅱ、 看護統合実習、看護卒業研究
准教授	眞浦 有希	精神保健看護	精神保健看護Ⅰ・Ⅱ、精神保健看護演習、精 神保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研 究、保健看護包括実習、看護大学ゼミナール Ⅱ
准教授	知念 久美子	母性保健看護	ヘルスアセスメント、保健看護包括実習、母 性保健看護Ⅰ、母性保健看護Ⅱ、母性保健看 護演習、母性保健看護実習、看護統合実習、 看護卒業研究
准教授	鈴木 ミナ子	小児保健看護	生活援助・療養援助技術Ⅰ、ヘルスアセスメ ント、看護過程展開演習、保健看護包括実習、 小児保健看護Ⅰ・Ⅱ、小児保健看護演習、小 児保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研 究
准教授	大城 真理子	成人保健看護	ヘルスアセスメント、クリティカルケア看護、 緩和ケア論、クリティカルケア看護演 習、クリティカルケア看護実習、成人保健看 護演習、成人保健看護実習、包括実習、看護 統合実習、看護卒業研究

准教授	平良 由香利	成人保健看護	ヘルスアセスメント、成人保健看護Ⅰ、成人保健看護Ⅱ、保健看護包括実習、クリティカルケア看護演習、クリティカルケア看護実習、成人保健看護演習、成人保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
准教授	山口 初代	老年保健看護	老年保健看護Ⅱ、老年保健看護演習、保健看護包括実習、老年保健看護実習、看護大学ゼミナールⅡ、看護統合実習、看護卒業研究
准教授	砂川 ゆかり	在宅保健看護	看護専門職論Ⅰ、老年保健看護Ⅱ、在宅保健看護演習、在宅保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究、看護大学ゼミナールⅡ
講師	長濱 直樹	地域保健看護	ヘルスアセスメント、地域保健看護Ⅱ、保健医療福祉制度
講師	岡崎 実子	地域保健看護	保健医療情報演習、島嶼・国際保健看護実習、保健看護包括実習、看護課程展開演習、ストレスマネジメントと健康教育、地域保健看護Ⅱ、地域保健看護Ⅲ、保健医療福祉制度、地域保健看護演習、地域保健看護実習Ⅰ・Ⅱ、看護統合実習、看護卒業研究
講師	永野 佳世	在宅保健看護	ヘルスアセスメント、在宅保健看護演習、在宅保健看護実習、島嶼・国際保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	山川 和歌子	基礎看護	看護学原論、生活援助・療養援助技術Ⅰ、生活援助・療養援助技術Ⅱ、生活援助・療養援助技術Ⅲ、生活援助・療養援助実習、ヘルスアセスメント、看護統合実習、看護卒業研究
助教	池本 温美	地域保健看護	身体活動論、保健医療情報演習、地域保健看護Ⅰ、地域保健看護Ⅱ、ストレスマネジメントと健康教育、地域保健看護Ⅲ、保健医療福祉制度、地域保健看護演習、保健看護包括実習、地域保健看護実習Ⅰ・地域保健看護実習Ⅱ、看護統合実習、看護卒業研究、島嶼保健看護実習
助教	伊波 良剛	精神保健看護	国際保健看護、精神保健看護Ⅰ・Ⅱ、看護過程展開演習、精神保健看護演習、保健看護包括実習、精神保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	上原 勝子	精神保健看護	精神保健看護演習、精神保健看護実習

助教	下中 壽美	母性保健看護	ヘルスアセスメント、看護過程展開演習、母性保健看護Ⅰ、母性保健看護Ⅱ、保健看護包括実習、母性保健看護演習、母性保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	佐次田 早苗	母性保健看護	母性保健看護Ⅰ、保健看護包括実習、母性保健看護演習、母性保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	屋宜 佳成	小児保健看護	小児保健看護Ⅱ、小児保健看護演習、小児保健看護実習、保健看護包括実習、ヘルスアセスメント、生活援助療養援助技術Ⅰ、在宅保健看護実習
助教	宮城 裕子	成人保健看護	成人保健看護Ⅱ、成人保健看護演習、成人保健看護実習Ⅱ、クリティカルケア演習、クリティカルケア実習、ヘルスアセスメント、看護過程演習、在宅保健看護実習、保健看護包括実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	源河 朝治	成人保健看護	ヘルスアセスメント、クリティカルケア看護、緩和ケア論、クリティカルケア看護演習、クリティカルケア看護実習、成人保健看護演習、成人保健看護実習、保健看護包括実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	宇地原 大海	成人保健看護	成人保健看護Ⅱ、保健看護包括実習、クリティカルケア看護演習、クリティカルケア看護実、成人保健看護演習、成人保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助教	兼島 利奈	老年保健看護	老年保健看護Ⅱ、老年保健看護演習、保健看護包括実習、老年保健看護実習、看護統合実習、看護卒業研究
助手	有銘 恭子	基礎看護	生活援助・療養援助技術Ⅰ、生活援助・療養援助技術Ⅱ、生活援助・療養援助技術Ⅲ、生活援助・療養援助実習
助手	星 敬子	精神保健看護	精神保健看護Ⅰ・Ⅱ、保健看護包括実習、精神保健看護演習、精神保健看護実習
助手	中村 優花	小児保健看護	生涯人間発達論、小児保健看護Ⅰ、小児保健看護Ⅱ、小児保健看護演習、小児保健看護実習、生活援助・療養援助技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、保健看護包括実習
助手	大城 風佳	老年保健看護	保健看護包括実習、老年保健看護演習、老年保健看護実習

4. 学生の状況

1) 志願者・受験者・入学者数

試験区分	募集人員	志願者数 (志願倍率)					受験者数					入学者数					
			男	女	県内	県外		男	女	県内	県外		男	女	県内	県外	
看護学科																	
一般選抜	55	99	12	87	94	5	97	12	85	96	1	55	6	49	55	0	
		(1.8)															
特別選抜	離島・過疎地域推薦	8	7	0	7	7	0	7	0	7	7	0	7	0	7	7	0
			(0.9)														
	高校推薦	15	49	0	49	48	1	49	0	49	48	1	18	0	18	18	0
			(3.3)														
	学士	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			(-)														
計	25	56	0	56	55	1	56	0	56	55	1	25	0	25	25	0	
			(2.2)														
合計	80	155	12	143	149	6	153	12	141	151	2	80	6	74	80	0	
			(1.9)														

2) 学年別学生数

令和7年4月

学年	女子学生	男子学生	合計
1年生	75	6	81
2年生	74	6	80
3年生	72	8	80
4年生	78	4	82
総数	299	24	323

3) 奨学金貸与・授業料減額免除の状況（令和8年2月）

表 奨学金貸与制度を利用する学生数

種類	人数
日本学生支援機構	147
沖縄県修学金	3

表 授業料減額・免除制度を利用する学生数

授業料減額	18
授業料免除	124

4) 令和7年度卒業生数と進路

令和7年度卒業生（24期生）の就職・進学状況

（卒業生80名）

単位：人

		1. 県内		2. 県外		合計		
●就職			40		29		69	
	1. 看護師	国公立	18		7		25	
		その他	18		20		38	
		計		36		27		63
	2. 保健師	国公立	3		1		4	
		その他	1				1	
		計		4		1		5
	3. 養護教諭	国公立						
		その他						
		計						
	4. その他	国公立						
		その他			1		1	
		計				1		1
●進学	国公立	10				10		
	その他			1		1		
	計		10		1		11	
●その他・未定							1	
●合計		※就職と進学の両方に該当する者(1人)					81	

令和8年3月26日現在

主な進学先、就職先

進学（11名） 沖縄県立看護大学 別科助産専攻（10名）／国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻（1名）

就職（69名）内訳

県内（40名） 沖縄県病院事業局（8名）／琉球大学病院（7名）／那覇市立病院（3名）／中頭病院（7名）／浦添総合病院（5名）／ハートライフ病院（3名）／友愛医療センター（2名）／大浜第一病院（1名）／うるま市役所（1名）／石垣市役所（1名）／伊江村役場（1名）／沖縄県健康づくり財団（1名）／

県外（29名） 東京都（10人）／神奈川県（5人）／愛知県（2人）／大阪府（3人）／兵庫県（2人）／千葉県（1人）／埼玉県（1人）／栃木県（1人）／福岡県（1人）／長崎県（1人）／熊本県（1人）／鹿児島県（1人）

5. 学生の健康管理

1) 定期的な健康管理の実施

学校保健安全法に基づく保健管理として、学年次毎に健康診断を実施している。令和7年度定期健康診断は、令和7年5月21日、5月29日に、1年生(80)人、2年生(78)人、3年生(77)人、4年生(82)人に対して、下記の項目について実施した。

<実施項目>	
・内科診察	・血圧
・身長	・尿(尿蛋白、尿潜血、尿糖、尿ウロビリノーゲン)
・体重(BMI)	・血液一般(Hb, RBC, WBC)
・視力	・胸部レントゲン(間接)
・聴力	

内科医の所見では、「甲状腺腫」にて要精密検査となった2名、「心音異常・不整脈」にて要精密検査となった1名に受診を推奨した。

胸部レントゲンでは「浸潤陰影」にて要精密検査となった1名に受診を推奨した。

2) 保健室の利用状況 (R7. 4. 1~R8. 2. 5)

(1) 利用件数

学年等	件数
1年生	13件
2年生	6件
3年生	25件
4年生	7件
別科	2件
合計	53件

(2) 利用内容

項目	件数
気分不良	5件
吐き気	2件
嘔吐	3件
眩暈	6件
頭痛	1件
鼻汁	1件
目の痒み・充血	1件
意識障害	2件

*上記のうち ベッド休養12件、救急車要請2件

(3) 外科的処置

項目	件数
切傷	1 件
刺し傷	1 件
打撲	1 件
火傷	1 件
関節痛	1 件
虫刺され	1 件
湿疹	4 件

(4) その他

項目	件数
心身に関する相談	19 件
体重側的	1 件
生理用品	3 件

3) 学生相談室の利用状況

(1) 相談件数

学年等	件数
1 年生	0 件
2 年生	3 件
3 年生	1 件
4 年生	1 件
別科	0 件
合計	5 件

(2) 相談内容

項目	件数
勉学	3 件
家庭	3 件
健康状態	5 件
対人	3 件
いじめ	0 件

4) 学校医の所見

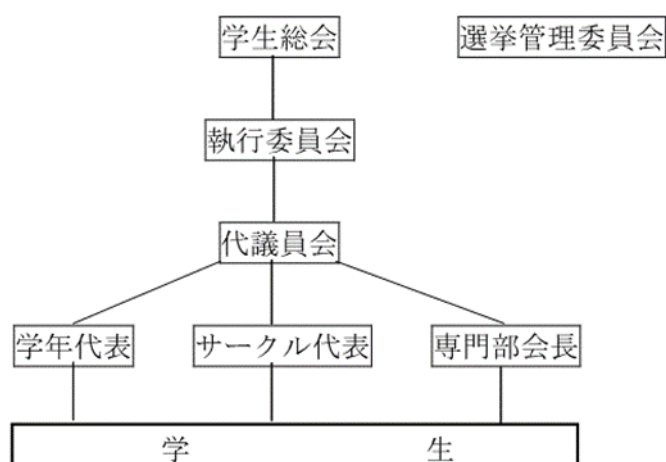
5月の定期健診で貧血を指摘された学生が8人おり、貧血については今後も注視していくとともに、指摘された学生が受診するように取り組む必要がある。

6. 学生の活動

1) 自治活動

(1) 学生会の執行体制

執行委員会を最高執行機関とし、委員長1名、副委員長2名、会計2名、書記2名の役員で構成されている。委員長が学生会の会長、副委員長が副会長を務め、学生会の代表となっている。代議員会は各学年、各サークル、各専門部会から1名ずつ選出された代議員で構成される。選挙管理委員会は3人で構成され、執行委員会委員長がこれを指名し代議員会の承認を得るものとする。下図のような組織構成となっている。



(2) 学生会の主な活動

① 役員選挙

6月27日締め切りでオンライン投票による選挙を実施した。

② 総会の開催

7月31日締め切りでオンライン意見表明による総会を実施した。新執行部ならびに予算案の承認、会則の改正が行われた。

③ 新入生歓迎球技大会の主催

5月10日に新入生歓迎球技大会を実施し68人の参加があった。

④ 看大祭実行委員会の主宰

実行委員会を運営し、9月13・14日に看大祭を実施した。

⑤ 後援会による学生会・サークル活動助成金への申請と会計管理

助成金の申請と各サークルへの配分、ならびに会計管理をおこなった。

2) 自主企画のボランティア活動

○那覇市「与儀トックリキワタ祭り」(救護班、健康測定など)

○「地域共生社会をみんなで創るお祭り LIFE ART MATSURI」

○那覇市「ありがとう与儀公園まつり」(救護班、健康測定など)

○多良間島出身高校生へのピアサポート「ふしやぬふ うぐなーり café」(那覇市)

○那覇さくらまつり(救護班、出店)

- 小学生向け BLS 講座（那覇市）
- 有料老人ホーム（那覇市）の高齢者との対話ボランティア
- 那覇市立寄宮中学校 ピアサポート
- 沖縄県警少年課少年サポートセンター
- 那覇市立曙小学校 職業体験ブースボランティア
- まわしティーダ祭り（那覇市）ボランティア（救護班）
- 那覇市立神原小学校 運動会（救護班）
- 沖縄県総合防災訓練ボランティア（傷病者役）

3) 研究活動

- 国際看護師協会フィンランド・ヘルシンキ大会」での研究発表
6 月に開催された学会において 4 年次学生 1 名が以下の演題でポスター発表をおこなった。
“Potential for integrating mobile vending and mobile medical services to support health care for the elderly in Okinawa”
- 「第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会」での研究発表
6 月に北海道で開催された学会にて以下の演題でポスター発表をおこなった。
 - ・地元コミュニティに密着した学びの還元～沖縄災協プロジェクト第一回いちゃりば祭×母子ケア～（4 年次学生 1 名）
 - ・君がつなぐ「命どう宝」～小学生のための BLS 講座～（2 年次学生 1 名・3 年次学生 1 名）
 - ・南の島から！ふしゃぬふ うぐな～り Cafe～小離島出身の高校生のピアサポート～（3 年次学生 1 名）

4) 社会活動

- セミナー「災害医療のリアルと薬理講座」を主催（沖縄県島嶼ケアコミュニティ）

7. 看護卒業研究一覧

令和7年度 看護卒業研究一覧 (78名)

領域名	課題名
基礎看護	高齢慢性心不全患者のセルフケア支援の特徴
	高齢慢性心不全患者の心理的苦痛を軽減する関わり
	認知症高齢者の生活史と価値観を踏まえた対象理解と尊厳を損なわない日常生活援助
	非言語的反応の読み取りと看護実践への活用
	急性期脳梗塞患者の思いを支える看護援助
	介助者と患者双方にとって安全・安楽な移乗介助に必要な構成要素
	高齢患者の日常生活に対する意欲を引き出すための看護者の関わり
	精神的ケアに向けた意図的な関わりについて
精神保健看護	精神科デイケアにおける非言語的コミュニケーションの活用:統合失調症をもつ利用者の信頼関係構築とセルフケア促進
	地域で生活する慢性期統合失調症患者の自己理解を促進する看護の関わり
	地域で生活する統合失調症を持つ方のセルフスティグマに影響する要因の検討 ～自己効力感の向上を目指した関わりから考える～
	糖尿病を持つ統合失調症患者に対するストレングスマッピングシートを活用した自己決定能力への働きかけの検討
	統合失調症患者の意思決定・自己表出のプロセスを支える看護実践
	食事の楽しみを尊重した高齢統合失調症疾患患者への身体・心理的アプローチの実践と考察
	陰性症状がみられる統合失調症患者との関係構築のプロセスの検討
地域保健看護	高齢者のQOLと終活への姿勢の関係
	高齢者の自立支援に向けた転倒予防セルフケア行動の分析
	がん予防を見据えた保健指導が生活習慣改善の思いに及ぼす影響
	GROWモデルを活用したコーチングによる自己決定を促す保健指導の実践
	BMIに基づく体型認識の可視化に着目した保健指導
	「重要度-自信度モデル」を用いた保健指導
	事業所の健康管理体制を支える衛生管理者・委託産業保健師の役割と連携
	行動目標の設定にセルフナッジを用いた保健指導
	外国人の来沖後の睡眠の状況とその関連要因
	沖縄に暮らす在留外国人の防災意識の現状と防災環境を踏まえた看護職者の支援の検討
	在留外国人の医療アクセスにおける困難と支援ニーズ
	支援者が在留外国人支援で感じるモヤモヤとその向き合い方
母性保健看護	セルフケア能力を高める効果的な母乳育児支援～エモーショナル・サポートで自信を育む取り組み～
	双胎妊娠の初産婦の母親役割獲得を促進する支援～バースレビューとパンフレットを用いた試み～
	MFICUに入院し長期安静治療を受ける妊婦の睡眠改善ケアの検討～足浴、マッサージ、思いの表出を促すケアを実施して～
	全前置胎盤でMFICUに入院する妊婦の感情表出支援としてのベアーズカードの活用
	NICUに入院する早産児の両親への愛着形成を促す看護についてーアルバム活用と両親の思いを語る場の意義ー
	GCUに入院している児とその家族に対する愛着形成を促進する関わり～日記や育児技術の支援を通して～
	早産児の個別性に応じた母乳育児支援
	NICU/GCUに入院している児の痛みを伴う処置・検査に対する反応と効果的な疼痛緩和ケア
	想定外の出産をした褥婦の出産に対する思い
	双胎初産婦の切迫早産入院中におけるストレスへの対応と評価
	長期入院を要する妊娠高血圧症候群の初産婦への病態理解とセルフケアを促す支援
	長期入院で妊娠期を過ぎた高齢初産婦の運動支援とストレス可視化の効果

令和7年度 看護卒業研究一覧（続き）

領域名	課題名
小児保健看護	学童期の慢性疾患をもつ子どもの頑張りを成長につなげる支援の検討
	家族の退院準備性を高めるために有効な支援の検討
	化学療法を受ける幼児前期のこどものがんばりを引き出し、自己肯定感を高める支援
	小児がん治療中の中学生女子におけるピアとの関わりと看護師の役割
	脊髄性筋萎縮症Ⅰ型をもつ小児の意思をくみとった看護実践
	長期内服が必要な幼児をもつ家族への内服指導～疾患と内服薬の関連の理解に対する支援を中心に～
成人保健看護	慢性疾患をもつ思春期の子どもに対するマインドマップを用いたセルフケア能力を高める支援
	終末期がん患者のその人らしさを支える全人的ケア
	終末期がん患者のその人らしさを尊重した看護援助
	終末期がん患者のスピリチュアルペインに対する自律性を尊重する看護援助
	内面を語らない終末期がん患者への寄り添う看護援助
	意欲が低下した心不全患者が自己管理行動への関心を高めていくプロセス
	ICU入室患者の主観的睡眠評価と睡眠の質を高める看護ケア
	全人的視点から捉えた糖尿病患者のセルフマネジメントにおける困難
	慢性心不全患者の自己効力感向上を目指した看護援助
	退院後の生活を見据えQOL向上を目指した支援
	心臓手術後患者の自己管理行動獲得に向けた支援～関心期から準備期へ～
	全人的苦痛を抱える終末期がん患者への看護援助～アロママッサージから得られた示唆～
	終末期がん患者の身体的苦痛に対するアセスメントと看護実践
	終末期がん患者の個別性を捉えたACPの実践
	終末期がん患者の心身の変化を捉えた希望を支える看護実践
	人工肛門造設によりボディイメージの変容が生じた患者への問題解決型危機モデルを活用した看護援助
	エビデンスに基づいた評価と個別性を反映した非薬理的介入によるせん妄予防の有効性
	高齢心不全患者が島で生き抜くために自己管理を獲得するプロセス
	心臓手術を受ける患者が不安の認知から心理的安寧を獲得するプロセス
老年保健看護	認知症高齢者の日常生活における意思決定支援—ストレングスを活かした看護実践を通して—
	認知症高齢者の生活行動を引き出すための関わり工夫—拒否への対応を通して—
	意思疎通困難な高齢者の主体性の発揮を支える看護実践—“感じている人”から“参加している人”への捉え直し—
	コミュニケーション困難を有する高齢者に対する情報伝達の工夫による感情表出の援助
	食事拒否を示す認知症高齢者への環境・心理面を踏まえた食支援
島嶼・在宅保健看護	在宅療養者の価値観を尊重した看護支援が信頼関係とセルフケア行動に及ぼす影響
	認知症高齢者の社会参加を支えるための看護支援—個別のニーズの捉え方と継続支援の視点から—
	在宅要介護高齢者の主体性に寄り添う生きがい支援
	離島におけるアルコール使用症回復への対話的支援の過程～ペプロウの対人関係論を活用して～
	小離島に暮らす超高齢者のストレングスを活かすケア
	共感から始まる超高齢者の寂しさへのケア—島民交流の場への参加を通じた試み—
	認知症高齢者の生活歴と島の資源を活かした回想法によるケア
	「避難を選択しない」慢性疾患をもつ要配慮者への島の文化的背景を踏まえた災害時看護支援
	認知症の人のもつ可能性を諦めないケア—島にあるヤラブの実を活用した貢献を目指して—

<大学院看護学研究科>

1. 令和7年度学事暦

令和7年度 大学院学事暦

項 目		令和7年度
前 学 期	入学式	4月 2日(水)
	ガイダンス、オリエンテーション	4月 2日(水)
	履修登録(Web)	4月 3日(木)～4日(金)
	前学期授業開始	4月 7日(月)
	前学期学位論文仮テーマ提出期限	5月 1日(木)
	定期健康診断	5月21日(水)又は29日(木)
	開学記念日	5月15日(木) ※全学休講
	前学期学位審査申請書・学位論文(初稿)提出期限	6月 2日(月)
	慰霊の日	6月23日(月) ※休業日
	前学期学位論文中間発表会	7月18日(金)
	オープンキャンパス	7月19日(土)
	前学期学位論文(最終稿)提出期限	7月28日(月)
	前学期学位論文審査・最終試験	8月 4日(月)～ 8月15日(金)
	夏季休業	8月15日(金)～ 9月30日(火)
	履修登録(追加)期間	9月 1日(月)～9月 5日(金)
	前学期学位論文保存版提出期限	9月18日(木)
	前学期学位論文公開発表会、学位授与式	9月18日(木)以降
	後 学 期	後学期授業開始
大学院入試準備		10月 3日(金)15時以降 教育管理棟立入禁止
大学院1次募集入試		10月 4日(土) 予備日 予備日11日(土)
後学期学位論文仮テーマ提出期限		11月 4日(火)
後学期学位審査申請書・学位論文(初稿)提出期限		11月25日(火)
冬季休業		12月25日(木)～ 1月 7日(水)
授業開始		1月 6日(火)
後学期学位論文中間発表会		1月 9日(金)
後学期学位論文(最終稿)提出期限		1月19日(月)
後学期学位論文審査・最終試験		1月23日(金)～ 2月2日(月)
大学院2次募集入試		2月 7日(土)
後学期学位論文公開発表会		3月5日(木)
後学期学位論文保存版提出期限		3月12日(木)
後学期授業終了		3月14日(土)
春季休業		3月15日(日)～ 3月31日(火)
卒業式・修了式	3月15日(日)	

※1 6月15日(日)、8月30日(土)、10月4日(土)、11月29日(土)、2月25日(水)、2月14日(土)は入試(※学部入試を含む)のため大学敷地内が、入試前日(前日が土日の場合は金曜日からは準備のため午後より教育管理棟立入禁止となります)。

※2 1/17、1/18は共通試験のため、前日より終日大学敷地内立入禁止、実習科目以外休講となります。

※3 博士前期課程の大学院共同カンファレンスは前学期、後学期に各1回ずつ行います。

※4 博士後期課程の大学院共同カンファレンスは後学期に1回行います。

学事歴が変更になる場合もありますので、ご了承ください。

2. 教育

1) 教育目標

グローバル化時代と少子・高齢社会、高度に専門・分化した保健医療福祉サービス体制の中で、看護ケアを受ける側の立場に立って高い見識と専門的知識・技術・態度で高度な看護ケアを立案、実施、評価できる看護実践者及び行政、経営・管理面における看護専門職者の果たす役割、教育者の役割は増大している。

本大学院は、時代や社会の要請に対応できる専門職業人のリーダーとして高度なケアを実践できる専門看護師など実践家、看護の管理者、学習や教育の原理を統合して看護教育に応用する教育者、研究活動によって看護知識の創出に貢献する研究者、保健看護活動を通して新しい学問の創出に貢献できる人材の養成を目指している。

博士前期課程：広い視野に立って看護における高度なケアの実践や教育のできる

専門的能力を養う、または、学識を深めることによって研究能力を養う。

博士後期課程：看護分野における研究者として自立した研究活動を行うのに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う。

2) 教育課程の編成

ア 分野及び領域の構造

近年のグローバル化、少子・高齢化、IT化、価値の多様化に伴って、人々の保健看護上のニーズには著しい変化がみられる。本研究科は、これらの課題に対応する質の高い看護職者に必要な教育課程を提供している。図1は大学院の分野及び領域の構造を示している。すなわち、横軸（生涯発達軸）では人の生涯を視野に入れ、人は疾病の有無に関わりなく出生前から死まで環境との相互作用を通して質的に変化し続ける存在としてとらえ、縦軸（多重文化軸）では人を自分の生まれた家族・地域・国々の中で地理的・歴史的・多文化的経験をにない、多重文化軸のなかで生活する存在としてとらえている。これはすでにある学問領域での地域保健看護と国際保健看護として教育・研究されている内容に対応する領域である。

あえて文化間保健看護という新しい名称を用いた理由は、①すでに人々の生活や学問の分野において健康に関する問題が国境を越えて伝播していること、②学際的に解決しなければならない課題が生起していること、③沖縄県に代表される離島やへき地における地域保健看護上の課題とその解決方法は他府県や他国においても共通点が少なくないことである。

一方、他府県、他国での看護実践が沖縄県の離島に必ずしも適用できないものもある。すなわち、人は家族の中で育てられることによって無意識・意識的に家族、地域、国の文化を担って健康行動を身につけている。看護職者は人の健康現象を生物学的年齢や疾病の有無などと生活行動や環境との力動的相互作用の結果のためであると理解し、文化が健康行動に深く関与することに敏感な教育・研究を行う必要がある。

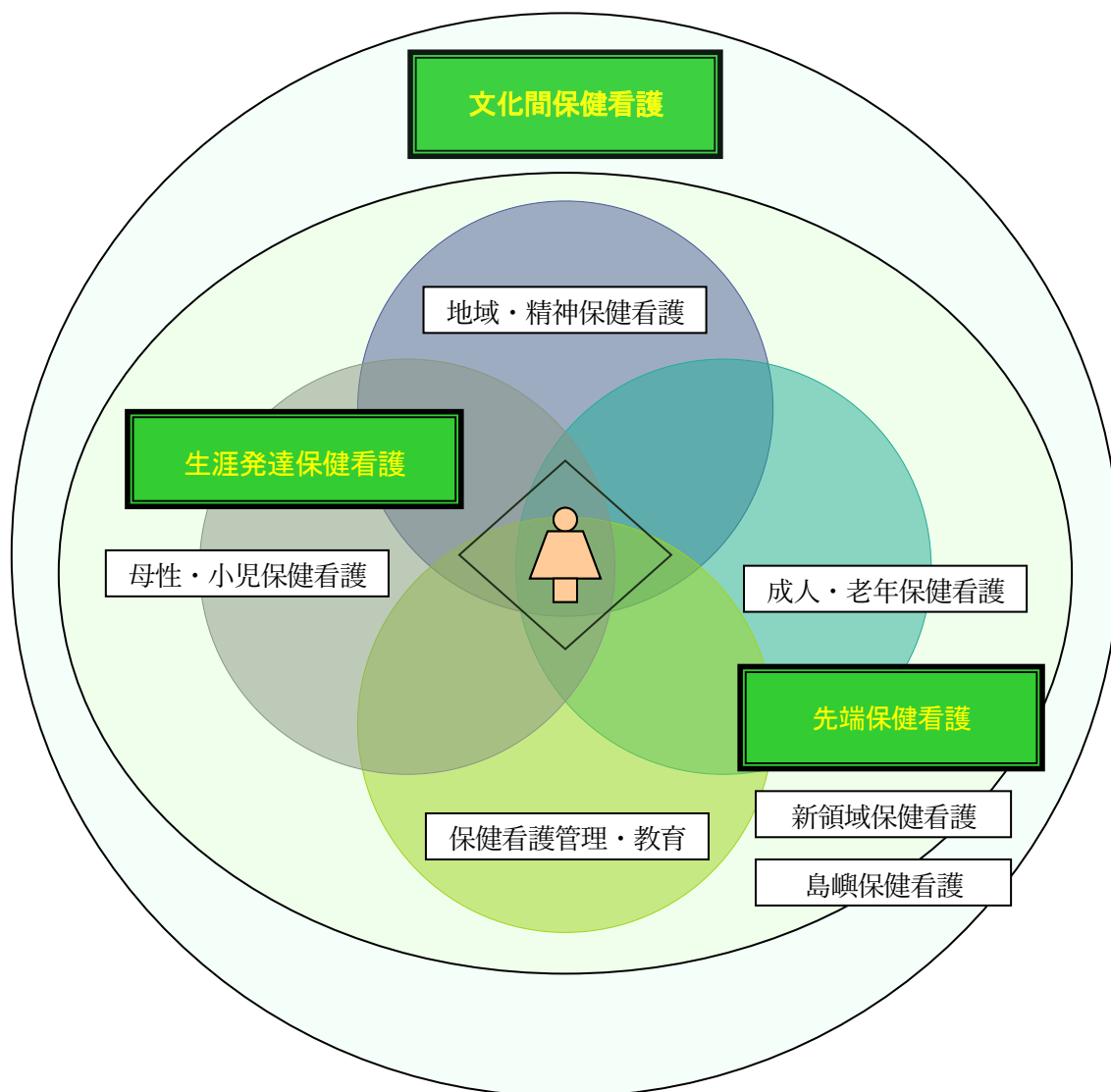


図1 3分野・6領域の構造

なお、ここでは「多重文化」を軸とした保健看護教育の枠組みを用いて、「特定文化」を軸（例えば地域、障害や病院の有無、ジェンダー、宗教、国籍など）とした集団を想定している。ある社会（沖縄県）において、どの「文化」集団が認知され、反対に、そのような文化集団の境界内において必ずしも認知されない「文化」集団もある。

集団の「特定文化」と人々の健康現象との関連を比較分析し検討することは、同時にその過程で保健看護上の沖縄や日本の文化を自覚し、他文化の認識と理解を深めることになる。これは従来の日本の看護教育の中で、学問的になおざりにされてきた分野であり、文化的多様性を肯定し、「特定文化」を軸として看護教育のプロセス、既存のカリキュラム、教材、教育理念や実践方法等の見直しを行い、WHOの「すべての人に健康を」の提唱の実現に向けた学生の資質の育成と教育であり、新しい学問領域の開発である。

イ 分野及び領域の特徴

博士前期課程と博士後期課程の分野及び領域は、双方に共通する**3分野6領域**である。すなわち、文化間保健看護分野の**保健看護管理・教育領域及び地域・精神保健看護領域**、生涯発達保健看護分野の**母性・小児保健看護領域及び成人・老年保健看護領域**、先端保健看護分野の**新領域保健看護領域及び島嶼保健看護領域**で構成されている。

文化間保健看護分野は、保健看護管理・教育と地域・精神保健看護の2領域からなり、前者には保健看護管理と保健看護教育の専門科目が含まれ、後者には地域保健看護と精神保健看護の専門科目が含まれる。国内における保健看護管理、看護政策はもとより開発途上国及び先進国のこれらの領域における知識と技術をマクロ及びミクロの視点から多重文化を軸として保健看護上の看護実践の問題解決のため、病院、施設、看護職者を育成する機関、あるいは地域における実践、教育・研究を行う。なお、本分野には精神看護専門看護師を育成する科目が置かれている。

生涯発達保健看護分野には、母性・小児保健看護、成人・老年保健看護の2領域があり、個人の出生前から死までの時間を軸として人生コースにおける保健看護の実践、教育・研究を特徴とする。なお、本分野には小児、がん並びに老年の看護専門看護師を育成する科目が置かれている。

先端保健看護分野には、新領域保健看護と島嶼保健看護の2領域がある。なお、島嶼保健看護領域のプログラムは、平成20年度～22年度に文部科学省の「組織的な大学院教育改革推進プログラム」として採択されたものである。また、平成23年度には、文部科学省の補助事業である「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」として「島しょにおける『包括的専門看護師』の養成」プログラムが採択され、平成24年度より「島嶼保健看護」領域に「包括的専門看護師」を養成する科目が時限的に設置され、平成26年度より「実践島嶼保健看護」として、正式に島嶼保健看護領域の中に位置付けられた。この領域では沖縄県の離島やへき地という地域に立脚して、遠隔保健看護、ヘルスプロモーション・健康教育、人間の生涯教育などの情報を活用しての保健看護活動、遠隔教育や継続教育、先端医療及び健康増進活動や島づくりなどの実践、教育・研究を行う。

3) 履修・研究指導

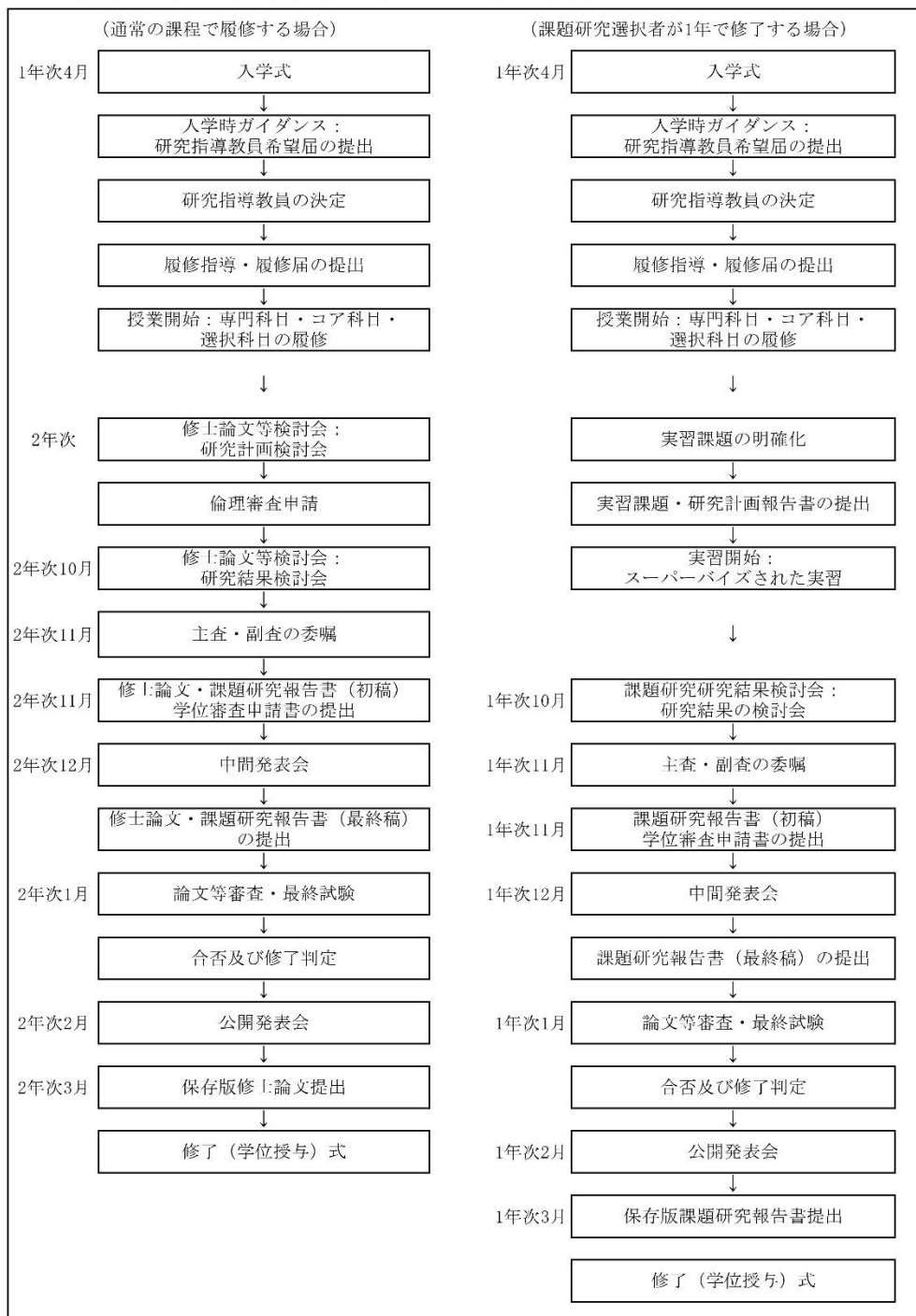
ア 博士前期課程

入学から修了までの履修指導・研究指導の概要は図1の通りである。

1年間で修了するためには、特別に優秀な成績を修めた上で、課題研究を提出し、別に総合科目試験を受験することが必要となる。

また、研究指導教員及び院生は「学習指導進捗状況経過報告書（研究指導教員）」、「学習進捗状況経過報告書（学生）」及び「研究指導計画書」により学期毎に学習進捗状況を研究科長に報告する。

図1 入学式から修了式までの履修指導・研究指導の概要（博士前期課程）



イ 博士後期課程

入学から修了までの履修指導・研究指導の概要は図2の通りである。

2年間で修了するためには、特別に優秀な成績を修めることが必要となる。また、研究指導教員及び院生は「学習指導進捗状況経過報告書（研究指導教員）」、「学習進捗状況経過報告書（学生）」及び「研究指導計画書」により、学期毎に学習進捗状況を研究科長に報告する。

図2 入学式から修了式までの履修指導・研究指導の概要（博士後期課程）



3. 教員構成

1) 博士前期課程 20人

令和8年3月

職名	氏名	学位	専門分野	担当科目
教授	宮里 智子	博士 (医学)	文化間保健看護 保健看護管理・教育	保健看護管理・教育特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／保健看護管理演習、実習／継続保健看護教育Ⅰ／看護管理・政策／医療の質保証と安全管理
准教授	栗原 幸子	博士 (看護学)	文化間保健看護 保健看護管理・教育	保健看護管理・教育特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／保健看護教育演習、実習／継続保健看護教育Ⅰ／教育方法論／実践ヘルスアセスメント
教授	瓜崎 貴雄	博士 (心理学)	文化間保健看護 地域・精神保健看護	地域・精神保健看護特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／精神保健看護演習、実習／看護コンサルテーション論
准教授	牧内 忍	修士 (保健学)	文化間保健看護 地域・精神保健看護 ／先端保健看護島嶼 保健看護	地域・精神保健看護特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／地域保健看護演習、実習／島嶼保健看護特別研究Ⅰ、課題研究／ヘルスプロモーション・健康教育Ⅰ、疫学と保健統計Ⅰ
准教授	知念 真樹	博士 (看護学)	文化間保健看護 地 域・精神保健看護／ 先端保健看護島嶼保 健看護	地域・精神保健看護特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／地域保健看護演習、実習／島嶼保健看護特別研究Ⅰ、課題研究
教授	井上 松代	博士 (保健学)	生涯発達保健看護 母性・小児保健看護	母性・小児保健看護特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／母性保健看護演習、実習／看護倫理
教授	西平 朋子	博士 (看護学)	生涯発達保健看護 母性・小児保健看護	母性保健看護演習、実習
教授	上原 和代	博士 (看護学)	生涯発達保健看護 母性・小児保健看護	母性・小児保健看護特論Ⅰ、特別研究Ⅰ、課題研究／小児保健看護演習、実習／実践小児看護特論、演習、実習、課題研究

教授	神里 みどり	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護／先端保健看護新領域保健看護／先端保健看護島嶼保健看護	なし
教授	謝花 小百合	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護／先端保健看護新領域保健看護	成人・老年保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究／成人保健看護演習、実習／実践がん看護特論、演習、実習、課題研究／新領域保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究、演習、実習
教授	赤嶺 伊都子	博士 (保健学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護／先端保健看護新領域保健看護	成人・老年保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究／成人保健看護演習、実習／新領域保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究、演習、実習
准教授	大城 真理子	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護	成人・老年保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究／成人保健看護演習、実習／実践がん看護特論、演習、実習、課題研究
准教授	平良 由香利	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護	成人保健看護演習、実習／実践ヘルスアセスメント
教授	田場 由紀	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護／先端保健看護島嶼保健看護	成人・老年保健看護特論 I、特別研究 I、課題研究／老年保健看護演習、実習／実践老年看護特論、演習、実習、課題研究／島嶼保健看護特別研究 I、課題研究／地域文化看護論／保健看護と研究 I
准教授	山口 初代	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成人・老年保健看護	老年保健看護演習、実習／実践老年看護特論、演習、実習、課題研究／質的研究方法論
准教授	砂川 ゆかり	博士 (看護学)	先端保健看護新領域保健看護	実践老年看護特論、演習、実習、課題研究
教授	佐久川 政吉	博士 (保健学)	先端保健看護島嶼保健看護	島嶼保健看護特論 I、特別研究 I、演習、実習／実践島嶼保健看護特論、演習、実習、課題研究
教授	佐伯 宣久	博士 (医学)	—	実践臨床病態生理学

准教授	栗島 一博	博士 (工学)	—	保健看護情報
准教授	山口 賢一	博士 (社会学)	—	アカデミック・イングリッシュ I、II

2) 博士後期課程 7人

令和8年3月

職名	氏名	学位	専門分野	担当科目
教授	宮里 智子	博士 (医学)	文化間保健看護 保健看護管理・教育	保健看護管理・教育特論II、 特別研究II／継続保健看護 教育II
教授	瓜崎 貴雄	博士 (心理学)	文化間保健看護 地域・精神保健看護	地域・精神保健看護特論II、 特別研究II
教授	上原 和代	博士 (看護学)	生涯発達保健看護 母性・小児保健看護	母性・小児保健看護特論II、 特別研究II
教授	神里 みどり	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成 人・老年保健看護／先 端保健看護新領域保健 看護／先端保健看護島 嶼保健看護	成人・老年保健看護特論II、 特別研究II／新領域保健看 護特論II、特別研究II／島嶼 保健看護特論II、特別研究II ／保健看護と研究II (デザイ ン編・執筆編)
教授	謝花 小百合	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成 人・老年保健看護／先 端保健看護新領域保健 看護	成人・老年保健看護特論II、 特別研究II／新領域保健看 護特論II、特別研究II／保健 看護と研究II (デザイン編・ 執筆編)
教授	田場 由紀	博士 (看護学)	生涯発達保健看護成 人・老年保健看護／先 端保健看護島嶼保健看 護	成人・老年保健看護特論II、 特別研究II／島嶼保健看護 特論II、特別研究II
教授	佐久川 政吉	博士 (保健学)	先端保健看護 島嶼保健看護	島嶼保健看護特論II、特別研 究II

4. 学生の状況

1) 志願者・受験者・入学者数

募集区分			定員	志願者数					受験者数					入学者数				
				総数	男	女	県内	県外	総数	男	女	県内	県外	総数	男	女	県内	県外
保健看護学研究科	博士前期課程	文化間保健看護	6	2	1	1	2	0	2	1	1	2	0	2	1	1	2	0
		生涯発達保健看護		7	1	6	7	0	6	1	5	6	0	5	0	5	5	0
		先端保健看護()		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	6	9	2	7	9	0	8	2	6	8	0	7	1	6	7	0
			(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	
	博士後期課程	文化間保健看護	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生涯発達保健看護		1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
		先端保健看護		1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
小計		2	2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	
合計			8	11	2	9	11	0	10	2	8	10	0	9	1	8	9	0
		(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)		

※括弧の人数は島嶼枠(内数)

2) 学年別学生数

令和7年4月

課程	学年	女子学生	男子学生	合計
博士前期課程	1年生	6	1	7
	2年生	13	2	15
	合計	19	3	22

課程	学年	女子学生	男子学生	合計
博士後期課程	1年生	2	0	2
	2年生	2	0	2
	3年生	5	3	8
	合計	9	3	12

3) 長期履修制度を利用している学生数

博士前期課程： 16人

博士後期課程： 7人

4) 奨学金貸与の状況

種類	人数	備考
日本学生支援機構	1	1年次 貸与型
沖縄県修学金	0	

5) 令和7年度修了者数と進路

	修了者数	県内	県外
博士前期課程	8	7	1
博士後期課程	1	1	0

5. 学位論文一覧

博士前期課程

領域	科目名	タイトル
成人・老年保健 看護	実践がん看護課題 研究	外来で治療を継続する遠隔転移を有したがん患者へのアドバンス・ケア・プランニング促進に向けた取り組み
成人・老年保健 看護	実践がん看護課題 研究	延命・症状緩和のための薬物療法を受ける進行がん患者の意向に沿った外来を基盤とした療養支援
成人・老年保健 看護	老年保健看護課題 研究	救急外来受診後帰宅する軽症高齢者への新たな看護方法の提案とその評価
地域・精神保健 看護	精神保健看護課題 研究	精神科デイケアを利用する精神疾患をもつ人の希望に焦点をあてた看護実践の検討
保健看護管理・ 教育	保健看護管理課題 研究	急性期病院で働く外国人看護補助者の長期定着に向けた看護管理者の取り組みの現状と課題
保健看護管理・ 教育	保健看護教育課題 研究	セカンドキャリアとして急性期病院から介護施設を選択した看護管理者の役割移行
保健看護管理・ 教育	保健看護教育課題 研究	小児集中治療室で働き続けている看護師の体験と意味づけ
成人・老年保健 看護	成人保健看護特別 研究Ⅰ	初発脳梗塞患者の受診行動のプロセスと受診遅延に至る意思決定に影響する要因

博士後期課程

領域	科目名	タイトル
島嶼保健看護	島嶼保健看護特別 研究Ⅱ	小島嶼における自立高齢者の関係性ウェルビーイング—伝統行事と経験・意味づけの生成・変容過程—

<別科助産専攻>

1. 令和7年度学事曆

令和7年度 別科助産専攻 学事曆

学期	項目	日程
前期	入学式	4月2日(水)
	新入生ガイダンス・履修ガイダンス	4月2日(水)、3日(木)、4日(金)
	前期授業開始	4月7日(月)
	新入生オリエンテーション	4月4日(金)
	履修登録期間	4月7日(月)～4月9日(水)
	履修登録修正及び確認	4月10日(木)～4月11日(金)
	開学記念日	5月15日(木) *休講
	定期健康診断	5月29日(木)
	慰霊の日	6月23日(月) *休講
	実習連絡会議(第1回)	7月1日(火)
	期末試験	7月14日(月)～7月18日(金)
	オープンキャンパス	7月19日(土)
	夏季休業	8月15日(金)～9月30日(火)
	別科助産専攻入試 ※1	8月30日(土)
	第23回看大祭	夏季休暇中の2日間で開催
	助産実習(地域実習、NICU実習)	8月12日(火)～8月29日(金)
	助産実習(病院施設実習)	8月25日(月)～11月14日(金) 9月22日(月)～12月12日(金)
	後期	後期授業開始
大学院入試 ※1		10月4日(土) 予備日10月11日(土)
特別選抜入試(看護学部) ※1		11月29日(土)
離島実習		12月15日(月)～19日(金) (予定)
冬季休業		12月25日(木)～1月7日(水)
ウイメンズ・ヘルス実習		1月13日(火)～1月23日(金)
大学入学共通テスト ※2		1月17日(土)～1月18日(日)
大学院入試(2次) ※1		2月7日(土)
外国人特別学生選抜入試 ※1		2月14日(土)
助産研究発表会		2月20日(金) (予定)
一般選抜入試(前期・看護学部) ※1		2月25日(水)
修了記念講演		3月3日(火) (予定)
実習連絡会議(第2回)		3月3日(火) (予定)
修了式		3月15日(日)
春季休業		3月15日(日)～3月31日(火)

※1 入試準備のため、前日は15時より教育管理棟立入禁止となります。

※2 大学入学共通テスト準備のため、前日は終日大学敷地内立入禁止となります。

2. 教育

1) 教育目標

- (1) 沖縄県の抱える母子保健の課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- (2) ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- (3) 助産師として自律するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人として沖縄県の母子保健医療に貢献できる能力を養う。
- (4) 科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

2) 教育課程の編成

別科助産専攻は助産教育の体系を「コア科目」「関連科目」「研究」の3つの科目群で構成している。

3) カリキュラム

「コア科目」は助産を実践していくための知識、技術を学習する科目群であり、その中には本県の母子保健の現状や課題を追求する内容も含まれている。さらに、それらの学びを実践するための臨地実習が展開されている。授業科目として、助産学概論、基礎助産学、基礎助産学演習、助産診断・技術学、助産診断・技術学演習Ⅰ、助産診断・技術学演習Ⅱ、ウイメンズ・ヘルス、地域母子保健、地域母子保健演習、助産管理学、助産実習、離島実習、ウイメンズ・ヘルス実習がある。

「関連科目」は「コア科目」を補完する科目群として位置づけられている。授業科目として、生命倫理、健康教育論演習、保健情報外演習がある。「研究」は助産学に広く関連した課題を追求するための科目群である。授業科目として、研究への導入、助産研究がある。

4) 学生指導

専任教員4人で20人の学生指導を行っている。主な支援内容として、入学時と実習開始前には個人面談を実施し、学生の状況を確認している。それ以外にも必要時面談を実施し、学生生活での困りごとを早期に把握し、必要な支援につなげていくよう支援を行っている。また、すべての実習が終了すると、学内登校日を設け、学生の質疑応答に対応する時間や過去問等を利用した国試対策を行っている。

5) 臨地実習

(1) 実習の概要

実習は、実習目的に応じて担当教員と実習先との調整を行い実施する。その際、学生は学長に「実習に関する誓約書」により誓約する。

また、事故発生時には「事故発生連絡網」に基づき速やかに対処を行うとともに、学生及び担当職員はインシデントレポート（学生用・教員用）を学長に提出する。

(2) 実習協議会

毎年7月と3月の2回、実習連絡会議を開催している。助産実習で使用している施設（地域実習、NICU実習を含む）、離島実習で使用している施設、ウイメンズ・ヘルス実習で使用している施設の指導者が一堂に介して、実習に関する調整会議を実施している。実習上の課題等を情報共有している。実習施設からの課題や提案については授業の見直しや改善に役立てている。また、全国助産師

教育協議会からの助産師教育に関する話題についての情報提供を行う場にもなっている。

(3) 学生の実習評価

実習では、助産学生として求められる知識・技術・態度の3側面から評価を行っている。実習評価は、各実習の到達目標に沿って作成した評価表を用い、学生自身による自己評価、実習指導者からの評価、教員の評価を参考に行っている。

(4) 実習施設一覧

実習科目		名称
助産実習	助産実習	県立八重山病院、県立北部病院、県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センター、沖縄赤十字病院、ハートライフ病院、名城病院、うえむら病院、糸数病院
	NICU 実習	県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センター
	地域実習	母子未来センター、子育て世代包括支援センター（読谷村、沖縄市、北中城村、中城村）、子育て支援センター（うるま市あげなこども分園、社会福祉法人たんぼぼ保育園、浦添市ていんさぐ、那覇市ていーら）
離島実習		公立久米島病院、久米島町役場、久米島町子育て支援センターにじのひろば
ウィメンズ・ヘルス実習		県立中病院、うえむら病院、空の森クリニック

(5) 次年度の課題

- ・分娩件数や分娩取扱施設が減少する中で、助産実習受入れ施設を安定的に確保することが課題である。
- ・現在、教員が複数の実習施設を掛け持ち、実習指導を行っている。実習の質の担保や効果的な実習展開を行うためには、看護教育支援専門員の安定的確保も課題である。

3. 教員構成

令和8年3月

職名	氏名	専門分野	担当科目
教授	西平朋子	母性・助産	助産学概論、基礎助産学演習、助産診断・技術学演習Ⅰ、助産診断・技術学演習Ⅱ、ウイメンズ・ヘルス、地域母子保健演習、助産管理学、生命倫理、健康教育論演習、研究への導入、助産研究、助産実習、離島実習、ウイメンズ・ヘルス実習
講師	大城早苗	母性・助産	基礎助産学、基礎助産学演習、助産診断・技術学、助産診断・技術学演習Ⅰ、助産診断・技術学演習Ⅱ、ウイメンズ・ヘルス、地域母子保健、地域母子保健演習、健康教育論演習、助産研究、助産実習、離島実習、ウイメンズ・ヘルス実習
講師	嘉陽田友香	母性・助産	基礎助産学、基礎助産学演習、助産診断・技術学、助産診断・技術学演習Ⅰ、助産診断・技術学演習Ⅱ、ウイメンズ・ヘルス、地域母子保健演習、健康教育論演習、助産研究、助産実習、離島実習、ウイメンズ・ヘルス実習
講師	當間紀子	母性・助産	基礎助産学、基礎助産学演習、助産診断・技術学、助産診断・技術学演習Ⅰ、助産診断・技術学演習Ⅱ、ウイメンズ・ヘルス、地域母子保健演習、健康教育論演習、助産研究、助産実習、離島実習、ウイメンズ・ヘルス実習

4. 学生の状況

1) 志願者・受験者・入学者数

試験区分		募集 人員	志願者数			受験者数			入学者数			
			(志願倍率)	県内	県外		県内	県外		県内	県外	
一般選抜		10	33	29	4	33	29	4	11	10	1	
			(3.3)									
特別選抜	産科専門施設勤務者枠	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	
			(0.5)									
	医療施設勤務者枠	2	8	8	0	8	8	0	2	2	0	
			(4.0)									
	看護専門学校推薦枠	3	6	6	0	6	6	0	3	3	0	
			(2.0)									
	看護学士枠	3	8	8	0	8	8	0	3	3	0	
			(2.7)									
	計	10	23	23	0	23	23	0	9	9	0	
			(2.3)									
	合計		20	56	52	4	56	52	4	20	19	1
				(2.8)								

2) 学生数（令和7年4月）

20名

3) 奨学金貸与の状況

種類	人数
日本学生支援機構	6
沖縄県修学金	5

4) 令和7年度修了者数と進路

①修了者数 20名 (就職20名、進路0名)

②就職先一覧

	施設名	就職者数
県内	沖縄県病院事業局	5名
	社会医療法人かりゆし会 (ハートライフ病院)	4名
	医療法人南部徳洲会病院	2名
	琉球大学病院	2名
	医療法人 海秀会 うえむら病院	1名
	社会医療法人敬愛会 中頭病院	1名
	社会医療法人友愛会(友愛医療センター)	1名
	那覇市立病院	1名
県外	3施設	3名
	合計	20名

5. 助産研究一覧

	題 目
1	県外から里帰り分娩を行った母親への支援
2	分娩第Ⅰ期の足浴によるリラックス効果が産婦に与える影響 —足浴を実施したⅠ事例の考察—
3	初産婦の母乳育児継続に向けた支援の在り方 ～妊娠期から産後Ⅰか月健診までの関わりを通して～
4	過去の出産体験に起因する不安と恐怖を抱く経産婦に対する心理的支援 ～寄り添う支援がもたらす出産満足度への影響～
5	対象理解が信頼関係構築および個別的支援に与える影響 —意思表示の少ない若年産婦との関わりを通して—
6	巨大乳頭による授乳困難を経験した母親の心理的变化とその変化
7	授乳リズムを大切にしたい産婦への寄り添い —母児同室の選択過程を通して—
8	セルフケアが制限された母親への母乳育児支援
9	回旋異常への四つん這い介入を通して学んだ分娩第Ⅰ期の助産ケア
10	脳性麻痺により行動制限がある初産婦への育児支援
11	分娩第Ⅰ期に実施する産痛緩和としての腰部圧迫の効果について
12	意思疎通困難な在留外国人産婦への支援
13	早産既往のある妊婦が安心して出産を迎えられるための関わり
14	母子分離における不安の強い母親に対する支援と母親役割獲得との関連
15	授乳時に不快感を示す母親への支援と助産実践の検討
16	不安が強い妊婦へ助産学生が行ったケアをふり返る
17	周産期うつ病を呈した事例に対する助産学生の関わり —妊娠期から産褥期にかけての愛着形成を促す関わり—
18	妊娠期からの助産学生の介入による母親の授乳への気持ちの変化 ～初産婦の成功体験を通して～
19	出産体験の肯定的受容に関わる要因についての検討
20	不安の強い初産婦の産後支援の必要性

運 営

<法人組織>

1. 全学自己点検

1) 構成員

委員：◎神里みどり、○名城政広、赤嶺伊都子、宮里智子、佐伯宣久、
田場由紀、佐久川政吉、西平朋子
事務局：川上

2) 所掌事項

- (1) 大学評価に関すること
- (2) 内部質保証の体制に関すること
- (3) 学内委員会の自己点検・評価の統括に関すること。
- (4) 自己点検・評価報告書の作成及び学内委員会への改善・向上指示に関すること
- (5) 大学評価結果の公表に関すること
- (6) 中期目標原案の審議、中期計画及び年度計画の立案に関すること
- (7) その他大学評価及び内部質保証に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 5月7日(水)	1. 令和6年度業務実績及び令和7年度計画（個票2）について（当委員会所管箇所） 2. 令和7年度計画について 3. 令和6年度計画の実績及び評価等について 4. 令和6年度専任教員と委員会の活動報告について
2	令和7年 6月4日(水)	1. 令和7年度計画について 前回会議からの修正・理事会要望等の確認 2. 令和6年度計画の実績及び評価等について 前回会議からの修正の確認 3. 令和6年度専任教員と委員会の活動報告について 前回会議からの修正の確認
3	令和7年 9月3日(水)	1. 令和9年度受審の認証評価について
4	令和7年 10月1日(水)	1. 一般財団法人大学教育質保証・評価センター開催の質保証ワークショップ（実務担当者向け）について 2. 個票2（令和6年度実績評価）について 3. 教育研究職場環境教員意識調査2025 について
5	令和7年 12月3日(水)	1. 認証評価の委員会毎の役割分担について 2. 年報の現時点での状況について 3. 大学評価（地独法関係）のスケジュールについて
6	令和8年 1月14日(水)	1. 基準2及び基準3の取組み案の報告について（各委員会） 2. 令和7年度業務実績報告書、業務実績報告書（見込評価）、令和8年度年度計画の作成について
7	令和8年 2月4日(水)	1. 年度計画（令和8年度）、業務実績報告書（令和7年度・見込評価）の作成スケジュールについて 2. 「認証評価」基準2、基準3の前回からの追加報告など（各委員会）

8	令和8年 3月4日(水)	1. 令和7年度業務実績及び令和8年度計画（個票2）について（当委員会所管箇所） 2. 令和8年度計画について 3. 令和7年度と見込評価の実績報告書について 4. 令和7年度専任教員と委員会の活動報告について
---	-----------------	--

(1) 令和6年度自己点検評価の実施

各委員会から提出された最終評価報告書について、内容の点検および評価を実施した。各委員会における取組状況や改善点を把握し、内部質保証の観点から妥当性を確認した。

(2) 令和8年度計画の策定

新たに生じた課題を確認するとともに、その対応方針について検討を行い、令和8年度の年度計画を策定した。これにより、継続的改善に向けた具体的な取組方向を整理した。

4) 次年度に向けた課題

令和9年度に予定されている認証評価の受審に向け、今年度は取組体制の確認を行った。次年度においても、引き続き受審に必要となる資料の作成・整備を進めるとともに、提出資料や自己点検・評価の内容に関する最終調整を行い、円滑な受審に備える。

2. 危機管理委員会

1) 構成員

委員：◎名城政広、田場由紀、瓜崎貴雄、謝花小百合、長濱直樹、比嘉公宏
事務局：総務課 金城、比嘉

2) 所掌事項

- (1) 危機管理に関する体制整備に関すること
- (2) 危機管理に関する規程及び要綱等の整備又は見直しに関すること
- (3) 危機管理マニュアル等の整備に関すること
- (4) 危機管理に関する研修・訓練の立案、実施に関すること
- (5) 学生及び教職員が危機を被ることのないよう安全管理を徹底すること
- (6) 学生及び教職員に対し、危機管理に関する情報を提供すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月23日(水)	1. 令和7年度計画及び行動計画について 2. 令和7年度緊急連絡網の取り扱いについて
2	10月14日(水)	1. 令和7年度防災訓練実施計画について
3	11月19日(水)	1. 令和7年度防災訓練振り返りについて 2. 令和7年度不審者対策訓練案について 3. 防災システム導入の基本的考え方について 4. 災害対応自動販売機の公募について 5. 教職員意見への対応について
4	12月17日(水)	1. 看護大学事業継続計画(BCP)の見直しについて 2. 教職員緊急連絡網の多重化について 3. 防災備蓄物品の購入について 4. 令和7年度計画の進捗状況について 報告： 令和8年度防災訓練日程
5	2月18日(水)	1. 安全保障輸出管理規程の改正(2025外為法改正対応) 2. 令和7年度実績・年報について 3. 令和8年度計画について

(1) 防災訓練

令和7年10月29日、事務局の一室でトラック火災が発生したとの想定で、教職員及び学生参加により、総合訓練(通報・初期消火・区画形成・避難誘導等)を実施した。

(2) 不審者対応訓練

令和7年12月26日、不審者が学務課窓口にて学生との面談を強要しているとの想定で、事務局職員参加により、足止め→通報→侵入阻止→教室の施錠・避難の対応を確認した。

(3) 備蓄計画の具体化

学生の帰宅困難・校内滞留を想定した備蓄計画を策定した。また、防災機能の強化策として、災害対応自動販売機導入の公募を行った。

4) 次年度に向けた課題

次年度は、BCPは地震以外の想定も含め、継続水準・中核業務・代替手段・復旧目標時間（RTO）を具体化し、参集不能時の指揮命令も整理する。緊急連絡網は多重化の運用ルールと更新手順を確立する。併せて、鍵管理と連動した入退場管理を含む警備システム検討、備蓄の分散配置・棚卸し・更新、災害対応自販機の公募・協定締結を進める。

3. 情報セキュリティ委員会

1) 構成員

委員：◎赤嶺伊都子、○佐伯宣久、田場由紀、宮里智子、西平朋子、栗島一博、名城政広、
与那嶺隆、比嘉公宏

事務局：総務課 金城、比嘉

2) 所掌事項

- (1) 情報セキュリティ方針の維持及び見直しに関する事項
- (2) 情報セキュリティ対策標準の策定等に関する事項
- (3) 情報セキュリティ実施手順の策定等に関する事項
- (4) 情報資産に対する重大な脅威への警戒・監視に関する事項
- (5) 情報セキュリティにかかわる事件・事故の調査分析及び再発防止策の立案に関する事項
- (6) 情報セキュリティにかかわる啓発活動の実施に関する事項
- (7) その他情報セキュリティに関し必要な事項

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日(水)	1. 令和7年度計画の推進について 報告： 令和7年度情報セキュリティ組織体制
2	5月15日(水)	1. 国外からの不正アクセスのブロックについて 2. 情報セキュリティ監査の実施に向けた取組について 報告： 令和7年度行動計画、令和6年度情報セキュリティ自己点検結果
3	7月9日(水)	1. 情報セキュリティインシデントの発生について 2. 大学広報資料におけるイラストレーション使用について 3. 教職員パソコンの更新について 4. 国外からの不正アクセスについて 報告： 1. 令和6年度情報セキュリティ自己点検結果通知 2. 学内ネットワークにおけるウイルス検知、 3. 学内教職員名簿等の送付の際のパスワード設定
4	9月10日(水)	1. CSIRT 報告事案について 2. 教職員ノートパソコンの更新について 3. IR データ集積方法検討に伴う GAKUEN アクセス権限付与について
5	10月8日(水)	1. 計画停電時のネットワーク障害の発生報告と対応について 2. 情報セキュリティ研修計画案について 3. GoogleWorkspace の試用（システム評価環境構築）について 4. 不正アクセスの包括的ブロックについて
6	11月12日(水)	1. 学内情報システム一覧について 2. GAKUEN システムのバックアップについて 3. 教職員意見の検討及び令和8年度当初予算要求について

7	12月10日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティ実施手順書(教職員向け)(学生向け)について 2. 年度計画の進捗状況について 3. 情報セキュリティ対策標準に係る例外運用について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティ講習会開催 2. 教職員PC入替日程 3. 研究室の電話機入替 4. GAKUENシステムのバックアップ
8	令和8年 2月4日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティ実施手順書(教職員向け)(学生向け)について 2. 新入生・在校生ガイダンス2026について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティ対策標準に係る例外運用 2. フォレンジック調査結果概要(セキュリティインシデント関連)
9	令和8年 3月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度業務実績について 2. 令和8年度事業計画について 3. 中期計画の業務実績(見込み評価)について 4. セキュリティインシデント発生後の対応について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 教務支援システム再構築の状況について 2. 教職員パソコンの入替について

(1) 情報セキュリティ講習会の開催(令和7年4月)

新学期ガイダンスにて講習を行い、本学の情報セキュリティポリシーの説明と、学生によるインシデントの事例と対策の説明を行った。

(2) 情報セキュリティ講習会の開催(令和8年1月26日)

琉球大学工学部 城間政司氏を講師に招き、教職員を対象に一般的なセキュリティ事故の事例(脅威)と基本対策について、講習会を実施した。

(3) インシデント対応

情報システムへの不正アクセス、設定ミスによる情報流出、著作物の無断使用等のインシデントについて、CSIRTによる初動対応、委員会における改善策等の審議を行った。

(4) 教職員リースパソコン更新(令和8年3月)

委員会にて、仕様や調達方針を審議し、教職員PCのリース契約を更新した。

(5) 情報セキュリティ実施手順書の改正(令和8年2月)

本学の情報セキュリティ対策標準を踏まえ、教職員向け及び学生向けの情報セキュリティ実施手順書を改正した。

4) 次年度に向けた課題

(1) 教職員・学生向け実施手順書に基づく情報セキュリティ意識の向上

(2) 近年の動向を踏まえた対策標準の改正

(3) インシデント発生時の対応及び体制の見直し

(4) 本学の情報システムの安全確保と更新計画の策定

4. 人事委員会

1) 構成員

委員：◎神里みどり、○名城政広、赤嶺伊都子、田場由紀、
事務局：総務課 比嘉公宏、赤嶺

2) 所掌事項

- (1) 職員の採用、昇任、降任、休職、解雇及び懲戒等に関する事項（ただし、降任及び休職に関しては、当事者の意に反する場合とする。）
- (2) 職員の人事評価に関する事項（人事評価の基準及び手続に関する検討）
- (3) 職員の表彰に関する事項
- (4) 不利益な決定等に対する不服申立てに関する事項
- (5) 職員の人事評価に対する不服申立てに関する事項
- (6) その他、職員の人事、服務等に関し必要な事項

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和8年 1月19日（月）	1. 令和8年度臨時職員（事務局）の設置について 2. 非常勤職員就業規則の改正について
2	令和8年 3月3日（火）	1. 令和8年度沖縄県立看護大学事務職員の採用について 2. 常勤職員就業規則の改正について 3. 非常勤職員就業規則の改正について

- (1) 令和8年度事務職員（臨時職員）の公募について審議した。
- (2) 法人職員の採用について審議を行った。
- (3) 非常勤職員の無期雇用転換制度を設け、無期雇用非常勤職員の定年年齢を65歳まで引き上げる非常勤職員就業規則の改正を審議した。
- (4) 定年年齢が60歳とされている常勤職員の定年年齢を65歳まで引き上げる常勤職員就業規則の改正を審議した。

4) 次年度に向けた課題

- (1) 引き続き規程第5条に掲げる職員の採用、人事評価、表彰などに係る審議を行う。
- (2) 個人情報を取り扱うことから、より一層の情報管理の徹底を図る必要がある。

<大学組織>

5. 教授会

1) 構成員

委員：◎赤嶺伊都子、○佐伯宣久、神里みどり、宮里智子、田場由紀、佐久川政吉、
謝花小百合、上原和代、西平朋子、瓜崎貴雄、井上松代、オブザーバー牧内忍
事務局：浅野

2) 所掌事項

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事
- (2) 学位の授与に関する事
- (3) 第7条で置く委員会の諸規程の制定及び改廃に関する事
- (4) 学生の表彰、懲戒及び除籍に関する事
- (5) 教育課程の編成に関する事

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 7月16日(水)	1. 令和6年度第16回教授会議事録要旨(案)について 2. MDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度)の認定申請について
2	令和7年 5月21日(水)	1. 令和7年度第1回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和8年度別科助産専攻入学者選抜募集要項について 3. 大学運営学生アシスタント取扱規程の制定について 4. 報酬及び謝金に関する規程の一部改正について 5. カリキュラム改訂スケジュール案について
3	令和7年 6月18日(水)	1. 令和7年度第2回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和8年度看護学部看護学科入学者選抜実施要項について 報告： 1. 大学公式ウェブサイトについて 2. 令和7年度前学期期末試験日程について 3. 令和7年度前学期成績評価スケジュールについて 4. IR定期アンケートについて 5. アセスメントポリシー(学修成果の評価方針)について 6. 合理的配慮支援申請について
4	令和7年 7月16日(水)	1. 令和7年度第3回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和8年度別科入学者選別合否判定申合せについて 報告： 1. 令和8年度看護学部看護学科別科特別選抜学生募集要項について 2. 合理的配慮支援申請について 3. 令和7年度前学期成績評価スケジュールについて 4. カリキュラム評価について 5. 授業評価アンケートについて
5	令和7年 9月9日(水)	1. 令和7年度第4回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和7年度(別科)特別選抜合否判定について 3. 令和8年度教員研究費分担計画(ドラフト案)について 4. 令和8年度入学式日程(案)について
6	令和7年 9月17日(水)	1. 令和7年度臨時教授会議事要旨(案)について 2. 令和7年度前学期卒業判定について 3. 履修規程の改正について

		<p>4. 学期末試験実施要項の改正について 報告： 1. 学生の休学・復学について 2. CSIRT 報告事案について 3. MDASH の申請結果について 4. 沖縄県看護系大学協議会開催概要について 5. 令和7年度前学期卒業式日程について 6. 学長奨励研究費の採択状況について 7. 令和9年度認証評価スケジュール及び役割分担について</p>
7	令和7年 10月15日(水)	<p>1. 令和7年度第5回教授会議事録要旨(案)について 2. 期末試験実施要項の改正について 3. 教職員意見に対する今後の審議方法について 報告： 1. 教育・研究・職場の環境に関する教員意識調査2025—結果報告と提言 2. 授業評価アンケートの回答率及び実施方法等について 3. 合理的配慮支援申請について</p>
8	令和7年 11月19日(水)	<p>1. 令和7年度第6回教授会議事録要旨(案)について 2. 学期末試験実施要項(申し合わせ)の改正について 3. 教職員意見に対する審議について 4. 教育・研究・職場の環境に関する教員意識調査2025における回答(案)について 5. 令和8年度(学部)特別選抜合否判定申し合わせについて 報告： 1. 看護学部一般選抜試験学生募集要項 2. 公文書開示請求にかかる情報共有について 3. 令和8年度シラバス作成スケジュール及び記載要領について</p>
9	令和7年 12月3日(水)	<p>1. 令和7年度第7回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和8年度学部特別選抜入学試験 合否判定について 3. 教職員意見に対する審議について</p>
10	令和7年 12月17日(水)	<p>拡大教授会 1. 令和8年度附属図書館の開館時間について 2. 履修規程の改正について 3. 教職員意見に対する対応方針(審議状況とりまとめ)について 4. 令和8年度当初予算概算要求(R7.12とりまとめ状況)について 報告： 1. 認証評価について 2. 教員公募(精神保健看護・助教)について 3. 教員調査への回答</p>
11	令和8年 1月21日(水)	<p>1. 令和7年度第2回臨時教授会議事録要旨(案)について 2. 令和7年度第8回拡大教授会議事録要旨(案)について 3. 学生表彰取扱要領および卒業生総代に関する申し合わせの改正について 4. 要配慮学生ピアサポーター設置要綱(案) 5. 令和8年度看護学部一般選抜(前期日程)合否判定申し合わせについて 報告： 1. 令和8年度学事暦について 2. 教務支援システム再構築迄の教務関係業務への影響について 3. 教員公募について(地域保健看護教授、精神保健看護特任教授、精神保健看護助教)</p>
12	令和8年 2月18日(水)	<p>1. 令和7年度第9回教授会議事録要旨(案)について 2. 令和7年度 看護学部卒業判定 3. 学生表彰取扱要領および卒業生総代に関する申し合わせの改正について 4. 令和9年度 学部入試募集人数の変更について</p>

		報告： 1. 教務支援システム (UNIPA・GAKUEN) 再構築までの教務関係業務への影響について 2. 令和7年度 学位授与方針 (D P) 到達度調査結果報告 3. アセスメントポリシーについて
13	令和8年 3月3日 (水)	1. 令和7年度第10回教授会議事録要旨 (案) について 2. 別科修了判定について 3. 看護学部卒業判定について
14	令和8年 3月4日 (水)	1. 令和7年度第3回臨時教授会議事録要旨 (案) について 2. 学部一般選抜合否判定について 3. 学生表彰の選定について
15	令和8年 3月11日 (水)	1. 令和7年度第4臨時教授会議事録要旨 (案) について 2. 学部一般選抜 (追試験) 合否判定について
16	令和8年 3月18日 (水)	1. 令和7年度5回臨時教授会議事録要旨 (案) について

6. 教務委員会

1) 構成員

委員：◎赤嶺伊都子、○佐伯宣久、宮里智子、瓜崎貴雄、井上松代、佐久川政吉、
牧内忍、山口初代、鈴木ミナ子、平良由香利

事務局：与那嶺隆、比嘉

2) 所掌事項

- (1) 教育課程及びその履修に関する事
- (2) 学生の進級判定及び卒業判定に関する事
- (3) 学生の単位取得に関する事
- (4) 教育費の執行計画に関する事
- (5) その他教務に関する事

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日(水)	<p>I 確認事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度 中期目標・中期計画(個票1、個票2)について 2. 令和6年度 第11回教務委員会議事録について <p>II 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度 教務委員会行動計画・中期目標中期計画(案) 2. 令和7年度 実習専門部会行動計画(案) 3. 令和7年度 看護統合試験・看護技術試験の日程について 4. ゲストスピーカーの申請 5. 成績不服申立(3名、3件)について 6. 合理的配慮にかかる相談窓口担当教員の指定について 7. 感染症予防に関する臨地実習開始に当たっての注意事項Ver.8の改訂について 8. アセスメントポリシー(教務委員会担当分)の担当者について <p>III 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度 第1回実習専門部会報告 2. 実習連絡調整会議について 3. 看護卒業研究/看護総合実習の学生配置方針(案)、希望調査について 4. 再受験科目の申請結果について 5. 看護支援専門員の配置 6. 5月7日の特別講義(金融リテラシー)について 7. 令和6年度 後学期授業科目における遠隔授業の実施状況に関する教員調査結果の概要について 8. 令和7年度 教養選択科目の履修登録割当の状況について
2	令和7年 5月14日(水)	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度教務委員会行動計画スケジュール 2. 学部カリキュラム改正のスケジュール案について 3. MDA SHの申請に伴う情報学の必修化の検討について 4. 令和6年度授業評価アンケート結果を踏まえた意見交換について 5. 2025 オープンキャンパス個別進学相談担当について 6. 遠隔授業実施に関する教員調査を踏まえた改善策について 7. 教育活動交流会(8月)の企画について 8. アセスメントポリシー(教務委員会担当分)について 9. 学生からの大学への要望の返答について

		<p>10. 履修規程の改正（健康診断未受診の場合の実習の履修の禁止）の検討について</p> <p>11. 看護技術試験について</p> <p>12. 看護統合試験について</p> <p>13. ゲストスピーカーの申請</p> <p>II 報告事項</p> <p>1. 令和7年度実習連絡調整会議・意見交換会の報告</p> <p>2. 令和7年度第2回実習専門部会報告</p> <p>3. 海外研修参加者にかかる追試験等の対応について</p> <p>4. 特別講義（5月7日開催）の報告について</p> <p>5. 看護卒業研究/看護統合実習の評価について</p> <p>6. 既卒者の国家資格取得支援について</p>
3	令和7年 6月11日（水）	<p>I 審議事項</p> <p>1. 令和7年度教務委員会行動計画スケジュールについて</p> <p>2. カリキュラム改正に向けた各領域での点検について</p> <p>3. 令和8年度の実習計画案について</p> <p>4. 令和7年度前学期 期末試験時間割案について</p> <p>5. 令和7年度前学期 成績評価スケジュール案について</p> <p>6. 合理的配慮教務委員会窓口担当教員の変更について</p> <p>7. 授業評価アンケートのフィードバックについて</p> <p>8. 履修規程の改正（健康診断受診の義務化と再履修登録条件の緩和）について</p> <p>9. 情報学と地理学の科目区分の変更について</p> <p>10. 環境学の出席の取り扱いについて</p> <p>11. 休学者の成績評価の取り扱いについて</p> <p>12. 教育活動交流会の企画について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1. 令和7年度第3回実習専門部会の報告について</p> <p>2. 海外研修参加者の面接試験及び県内研修等にかかる公欠の取り扱いについて</p> <p>3. 旧カリ学生の統合試験（5月22日実施）の結果報告について</p> <p>4. 特別講義（5月7日開催）の報告について</p> <p>5. 授業評価アンケートの実施にかかる協力依頼について</p> <p>6. カリキュラム改正の文科省申請時期について</p> <p>7. 認証評価に関する説明会の案内について</p>
4	令和7年 7月9日（水）	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第3回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 4年次の統合実習配置（案）について</p> <p>2. 3年次の後期実習学生配置（案）について</p> <p>3. 2年次の後期実習学生配置（案）について</p> <p>4. 実習の補習について</p> <p>5. カリキュラム評価について</p> <p>6. 履修規程の改正（健康診断義務化、履修登録要件の緩和）検討について</p> <p>7. 履修規定の改正（休学者の履修登録科目の取り扱い）検討について</p> <p>8. 環境学、哲学の出席確認方法について</p> <p>9. 授業評価アンケート内容の検討及び回答率を上げる取り組みについて</p> <p>10. 成績評価スケジュール（台湾研修参加者の追試験日程）について</p> <p>11. 期末試験実施要項（申し合わせ）の改正（期末試験外の試験時間割）について</p> <p>12. 看護教育DXに向けた取り組みと評価：前学期授業調査について</p> <p>III 報告事項</p> <p>1. 令和7年度看護技術試験について</p> <p>2. 令和7年度第4回実習専門部会報告</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 3. 教育活動交流会（8月6日）の準備状況について 4. JANPU セミナー：看護学教育モデル・コア・カリキュラムに基づくコンピテンシーの評価方法について 5. 合理的配慮の支援決定の報告について 6. 令和7年度の給排水工事について
5	令和7年 9月10日（水）	<ul style="list-style-type: none"> I 確認事項 1. 令和7年度 第4回教務委員会議事録について II 審議事項 1. 令和7年度前学期卒業判定 2. 前学期 成績評価不服申し立てについて 3. 前学期成績分布の確認と学生への公表について 4. 履修規定の改正（健康診断の義務化、休学者の履修登録科目の取扱、科目区分の変更）について 5. 令和7年度教育活動交流会報告および提案内容の対応について 6. エコー勉強会の企画について 7. 看護卒業研究学習成果発表会の準備にあたっての確認事項について 8. 生物学教材を担当教員から購入する件にかかる利益相反の確認について 9. 認証評価について 10. 非常勤講師B（英語Ⅱ）の採用について III 報告事項 1. 令和7年度第5回実習専門部会報告 2. 4年次看護技術試験の結果報告について 3. 第2回看護統合試験について 4. 令和7年度前学期授業科目における看護教育DX取組調査の報告について 5. 島嶼に特化した学習到達度評価を用いた評価と課題の抽出アンケート結果について 6. カリキュラム評価実施要領及び進捗状況について 7. 後学期授業評価アンケートにかかる学生からの意見について 8. 八重山・宮古地区保健看護人材育成推進協議会の報告について 9. MDASHの申請結果について 10. CSIRT案件について 11. 消防訓練の実施について
6	令和7年 10月8日（水）	<ul style="list-style-type: none"> I 確認事項 1. 令和7年度 第5回教務委員会議事録について II 審議事項 1. 看護卒業論文／看護総合演習の学習成果発表会関連日程について 2. ディプロマポリシー（DP）学生調査の調査項目の検討について 3. 新カリキュラム・新設科目（在宅保健看護演習・実習等）の評価について 4. 授業評価アンケートの回答率及び実施方法等について 5. 1年次の後学期実習学生配置（案）について 6. 印刷室のベッドの処理方針について 7. 期末試験実施要項の改正について 8. 教育活動交流会における教務委員会関連の提案事項の検討について 9. 補修実習計画について III 報告事項 1. 第6回実習専門部会報告 2. 第2回看護統合試験の結果に関する報告 3. カリキュラム評価に関する教員会議の報告について 4. 合理的配慮学生の支援決定について 5. SDGs 共同科目の新聞記事掲載について 6. エコー勉強会開催報告について

7	令和7年 11月12日(水)	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第6回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 令和8年度 学生便覧及びシラバスの作成スケジュールと記載要領について</p> <p>2. 前学期GPAの分布の確認(成績評価の適正化)について</p> <p>3. 沖縄学(単位互換科目)の検討について</p> <p>4. 期末試験実施要領の改正について</p> <p>5. 看護専門職論Ⅱの開講にむけた実習記録の返却について</p> <p>6. 令和8年度の看護専門職論Ⅱの開講時期について</p> <p>7. 教職員意見に対する審議について</p> <p>8. 令和8年度当初予算の新規要求等について</p> <p>III 報告事項</p> <p>1. 令和7年度第7回実習専門部会報告</p> <p>2. 統合試験について</p> <p>3. 早期体験実習での体調不良者発生の検証結果について</p> <p>4. 令和7年度実習連絡調整会議報告書案について</p> <p>5. 県内公立大学の授業評価アンケートの取り組み状況について</p> <p>6. 公文書開示請求にかかる情報共有について</p> <p>7. 2025年度教育活動交流会での提案内容に対する今後の対応について</p>
8	令和7年 12月10日(水)	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第7回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 令和8年度 学事暦(案)について</p> <p>2. 令和8年度 時間割(案)について</p> <p>3. 令和7年度後学期 成績評価スケジュール(案)について</p> <p>4. 令和8年度 新学期ガイダンスについて</p> <p>5. 令和7年度 年度計画の進捗状況について</p> <p>6. 島嶼・国際保健看護実習の状況と課題、新年度に向けて</p> <p>7. 履修規定の改正について</p> <p>8. 大学認証評価の基準2および基準3の取組みについて</p> <p>9. 避難訓練の日程の要望について</p> <p>10. UNI PAでの出欠登録について</p> <p>11. 実習の補習について</p> <p>12. ゲストスピーカーの申請について</p> <p>III 報告事項</p> <p>1. 令和7年度第8回実習専門部会報告について</p> <p>2. 4年次学習成果発表会 進捗状況報告について</p> <p>3. 令和8年度 実習施設の報告について</p> <p>4. カリキュラム評価の教員会議報告について</p> <p>5. 4年次のPROGテストについて</p> <p>6. シラバスにおける科目とDPとの関連について</p> <p>7. 統合試験結果について</p>
9	令和8年 1月14日(水)	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第8回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 令和8年度 学事暦(案)について</p> <p>2. 令和8年度の特別講義について</p> <p>3. 令和8年度 時間割案について</p> <p>4. 令和8年度 学生便覧の教務委員会所管頁の改正について</p> <p>5. 令和8年度 実習連絡調整会議および意見交換会について</p> <p>6. 令和7年度後学期 成績評価スケジュール(案)について</p> <p>7. 令和7年度後学期 期末試験時間割案について</p> <p>8. トビタテ参加学生の期末試験時間割及び補講について</p> <p>9. 教務委員会年度計画の今年度実績・評価と次年度計画について</p>

		<p>10. ゲストスピーカーの申請</p> <p>11. 実習の補習について</p> <p>Ⅲ 報告事項</p> <p>1. 令和7年度第9回実習専門部会報告</p> <p>2. 学習成果発表会（12月22日開催）開催結果報告</p> <p>3. 教務支援システム再構築までの教務関係業務への影響について</p>
10	令和8年 2月10日（火）	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第9回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 令和7年度 卒業判定</p> <p>2. 令和7年度 年度計画の業績評価及び令和8年度 年度計画</p> <p>3. 令和8年度 後学期時間割について</p> <p>4. 令和8年度 実習連絡調整会議および意見交換会について</p> <p>5. 令和8年度 2年次前期実習配置および4年次前期実習配置について</p> <p>6. 令和8年度 学生便覧の修正事項について</p> <p>7. カリキュラムの評価について</p> <p>8. 令和8年度 教養科目の登録可能人数について</p> <p>9. 教職員意見の継続審議（離島実習、学生用PC）について</p> <p>10. 実習の補習について</p> <p>11. 認証評価 教務委員会担当について</p> <p>12. 令和8年度 ゲストスピーカーの申請</p> <p>Ⅲ 報告事項</p> <p>1. 令和7年度第10回実習専門部会報告</p> <p>2. 令和7年度 学位授与方針（DP）到達度調査結果報告</p> <p>3. 履修規程の改正案の一部修正について</p> <p>4. 教務支援システムの再構築状況について</p> <p>5. 令和8年度 シラバス及び学生便覧の進捗状況</p> <p>6. 令和7年度後期成績スケジュールの変更について</p> <p>Ⅲ その他</p> <p>1. 旧カリ学生の履修計画の提出依頼について</p>
11	令和8年 3月2日（月）	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第10回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 台湾研修参加者への単位認定（島嶼・国際保健看護、英語Ⅲ）について</p> <p>2. 令和7年度 卒業判定（判定保留中の学生分）</p>
12	令和8年 3月11日（水）	<p>I 確認事項</p> <p>1. 令和7年度 第11回教務委員会議事録について</p> <p>II 審議事項</p> <p>1. 台湾研修の単位認定（島嶼・国際保健看護）について</p> <p>2. 令和7年度 進級判定</p> <p>3. 令和7年度 原級据置</p> <p>4. 令和7年度・8年度 年度計画（個票1、個票2）について</p> <p>5. カリキュラム評価報告について</p> <p>6. 学修における生成AI利用指針（案）について</p> <p>7. 教職員意見の継続審議（離島実習）について</p> <p>8. 新旧カリキュラムにまたがる学生の履修計画について</p> <p>9. 令和8年度特別講義について</p> <p>10. 令和7年度学位授与方針に関する学生調査結果の学生意見への回答について</p> <p>11. 実習着用のカーディガンの指定について</p> <p>12. 令和8年度 非常勤講師B</p> <p>Ⅲ 報告事項</p> <p>1. 実習専門部会関連</p>

		(1) 実習専門部会報告 (2) 令和7年度 実習専門部会年度計画評価 (3) 令和7年度 インシデント・アクシデントレポート報告（個票） 2. 看護教育DXを見据えた教育活動に関する調査報告書（後期）と研修案 3. 令和8年度 新学期ガイダンスの準備進捗状況 4. 在学生ガイダンスの全体説明について 5. 教務支援システム再構築までの教務関係業務への影響について 6. 令和8年度 旧カリキュラム統合科目4科目について 7. 4年次PROGテスト結果について
--	--	---

- (1) 新カリキュラム（3年目）への円滑な移行と現行（旧）カリキュラムの適切な運営
- ・新カリキュラムの新設科目の継続開講及び4年次前期から3年次後期に変更した実習科目を適切に開講した。
 - ・「令和3年度以前の入学生（旧カリ学生）の履修方針」に基づいて旧カリキュラム学生の履修計画を検討した。
- (2) 島嶼環境を活かした教育活動の推進（島嶼モデル型実習の充実）
- (3) 成績評価システムの充実
- ・4年次学生へ学位授与方針（DP）の自己評価と学習環境への満足度調査を実施した。教務関連事項は対応を検討し、今後の改善に活かせるよう学生及び教員に文書で周知した。
 - ・授業方法について科目責任者へ調査し、多様な授業方法の実施状況を確認した。
 - ・学期末に各科目のGPA分布を作成し、成績評価の適正化のために委員会で確認を行った。S及びC評価が50%以上となっている科目については、科目責任者からその理由を確認し、評価が適切に行われていることを確認した。
- (4) 学位授与方針に沿った卒業判定と専門職資格の取得支援
- ・履修規程に基づいて卒業判定を行った。
 - ・特別講義についてニーズ調査を学生に実施し、希望の多い内容をテーマに実施したが、開催時期が12月で学生の参加者が少なかったため次年度は前期に開催することを決定した。
 - ・合理的配慮部会の決定にしたがって協力した。
- (5) 教育情報の適切な公表
- ・大学の目的、理念、新しい3つのポリシーについて新年度ガイダンス、教職員連絡会議、新入職員オリエンテーションの機会に学生・教職員へ周知した。
 - ・教育情報（授業科目、授業方法、内容、年間授業計画、学習の成果に係る評価基準）について、学生便覧、UNIVERSAL PASSPORT（UNIPA）（Web シラバス）、ホームページで公表した。
 - ・個々の学生が各学期の成績が確認できるよう UNIPA で公表し、成績不服申し立ての受付案内や結果の通知を、UNIPA を通して学生に周知した。UNIPA が利用できなかった期間については、紙での成績表の配布やメールでの案内等を実施した。

(6) カリキュラムの適切な運営

- ・授業評価アンケートの実施要項を周知し各科目の授業評価アンケートを実施した。
- ・非常勤講師の授業の出欠確認のサポート、非常勤講師（教養・専門教養科目）のサポートと対応を適時実施した。
- ・教養科目の履修理解に向け、新入生ガイダンス及び新学期ガイダンスで教養科目の意義を説明した。
- ・新年度ガイダンスは在学生には資料を事前配信し、学生委員会が示したスケジュールに則り、対面で実施した。

(7) 単位の実質化

- ・全学年において新カリキュラムによる令和 7 年度時間割に則り授業展開した。一部の旧カリキュラムの学生へは、科目の読み替えにより必要な授業を展開した。

(8) 臨地実習指導体制の整備→「実習専門部会」活動報告書参照

- ・実習専門部会と協働連携し、実習指導体制の整備に必要な①実習施設との連携、②学生の準備性支援、③実習の継続と安定性の確保について遂行した。

(9) 統合科目を効果的に実施する

- ・「看護卒業研究」の学習成果発表会を学生は対面参加で、実習施設はハイブリッドで開催した。

(10) 海外留学生の受け入れ

- ・令和 8 年度入試において志願者がいなかったことから、対象となる学生の特性が定まらなかったため、具体的な体制構築は見送ることとした。しかしながら、ピアサポーター制度が整備されたことから、これを活用して支援していくことが可能となった。

(11) 教育施設・設備を効率的に活用する

- ・UNIPA の履修登録エラー集を作成し、新学期ガイダンス資料で学生に周知した。
- ・演習室 6 室を活用し、4 年次の国試対策グループ学修用に提供した。土日における学修スペースとして教育管理棟 2 階の講義室 3 室を提供した。

(12) 教員・教育補助者・教育嘱託員の教育力を高めるための教育指導体制の整備

- ・看護教育支援専門員は定数を配置できていなかったが、勤務日数や期間を柔軟にして実習指導教員が不足する科目に対応できた。
- ・前年度の教育活動&交流会での意見をもとに 1 つのテーマ「メンタルの不調が疑われるまたは明らかな学生への対応」で教員間の意見交換会を開催した。49 名中 40 名が参加し、参加率は 81.6%であった。

(13) 授業評価アンケートの回答率向上のため質問数や質問内容を精査し改変した。またアンケート結果の活用利便性を高めるために、アンケート実施方法を UNIPA から Microsoft Forms へ切り替えた。

4) 次年度に向けた課題

- (1) カリキュラム評価結果を踏まえ、看護学教育モデル・コア・カリキュラムが JANPU より公表されたことより、モデル・コア・カリキュラムを反映したカリキュラム改訂を検討する必要がある。
- (2) 認証評価受審にむけてワーキンググループでスケジュールに沿って項目の点検と根拠資料の作成、ポートフォリオを作成し、受審に向けて取り組む必要がある。
- (3) 旧カリキュラムの学生が在学していることから、令和8年度も継続して運営上の課題を把握し、円滑な旧カリキュラムと現行カリキュラムの運営を図り、旧カリ学生等の履修計画を適切に実施する必要がある。
- (4) 授業評価アンケートの回収率の向上をはかり、授業改善に活かす。

7. 実習専門部会

1) 構成員

委員：◎鈴木ミナ子、○永野佳世、山川和歌子、伊波良剛、池本温美、佐次田早苗、
源河朝治、兼島利奈、屋宜佳成

事務局：城間

2) 所掌事項

- (1) 実習計画及びその履修に関すること
- (2) 「実習の手引き」の作成に関すること
- (3) 学生の実習施設への配置、実習の安全に関すること
- (4) 実習指導教員の運営に関し必要な事項
- (5) その他実習の運営に関し必要な事項

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月2日(水)	I. 審議事項 1. 令和7年度実習連絡調整会議について 2. 令和7年度2年次前期実習オリエンテーションについて 3. 令和7年度実習専門部会目標・行動計画, 役割分担案 4. 感染症予防に関する臨地実習開始にあたっての注意事項 Ver.9 について II. 報告事項 1. 令和7年度実習専門部会マニュアルについて 2. 前期実習の進捗状況について
2	5月7日(水)	I. 審議事項 1. 行動計画の進捗について <実習施設との連携に関すること> 計画1) 令和7年度実習連絡調整会議開催報告 計画2) 複数科目受け入れ施設の窓口調整状況の報告 計画4) 教員の実習前研修計画の作成について <学生の準備制支援に関すること> 計画7) 実習の手引き進捗報告 計画8) 実習オリエンテーションの運営 <継続と安定性の確保に関すること> 計画10) 令和8年度大学内実習計画表案の作成について II. その他 1. 実習報告 2. 看護教育支援専門員の配置報告
3	6月4日(水)	I. 審議事項 1. 行動計画の進捗について <実習施設との連携に関すること> 計画1) 令和7年度実習連絡調整会議後半企画 報告書案 計画5) インシデント・アクシデントの報告 <学生の準備性支援に関すること> 計画7) 実習の手引き進捗について 計画8) 実習オリエンテーションの運営 計画10) 予防接種マニュアルの運用について <継続と安定性の確保に関すること> 計画11) 令和8年度実習計画の立案

		<p><その他></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設調整について追加事項報告 2. 実習報告 3. 『実習のあしあと』の有効活用にむけて
4	7月3日(水)	<p>I. 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動計画の進捗について <ul style="list-style-type: none"> <学生の準備性支援に関すること> 計画5) 実習におけるインシデント情報の共有 計画7) 実習の手引き進捗について 計画8) 実習オリエンテーションの運営 <継続と安定性の確保に関すること> 計画11) 令和8年度実習計画の立案 <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習報告
5	9月3日(水)	<p>I. 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動計画の進捗について <ul style="list-style-type: none"> <学生の準備性支援に関すること> 計画7) 実習の手引き進捗について 計画8) 実習オリエンテーションの運営 2. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生材料費の予算要求について ・実習の手引きの予算要求について ・追加ワクチン接種補助の必要性について(鈴木) <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習報告 2. インシデント報告 3. 令和7年度 実習連絡調整会議及び意見交換会報告書について
6	10月1日(水)	<p>I. 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動計画の進捗について <ul style="list-style-type: none"> <実習施設との連携に関すること> 計画5) インシデント・アクシデントの報告 計画2) 複数科目受け入れ施設の窓口調整状況 <学生の準備性支援に関すること> 計画7) 実習の手引き進捗について 計画8) 実習オリエンテーションの運営 <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度実習連絡調整会議および意見交換会の開催について ・教育活動交流会での意見に対する本委員会の返答について <p>II. その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習報告 2. 実習専門部会で購入する衛生材料について 3. 2026(令和8)年度 臨地実習計画の進捗状況について 4. 次年度 在宅実習調整会議について 5. 次年度 精神領域実習調整会議について
7	11月5日(水)	<p>I. 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動計画の進捗について <ul style="list-style-type: none"> <実習施設との連携に関すること> 計画5) インシデント・アクシデントの報告 計画2) 複数科目受け入れ施設の窓口調整状況 計画6) 予防接種状況の確認 <学生の準備性支援に関すること> 計画8) 実習オリエンテーションの運営 <p>2. 次年度予算編成に向けた意見・アイデアに関する教職員意見について</p> <p>3. 実習オリエンテーションにおける倫理ワークについて</p> <p>II. 報告事項</p>

		<p>1. 実習報告</p> <p>2. その他</p> <p>①R8 年度 臨地実習計画書の配布状況と確認事項について</p> <p>②令和7年度実習連絡調整会議意見交換会報告書の作成と配布について</p>
8	12月3日(水)	<p>I. 審議事項</p> <p>1. 行動計画の進捗について</p> <p><実習施設との連携に関する事></p> <p>計画5) インシデント・アクシデントの報告</p> <p><継続と安定性の確保に関する事></p> <p>計画11) -3 令和8年度 施設毎実習計画の作成について</p> <p>計画12) 令和8年度 実習要項の作成について</p> <p>計画14) 令和8年度実習連絡調整会議企画立案</p> <p>II. その他</p> <p>1. 実習報告</p> <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期申請が必要な施設への実習時期・学生人数の報告について ・ハラスメント事案発生時の学生のレポート提出について
9	令和8年 1月7日(水)	<p>I. 審議事項</p> <p>1. 行動計画の進捗について</p> <p><実習施設との連携に関する事></p> <p>計画5) インシデント・アクシデントの報告</p> <p><継続と安定性の確保に関する事></p> <p>計画11-3) 令和8年度 施設毎実習計画の作成について</p> <p>計画12) 令和8年度 実習要項の作成について</p> <p>計画14) 令和8年度 実習連絡調整会議企画立案について</p> <p>II. その他</p> <p>1. 実習報告</p> <p>2. その他：教職員意見に対する審議について</p>
10	2月3日(水)	<p>I. 審議事項</p> <p>1. 行動計画の進捗について</p> <p><実習施設との連携に関する事></p> <p>計画5) インシデント・アクシデントの報告</p> <p><継続と安定性の確保に関する事></p> <p>計画11) -3 令和8年度 施設毎実習計画の作成について</p> <p>計画11) -4 令和7年度計画実習専門部会個票②実績報告書について</p> <p>計画11) -5 令和8年度計画について</p> <p>計画12) 令和8年度 実習要項の作成について</p> <p>計画13) -3 令和8年度保健看護包括実習のてびき作成・学生配置</p> <p>計画13) -4 令和8年度 4年次前期実習学生配置について</p> <p>計画13) -5 令和8年度 2年次前期実習オリエンテーションについて</p> <p>計画14) 令和8年度 実習連絡調整会議企画立案</p> <p>II. その他</p> <p>1. 実習報告</p> <p>2. その他：「令和8年度 施設毎実習計画」の書式について</p>
11	3月3日(火)	<p>I. 審議事項</p> <p>1. 行動計画の進捗について</p> <p><実習施設との連携に関する事></p> <p>計画5) 令和7年度インシデント・アクシデント報告のまとめ</p> <p><継続と安定性の確保に関する事></p> <p>計画11) 令和8年度 施設毎実習計画書の作成について</p> <p>計画12) 令和8年度 実習要項の作成について</p> <p>計画13) -1 令和8年度 早期体験実習のてびきについて</p> <p>計画13) -2 令和8年度 2年次前期実習のてびきについて</p> <p>計画13) -3 令和8年度 4年次前期実習のてびきについて</p> <p>計画13) -4 令和8年度 2年次前期実習オリエンテーションについて</p>

		計画 14) 令和 8 年度 実習連絡調整会議企画立案 計画 15) 令和 8 年度 実習専門部会業務マニュアルの更新について II. その他 1. 実習報告
--	--	--

(1) 令和 7 年度実習連絡調整会議の運営

令和 7 年 4 月 23 日、実習連絡調整会議をオンライン形式にて開催した。参加者は第一部 50 名 (38 施設)、第二部 33 名 (27 施設) であった。全員オンライン参加としたことにより、会議運営は円滑に実施された。また、第二部の意見交換会の成果をパンフレット形式に取りまとめ、次年度会議の案内と併せて郵送し、情報共有を図った。

(2) 実習受け入れ施設との連携調整

窓口教員を中心に、実習施設からの要望に適宜対応しつつ臨地実習を推進した。窓口教員が調整した事項は、各領域の実習専門部会会員および科目責任者へ随時共有され、大きな支障なく実習を実施することができた。

(3) 教員の実習前研修計画一覧表の作成

教員の実習前研修計画一覧表を作成し、年度当初に研修依頼文書を一括して該当施設へ発送した。計画に基づき、教員の事前研修を実施した。

(4) 実習におけるインシデント・アクシデント情報の把握と関係者との共有

実習に関連するインシデント・アクシデントについて、報告および情報共有を円滑に行い、再発防止策の検討および実施につなげた。

(5) 学生の実習進捗状況の把握と教員、実習施設間の情報共有

毎月の会議において、各実習における学生の進捗状況を共有した。合理的配慮を要する学生については、身体面・学習面・精神面の状況を踏まえ、実習中の経過および対応内容を情報共有した。また、各領域で工夫された指導内容についても情報交換を行った。

今年度は、患者から学生へのセクシャルハラスメントが 4 件報告された。各件に対し、領域ごとに検討された再発防止策について情報共有を行った。また、学生による教員への不適切な態度が報告され、その予防策として実習誓約書への注意喚起文言追加案を検討した。しかし、まずは実習オリエンテーションにおいて学習態度や倫理的姿勢について十分に説明し、領域別オリエンテーションでも重ねて周知する方針とした。

(6) 実習の手引きの作成

経費削減の観点から、3 年次後期実習を除く実習オリエンテーション資料は学内印刷機で作成した。ページ番号や内容の誤りを防ぐため、全ページを連結した PDF データを作成し、学務課担当者と完成イメージを確認するなど、実習専門部会および学務課が連携して作成した。

3 年次後期実習については、今年度より外部業者への製本委託が可能となり、教員および学務課職員の負担軽減につながった。担当者と学務課担当職員の連携により、実習オリエンテーションの 1 か月前までに納品を完了した。

(7) 予防接種マニュアルの運用と教務委員会、学生委員会との連携

実習に必要な予防接種状況等の情報把握について、役割分担に基づき適切に対応した。本学とは異なる予防接種基準を設ける実習施設が存在したため、今後も実習先と情報交換を行いながら適宜対応していく必要がある。

(8) 令和8年度実習計画の作成

実習受け入れ人数に制限を設ける施設について、学校間での調整を2月初旬まで実施した。担当校が中心となり調整を進めた結果、各実習科目の展開に必要な実習施設を確保することができた。

(9) 令和8年度実習連絡調整会議の企画提案

実習施設の参加しやすさを考慮し、令和8年度もZoomによる遠隔開催とした。後半企画の目的を、「実習指導において学生および施設スタッフの成長を感じた場面を振り返り、指導内容・方法に関する情報を共有することで、今年度の実習指導の充実を図ること」とし、討議テーマを1つに絞った。グループディスカッションおよび全体共有を行い、議論を整理する構成とした。

(10) 令和8年度実習専門部会業務マニュアルの更新

感染症の状況を踏まえ、「感染症予防に関する臨地実習開始にあたっての注意事項 Ver.9」を現状に合わせて更新した。また、令和8年度の実習の手引きが業者委託となることを受け、関連文言の修正を行った。

4) 次年度に向けた課題

次年度の課題としては、まず、各実習施設との連携を一層強化し、実習受け入れ人数の調整や予防接種基準を含む前提条件に適切に対応するため、情報収集および調整の効率化を図る必要がある。また、学生の実習態度や倫理的姿勢に関する指導については、今年度複数の事例が報告されたことを踏まえ、オリエンテーション内容の充実や周知方法の見直しを行い、体系的な教育体制の整備を進めることが求められる。さらに、インシデント・アクシデントに関する共有体制は概ね機能しているものの、報告書の取りまとめ、内容の検討・分析手順、改善策のフィードバック方法について標準化を図る必要がある。

実習のてびきの作成に関しては、3年次後期実習における業者委託により一定の効率化が認められた。次年度からはすべての実習において印刷業者への委託が可能となるため、教員および学務課職員の業務負担軽減が期待されるが、併せて業務プロセスの見直しや納品までのチェック体制の合理化が今後の課題となる。

今年度の実習計画における学校間調整は年度末まで継続したことから、次年度は担当校が主催する学校間調整会議において、施設との調整が生じた際の連絡方法を見直し、より効率的で円滑な調整体制を構築する必要がある。

最後に、教員の実習前研修については計画どおり実施されたものの、研修内容に関する情報共有の在り方やフィードバック体制について検討を進める必要がある。以上の課題に計画的に取り組むことで、次年度の実習教育の一層の充実が期待される。

8. 入学試験委員会

1) 構成員

非公表

2) 所掌事項

- (1) 入学試験の企画
- (2) 入学者選抜方法
- (3) 学生募集
- (4) 入学試験に関わる広報
- (5) 入学試験の実施
- (6) 試験結果の集計

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月23日(水)	1. 令和7年度入学試験委員会年間スケジュール 2. 令和7年度入試問題の公表 3. 令和8年度(別科)特別・一般選抜学生募集要項
2	令和7年 5月28日(水)	1. 令和8年度看護学部看護学科入学者選抜実施要項 報告: 入学者選抜試験の作問体制
3	令和7年 6月26日(水)	1. 令和別科入学者選抜合否判定方法の手順(案) 2. 令和8年度学部(特別選抜)の募集要項 3. 令和8年度学部特別・一般選抜の実績報告書書式 報告: R7 入学者 AP 適合度分析の結果
4	令和7年 7月23日(水)	1. 令和8年度(別科)入学者選抜入試の実施要領 2. 外国人特別学生選抜の評価方法 報告: 外国人特別学生選抜募集リーフレット
5	令和7年 9月8日(水)	1. 令和8年度(別科)入学者選抜合否判定資料について
6	令和7年 10月22日(水)	1. 令和8年度(学部)特別選抜に係る合否判定申し合わせ(案) 2. 令和8年度(学部)面接試験の評価基準 3. 令和8年度(学部)特別選抜入試の実施要領 報告: 2025年度前学期成績に基づく入試枠別 GPA 分析
7	令和7年 11月26日(水)	1. 令和9年度学部入試募集人数の変更 2. 令和8年度特別選抜志願者の評定の考え方 3. 令和8年度(学部)一般選抜の合否判定方法の手順(案) 報告: 大学運営事務研究で紹介された出願時アンケート
8	令和7年 12月24日(水)	1. 令和8年度 大学入試共通テスト実施要領
9	令和8年 1月28日(水)	1. 令和8年度(学部)一般選抜入試の実施要領 2. 令和8年度(学部)一般選抜入試面接票

(1) 令和8年度看護学部入学試験の実施

・特別選抜入試(学士選抜枠:募集2人・出願者0人、離島過疎地域推薦枠:募集8人・出願

者 9 人、高校推薦枠：募集 15 人・出願者 45 人）を実施し、25 人（離島過疎地域推薦枠 8 人、高校推薦枠 17 人）の入学者を確保した。

・一般入試前期日程入試（募集人数：外国人特別選抜枠 2 人の出願がなかったため、これを加えた 52 人、出願者：86 人、出願倍率：1.6）を実施し、52 人の入学者を確保した。

(2) 令和 8 年度別科助産専攻入学試験の実施

今年度より新しい制度での選抜入試を実施し（募集人数：20 人、出願者：60 人、出願倍率：3.0）、入学者 20 人を確保した（うち学士は 15 人）。これまで行われてきた特別選抜と一般選抜を統合し、実施時期を 8 月下旬とした。また、令和 5 年度入試から導入した小論文試験の配点を全体の 20%から 30%へ引き上げた。

(3) 外国人特別学生選抜の募集

外国人特別学生（外国籍を持つ学生）について選抜方法を検討し準備した。今年度は大学ウェブサイトでの公表に加えてパンフレットを日本語学校など外国人が関わる関係団体に配布した。しかしながら、受験に関する相談・問い合わせは 2 件あったものの、志願者がいなかったため選抜入試の実施にはいたらなかった。

(4) 入試広報の実施

中高生に本学に関心を持ってもらうことも狙って、中高生を対象に公開講座「看護師の仕事を知ろう」を実施した。また、沖縄県看護協会や大学受験関連業者が主催する複数の合同説明会にも参加した。

(5) 大学入学共通テストの実施

試験監督員の配置を策案し、実施本部を運営した。

4) 次年度に向けた課題

1) 学部一般選抜入試志願倍率の低下

令和 8 年度の志願倍率が 1.6 であったことから、受験者を増やすための何らかの方策が必要である。まず、受験者減少の原因を分析する必要があるが、本学を受験したくなる大学の魅力づくりや大学広報活動の強化、受験生をひきつける入試制度の検討が必要になるものと考えられる。

9. 学生委員会

1) 構成員

委員：◎佐伯宣久、○山口賢一、西平朋子、山城綾子、栗島一博、砂川ゆかり、中村優花
事務局：与那嶺隆、山城

2) 所掌事項

- (1) 学生の生活指導
- (2) 学生の福利厚生
- (3) 学生の学習支援
- (4) 障がい学生支援
- (5) 学生の課外活動
- (6) 学生に進路と就職

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月5日(水)	1. 「学生生活サポートサイト」の開設 2. 「学生声かけショートメッセージ(声かけTeams)」の発信 3. 委員会年間行動計画 報告： 沖縄赤十字病院への就職希望者推薦枠について
2	令和7年 5月7日(水)	1. 「学務アシスタント(仮称)取扱規程」 2. 後援会に対する令和7年度予算編成に関する提案 3. IR学生実態・意識調査での大学への要望への回答 報告： 学生会活動支援状況
3	令和7年 6月4日(水)	1. 大学運営業務アシスタント(図書館業務)の採用について 2. 学生のための休日の学習スペースの確保について 報告： 合理的配慮内容の決定について
4	令和7年 7月2日(水)	1. 学生会およびサークルに対する助成金に関する申し合わせ 2. サークルからの助成金要求及び要望事項への対応について 3. 学生の物品販売の許可 報告： 国試対策のための4年次の演習室使用について
5	令和7年 9月3日(水)	1. 予防接種マニュアルの更新 2. 夏季休業中の2Fの講義室の学習スペース提供について 3. 後援会助成事業について 報告： 子どもの居場所学生ボランティアセンター連絡フロー
6	令和7年 10月1日(水)	1. 学生・教員のメンタルヘルスに関する教務委員会からの照会事項に対する回答について 2. 新入生オリエンテーション宿泊研修再開の是非について 3. 「進路決定の手引き」の改訂について 報告： 合理的配慮(R7-01)内容の報告

7	令和7年 11月5日(水)	1. 学生食堂の運営について 2. 学生用駐車スペースの確保について 3. 教育管理棟3階ラウンジの整備 報告：合理的配慮 (RA_R7-3) 内容の報告
8	令和7年 12月3日(水)	1. 学生食堂の公募 2. 新入生在学生ガイダンス2026日程 3. 「学生担当教員の手引き2026」 報告： 国家試験対策委員活動
9	令和8年 1月7日(水)	1. 学生表彰取扱要領および卒業生総代に関する申し合わせの改正 2. 要配慮学生ピアサポーター制度 3. 別科助産専攻入学者の後援会会員加入(復活)について 報告： 合理的配慮決定の報告(R7-4)
10	令和8年 2月4日(水)	1. 勤務時間外の学生への適切な対応体制 2. 学生表彰の候補者選考(課外活動)について 3. 「学生生活の心得」アップデート 報告： ガイダンス準備の進捗状況

(1) 各年次部会による主な活動

○1年次部会

- ・新入生オリエンテーションと新入生ウェルカムランチの実施
- ・予防接種指導
- ・「予防接種マニュアル」の更新

○2年次部会

- ・「進路決定への手引き」の更新

○3年次部会

- ・「学生担当教員の手引き」の更新
- ・看大祭支援
- ・3・4年生交流会の支援実施
- ・進学・就職活動支援(小論文講座・就職セミナー)

○4年次部会

- ・国試対策支援：業者による国家試験対策講座を複数回実施した。
勉強に向かわせる声かけなどをおこなった。
- ・ハローワークによる就活個別相談の開催

○別科助産専攻

- ・新入生オリエンテーションならびに新入生ガイダンスの実施

(2) 「学生生活サポートサイト」の開設 <佐伯 / 資料1>

Microsoft365のFormsを利用して、学生生活での困りごとを入力するサイトを開設した。心身の不調や教員の指導などについて9件の相談が寄せられた。

(3) 「学生声かけショートメッセージ(声かけTeams)」の発信

Microsoft365のTeamsを利用して学部学生に対して声かけのショートメッセージを随時発信

した。国家試験受験者への励ましやインフルエンザ流行時の注意喚起などのメッセージを発信した。

(4) 学生の課外活動に対する支援

- ・現状と合わなくなっていた学生会規程を修正できるよう、学生会執行部に助言をおこなった。
- ・収支管理スケジュールと帳簿(出納帳)マニュアルの作成の助言を学生会執行部におこなった。
- ・課外活動に対する大学からの助成金について、学生会が自律的に運用できるよう制度を再構築した。

(5) 「大学運営学生アシスタント」制度の制定

図書館などでの大学運営の業務補助に有給で学生に従事させる制度を制定した。

(6) 合理的配慮部会による活動

合理的配慮の申請があった4人の学生について、配慮内容を検討し支援をおこなった。

4) 次年度に向けた課題

(1) 学生用駐車スペースの検討

IR・データサイエンス教育推進委員会のアンケート調査により、コインパーキングを利用する学生が29人(回答者の27%)いることがわかった。その中には、月極駐車場を確保できなかった者が20人おり、コインパーキングが満車だったため遅刻や欠席したことがあるものが20人いたことから、学修への影響がうかがわれた。学生用駐車スペースについて今後検討していく必要がある。

(2) 時間外の学生への対応のあり方の検討

教員に対する意見照会調査のなかで、個人の携帯電話番号を学生に教えることや勤務時間外の労働について、問題が提起されたことから、学生への対応のあり方について大学組織として検討していく必要がある。

10. 別科助産専攻運営委員会

1) 構成員

委員：◎西平朋子、○赤嶺伊都子、大城早苗、嘉陽田友香、當間紀子、井上松代、与那嶺隆
事務局：学務課 山城

2) 所掌事項

- (1) 教育課程及びその履修に関すること
- (2) 学生の単位取得に関すること
- (3) 学生の修了判定に関すること
- (4) 教育費の執行計画に関すること
- (5) その他別科助産専攻の教育研究に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月23日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非常勤講師Bの選考について 2. 令和7年度計画について(個票1、個票2) 3. 合理的配慮に関する相談教員について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度入学生の状況 2. 令和7年度実習計画 3. 学内演習(基礎助産学演習、地域母子保健演習)について
2	令和7年 5月28日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非常勤講師Bの選考について 2. 入学時の誓約書の内容の検討 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育支援専門員について 2. 第1回実習連絡会議について 3. 修了生が参加する演習について 4. 在校生と本学を卒業した別科在校生との交流会開催について 5. 助産実習学生配置について
3	令和7年 8月7日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末試験結果、助産実習前の単位取得状況の確認 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産実習(地域実習学生配置、予防接種状況、個別面談日程)について 2. 第1回実習連絡会議について 3. オープンキャンパスについて 4. 看護教育支援専門員(着任予定者)について
4	令和7年 10月22日(水)	報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産実習の進捗状況について 2. 令和8年度実習計画について 3. 令和8年度入学試験について
5	令和7年 10月22日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 別科助産専攻3つのポリシーについて 2. 予算請求について 3. 後援会の加入について 4. 授業評価アンケート結果について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産実習進捗状況について 2. 離島実習について 3. ウィメンズ・ヘルス実習について

6	令和8年 1月27日(水)	1. 助産研究を除いた単位取得状況について 2. 別科助産専攻3つのポリシーについて 報告： 1. 令和7年度実習実績報告 2. 第2回実習連絡会議について 3. 令和7年度別科助産専攻修了記念講演会について
7	令和8年 2月27日(金)	1. 令和7年度別科助産専攻修了判定 2. R7年度実績報告(個票①②)、R8年度活動計画(個票①②)の確認 3. 別科助産専攻3つのポリシーについて

(1) 学生の修了判定に関すること

20人の学生に対して、別科助産専攻を修了するにあたり必要な単位数の確認を行い修了判定を行う。

(2) 実習配置に関すること

助産実習や離島実習、ウィメンズ・ヘルス実習において、実習施設・学生配置数等を検討した。

(3) 別科助産専攻における3ポリシーの検討

別科助産専攻における3つのポリシー案を作成し、検討した。

4) 次年度に向けた課題

実習施設の確保

分娩件数や分娩取り扱い施設の減少等により、実習施設の確保が困難な状況が続いている。安定的な実習施設の確保が課題である。

11. 研究科委員会

1) 構成員

委員：◎田場由紀、○上原和代、瓜崎貴雄、神里みどり、佐久川政吉、謝花小百合、宮里智子（博士前期課程／博士後期課程）

赤嶺伊都子、井上松代、大城真理子、栗原幸子、知念真樹、牧内忍（博士前期課程）

事務局：三宅・浅野

2) 所掌事項

- (1) 学生の入学、課程の修了に関する事
- (2) 学位の授与に関する事
- (3) 大学院諸規程の制定及び改廃に関する事
- (4) 学生の表彰、懲戒及び除籍に関する事
- (5) 大学院の教育課程の編成に関する事
- (6) その他、大学院の教育研究に関する事

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月16日（水）	1. 博士前期課程 研究指導補助教員審査について（1件） 報告： 1. 博士前期課程 科目担当教審査について（4件） 2. 令和7年度研究指導体制について 3. 大学院学生募集広報活動について
2	令和7年 5月21日（水）	1. 令和8年度大学院学生募集要項について 2. 令和8年度大学院博士論文審査委員会について（博士後期課程） 3. 報酬及び謝金に関する規程の一部改正について（TA・RA） 報告： 1. 令和7年度プレFD計画について 2. 令和7年度研究指導のための予算配分について 3. 令和7年度入試結果の公表について
3	令和7年 6月18日（水）	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験合否判定の申し合わせ（案）について 2. 研究指導教員の変更について 報告： 1. 令和6年度院生からの要望への回答 2. 令和7年度前学期学位論文中間発表会について 3. 遠隔地から受講する院生の情報共有について 4. 大学院出願相談マニュアルについて 5. 大学院学生募集広報活動報告 6. 大学院学生の共同カンファレンスの運営支援について
4	令和7年 7月16日（水）	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験面接採点基準について 報告： 1. 博士前期課程科目担当教員審査について（2件） 2. 高度実践看護師教育課程（プライマリケア看護）の更新申請について（実践島嶼保健看護） 3. 授業評価アンケートの変更案について 4. 令和7年度後学期科目等履修生の募集について 5. 研究計画・結果検討会の実施報告 6. オープンキャンパスにおける広報活動について（高校生向け）

5	令和7年 9月3日(水)	1. 令和7年度前学期 博士後期課程修了判定について 報告： 令和7年度前学期学位論文公開発表会について
6	令和7年 9月17日(水)	1. 令和7年度後学期特別聴講生の入学許可について 2. 令和7年度後学期科目等履修生の入学許可について 報告： 1. 学生の異動について(休学・復学) 2. 共同カンファレンス開催報告 3. 計画検討会・結果検討会実施報告 4. 令和7年度前学期学位論文公開発表会について 5. 令和7年度前学期学位授与式日程について
7	令和7年 10月15日(水)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験合否判定について 2. 大学案内2026の原稿執筆について 報告： 1. 計画検討会・結果検討会実施報告 2. 博士課程DNPコースに関する会員校調査結果について
8	令和7年 11月4日(火)	1. 長期履修期間の短縮について
9	令和7年 11月19日(水)	1. 博士後期課程学位審査に関する内規の改正について 2. 令和7年度後学期修士論文等審査委員会について 3. 令和7年度後学期博士論文審査委員会について 4. 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)について 5. 教職員意見に対する審議について 報告： 1. 副査の選考方法についての申し合わせの改正 2. 長期履修制度の短縮手続きに関する是正策
10	令和7年 12月17日(月)	1. 令和8年度学事歴について 報告： 1. 令和7年度後学期学位論文中間発表会次第について 2. 令和8年度時間割について 3. 博士論文における剽窃チェックソフトの使用に関する申し合わせ 4. 「学位審査・最終試験覚え」について 5. 令和8年度大学院ガイダンス次第および日程について
11	令和8年 1月21日(水)	1. 令和8年度学事歴変更点について 2. 博士前期課程学位審査に関する内規の改正について 3. 博士後期課程学位審査に関する内規の改正について 4. 再入学規程の改正及び再入学出願要綱について 報告： 1. 科目担当教員審査について(2件) 2. 大学院学則の正誤表と今後の運用について 3. 令和7年度大学院性表彰の推薦依頼 4. 令和7年度後学期学位論文公開発表会日程案について 5. 令和8年度科目等履修生の募集について 6. 令和8年度TA・RA募集要項について 7. 令和7年度前学期授業評価アンケート結果報告
12	令和8年 2月18日(水)	1. 令和7年度後学期博士前期課程修了判定について 2. 令和7年度後学期博士後期課程修了判定について 3. 令和8年度大学院入学者選抜試験博士前期課程合否判定について 4. 令和8年度大学院入学者選抜試験博士後期課程合否判定について 5. 再入学に関する申し合わせの制定について 6. 大学院履修規程の改正について 報告： 1. 令和7年度大学院生表彰について 2. 令和7年度大学院修了生早大について 3. 令和7年度後学期学位論文公開発表会次第について

		<ul style="list-style-type: none"> 4. 令和8年度大学院ガイダンス次第の変更について 5. 長期履修短縮申請について 6. 高度実践看護師教育課程（プライマリケア看護）申請結果
13	令和8年 3月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度大学院入学者選抜試験博士前期課程（実践島嶼保健看護）合否判定について 2. 研究指導教員の変更について 3. 令和8年度科目等履修生の入学許可について 4. 令和8年度入学生既修得単位の認定について 5. 令和8年度入学生長期履修申請について 6. 学生の異動について（復学・退学） <p>報告：</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度共同カンファレンス開催報告 2. 研究計画・結果検討会実施報告 3. 令和7年度後学期授業評価アンケート結果報告 4. 大学院で修得すべき能力のアンケート結果報告 5. 令和8年度入学生総代について

(1) 研究指導体制の確保に向けた取り組み

各分野の研究指導体制を安定、強化するため適宜のモニタリング、審議を行った。その結果、博士前期課程8名、博士後期課程2名の修了生を輩出した。

(2) 諸規程の整合に関する取り組み

研究指導体制の確保並びに修了判定にまつわる諸規程の整合を図るための審議を行った。また、諸規程の運用に際しては、大学院生の適応のしづらさがないよう、事務局の支援体制を見直すなどした。

(3) 高度実践看護師教育課程（プライマリケア看護）開講に向けた教育課程の編成と申請書の作成

令和7年4月より更新申請に向けた話し合い、情報共有を繰り返し、必要な修正・改善を行いながら研究科委員会全体で申請書作成に取り組んだ。その結果、令和8年2月更新が認定され、令和8年4月開講の運びとなった。

4) 次年度に向けた課題

教員の退職等に伴い研究科委員会の体制が変更になることから、研究指導体制の維持、確保に向けた人材育成計画・人材確保計画が必要である。

12. 研究科教務委員会

1) 構成員

委員：◎田場由紀、○上原和代、謝花小百合、栗原幸子
事務局：松田

2) 所掌事項

- (1) 教育課程及びその履修に関すること
- (2) 学生の転学、留学、休学、復学、退学、除籍及び修了に関すること
- (3) 学生の修了判定に関すること
- (4) 学生の単位取得に関すること
- (5) 学生の支援に関すること
- (6) 教育費の執行計画に関すること
- (7) その他教務に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日(水)	1. 教員審査について 報告： 1. 令和7年度研究指導体制について 2. 令和7年度大学院履修科目登録状況について 3. 令和7年度計画について
2	令和7年 5月14日(水)	1. 報酬及び謝金に関する規程改正(TA, RA)について 2. 令和6年度院生からの要望に関する回答書案について 3. 令和7年度大学院生の研究支援費の予算配分について 4. プライマリケア看護教育課程(実践島嶼保健看護)更新申請について 5. 令和7年度前学期論文審査申請と審査委員会案について 報告： 院生カンファレンス実施報告
3	令和7年 6月11日(水)	1. TA, RA応募要領についてについて 2. 令和7年度前学期 中間発表会の開催について 3. 院生の共同カンファレンスに関する研究科教務委員会の役割について 4. 授業評価アンケートの見直しと時期について 5. 博士後期課程プレFD研修(シンセサイザー)の改善案について 報告： 5月、6月の研究計画・結果検討会の実施報告
4	令和7年 7月9日(水)	1. 教員審査について 2. プライマリケア看護教育課程(実践島嶼保健看護)更新申請の進捗についてについて 3. 授業評価アンケートの見直し案について 報告： 1. 7月の研究計画・結果検討会の実施報告 2. 後学期科目等履修生の募集
5	令和7年 8月18日(月)	1. 令和7年度前学期修了判定(博士後期課程1名)について 2. 令和7年度前学期公開発表会の次第案について
6	令和7年 9月10日(水)	1. 学生の異動について 2. 特別聴講生の入学について 3. 科目等履修生の入学について 4. 在学生の後学期追加履修登録について

		報告： 1. 博士前期課程共同カンファレンスの開催報告 2. 博士後期課程プレFDの進捗報告
7	令和7年 10月8日(水)	1. 学習指導進捗状況経過報告書等の提出状況について 2. 論文執筆マニュアルについて 3. 2026年度大学案内について 4. 院生室の工事期間中の利用について 報告： 10月の研究計画・結果検討会の実施報告
8	令和7年 10月29日(水)	1. 長期履修の短縮申請について 2. 長期履修の短縮申請遅延の再発防止策案について
9	令和7年 11月12日(水)	1. 令和7年度後学期学位論文等の仮テーマ並びに令和7年度後学期学位論文等審査委員会に関する副査の推薦について 2. 副査の選考方法に関する申し合わせの改正(様式等)について 3. 令和8年度シラバス作成依頼について 4. 博士前期課程学位審査に関する内規および博士後期課程学位審査に関する内規の改正(様式等)について 5. 剽窃チェックソフトの導入に向けた申し合わせの検討について 6. 長期履修制度の短縮手続きの遅延に関する再発防止策の案について 報告： 11月の研究計画・結果検討会の実施報告
10	令和7年 12月10日(水)	1. 大学院学則の条ずれ部分の確認及び今後の運用について 2. 博士前期課程学位審査に関する内規および博士後期課程学位審査に関する内規の改正(様式等)について 3. 令和7年度後学期中間発表会次第案について 4. 令和8年度学事暦(案)について 5. 令和8年度時間割(案)について 6. 令和8年度委員会年間計画表(案)について 7. 博士論文における剽窃チェックソフトの使用に関する申し合わせ案について 8. 「学位審査・最終試験覚え」の改正案について 報告： 12月の研究計画・結果検討会の実施報告
11	令和8年 1月5日(月)	1. 複数指導体制の申請について(1件) 2. 令和8年度学事暦(案)の変更点について 3. 認証評価(基準2、基準3)について
12	令和8年 1月14日(水)	1. 博士前期課程学位審査に関する内規および博士後期課程学位審査に関する内規の改正について 2. 令和7年度終了予定者の修了判定にかかる単位取得状況等について 3. 令和7年度大学院生表彰の推薦依頼について 4. 令和7年度後学期公開発表会次第(案)について 5. 令和8年度大学院科目の科目責任者及び窓口担当教員について 6. 令和8年度TA、RA募集要項について 7. 令和8年度科目等履修生の募集について 8. 令和8年度再入学出願要項について 9. 教員審査について 10. 研究科教務委員会企画FD研修について 11. 共同カンファレンス(博士前期課程、博士後期課程)の開催について
13	令和8年 2月9日(月)	1. 令和7年度後学期修了判定(博士前期課程8名、博士後期課程1名)について 2. 大学院履修規程の改正について 3. 再入学に関する申し合わせ案について 4. 令和7年度実績及び令和8年度計画並びに見込み評価について 5. 修了生総代の選出案について 6. 令和8年度ガイダンス日程について(情報セキュリティ関連の追加)

		7. 研究科教務委員会企画FDについて 報告： 1. 長期履修短縮申請について 2. プライマリケア看護教育課程（実践島嶼保健看護）の更新申請結果
14	令和8年 3月11日（水）	1. 科目等履修生の入学について 2. 令和8年度入学者の長期履修申請について 3. 学生の異動について 4. 長期履修者の短縮申請について 5. 特別聴講生の成績について 6. 再入学申請について 7. 教員審査について 8. 令和8年度計画について 9. 令和8年度入学生総代の選出案について 報告： 1. FD研修実施報告 2. 共同カンファレンス（博士前期課程）開催報告 3. 共同カンファレンス（博士後期課程）開催報告 4. 2月・3月の研究計画・結果検討会の実施報告

(1) 修了判定・学位授与に関すること

前学期論文審査申請者、博士後期課程1名、後学期論文審査申請者、博士前期課程8名、博士後期課程1名に対し審査委員会案を提示、研究科委員会に諮った。また、論文審査委員会の平準化を図るため、「論文審査・最終試験覚え」の改定案を研究科委員会へ提示し承認を経て、審査委員へ周知を行った。審査委員会の審査結果等の報告書等要旨などの取りまとめを行い、研究科委員会を経て、博士前期課程8名、博士後期課程1名の修了ならびに学位授与認定が行われた。

(2) 高度実践看護師教育課程の更新申請（実践島嶼保健看護）に関すること

令和7年5月よりプライマリケア看護教育課程として実践島嶼保健看護の更新申請の準備を開始、研究科委員会の全面協力のもと、7月に更新申請書類を提出した。令和8年2月に認定を受け、令和8年4月開講の準備が整えられた。

(3) 各種規程、内規、申し合わせの改正並びに作成に関すること

大学院学則と各規程、内規、申し合わせの整合性並びに運用状況を点検し、次の修正等を行った。①博士前期課程学位授与に関する内規の改正、②博士後期課程学位授与に関する内規の改正、③副査の推薦に関する申し合わせの改正、④博士論文における剽窃チェックソフトの使用に関する申し合わせの制定、⑤再入学規程の改正、⑥再入学に関する申し合わせの制定、⑦大学院履修規程の改正

(4) 大学院生の活動支援に関すること

大学院生の活動支援について、次の活動における研究科教務委員会の役割を明確にし、大学院生並びに大学院教員へ周知を図った。①共同カンファレンスの運営支援に関すること、②博士後期課程学生に対するプレFD研修の実施に関すること、③授業評価アンケートの見直しに関すること

4) 次年度に向けた課題

教育課程に関することでは、教員の退職等に伴い開講が困難になる科目があり、教育体制の整備

が急務である。高等教育における人材育成は保健看護学研究科の重要な使命であることから、研究科入試委員会での受験者の確保と連携し、人材育成が途切れることのないよう教員体制の確保、改善に必要な課題を明確にする。

13. 研究科入学試験委員会

1) 構成員

委員：◎田場由紀、○上原和代、謝花小百合、井上松代
事務局：儀間

2) 所掌事項

- (1) 入学試験の企画に関すること
- (2) 入学者選抜方法に関すること
- (3) 学生募集に関すること
- (4) 入学試験に係わる広報に関すること
- (5) 入学試験の実施に関すること
- (6) 試験結果の集計に関すること
- (7) その他入学試験に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日(水)	1. 令和7年目標・行動計画について 2. 令和8年度大学院生募集について 3. 令和7年度大学院学び直し勉強会について 4. 令和8年度大学院募集説明会の開催について 5. 令和8年度大学院受験者確保のための広報計画について 6. 大学院パンフレット作成について
2	令和7年 5月14日(水)	1. 令和8年度大学院学生募集要項について 2. 令和7年度大学院入試結果の公表について 3. 高度実践看護師教育課程の開講計画について 4. 令和8年度入学者選抜試験作問方針とチェックリストについて 5. オープンキャンパスの掲示内容について
3	令和7年 6月11日(水)	1. 大学院出願前相談の担当教員について 2. 令和8年度大学院入学者選抜試験合否判定申し合わせ案について 報告： 1. 学び直し勉強会の報告 2. 受験生確保の取り組みについて進捗報告
4	令和7年 7月9日	1. 出願資格審査について 2. 令和8年度大学院入学者選抜試験実施要綱について 3. 面接採点基準について 報告： 1. 大学院募集説明会の実施報告 2. 出願前相談申し込み状況の報告
5	令和7年 8月25日(水)	1. 出願資格審査について
6	令和7年 9月16日(火)	報告： 1. 令和8年度大学院入学試験出願状況の報告 2. 大学院入試までのスケジュール報告
7	令和7年 10月8日(水)	1. 令和8年度大学院入試合否判定資料の作成について 2. 大学案内2026の原稿執筆について
8	令和7年 11月12日(水)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)について 2. 令和8年度学事歴案について

9	令和7年 12月22日(月)	1. 令和8年度入試出願資格審査について
10	令和8年 1月15日(木)	1. 令和8年度入学者選抜試験出願資格審査について 報告： 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)事前相談の報告
11	令和8年 1月30日(金)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)実施要領について 報告： 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)出願状況の報告
12	令和8年 2月13日(金)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験(2次募集)合否判定資料について 2. 令和7年度実績及び令和8年度計画について 3. 令和9年度大学院学生募集説明会について
13	令和8年 3月4日(水)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験(3次募集)実施要領について 2. 令和7年度委員会実績報告、令和8年度委員会活動計画について 報告： 令和8年度大学院入学者選抜試験(3次募集)出願状況の報告
14	令和8年 3月11日(水)	1. 令和8年度大学院入学者選抜試験(3次募集)合否判定資料について 2. 令和8年度学び直し勉強会について 3. 令和9年度大学院入学生募集について

(1) 学生募集の取り組み

例年通りのポスター掲示や案内の郵送による広報、大学院入学者募集説明会の開催、学びなおし勉強会などを開催した。募集説明会参加者のうち受験者5名、科目履修者2名、学びなおし勉強会の参加者のうち受験者1名、科目履修者0名であった。その他、事前相談申し込み21名のうち受験者11名、科目履修者1名であった。

(2) 学部から大学院への接続教育に向けた取り組み

過去に学部から大学院に進学した学生について、情報収集した結果、学部1年次の時点から大学院を志向していたことを踏まえ、オープンキャンパスにて、相談会に加え、大学院紹介ブースを設置、ポスター等を作成して、高校生にキャリア形成としての大学院の位置づけを広報した。

(3) 実践島嶼保健看護教育課程開講に向けた履修生の確保

研究科教務委員会に置いて、プライマリケア看護教育課程(実践島嶼保健看護)の更新申請に合わせて、令和8年4月の開講に向けた履修生の確保に取り組んだ。ポスターやホームページでの広報に加え、関係施設の訪問による広報を実施した。また、幅広く受験生を確保する機会として、1次募集にとどまらず、2次募集、3次募集を重ね、可能な限り関心のある者に情報が届くよう、履修生の確保に取り組んだ。

4) 次年度に向けた課題

新たな入学試験制度の導入と博士前期課程のディプロマ・ポリシーに合わせた修了生像が周知されてきていることにより、博士前期課程の入学希望者は目指すものが明確になっている。一方で、博士後期課程については、修士論文コースの修了者にとどまらない入学希望者がみられている。博士後期課程のディプロマ・ポリシーと、地域のニーズを踏まえたアドミッション・ポリシーの見直し等、研究科教務委員会と連携し、入学志願者の確保に係る課題を明確にする。

14. 学術情報委員会

1) 構成員

委員：◎宮里智子、栗島一博、山城綾子、岡崎実子、兼島利奈、与那嶺隆
事務局：山城、下地、比嘉公宏

2) 所掌事項

- (1) 公立大学法人お誼話県立看護大学附属図書館の管理運営の基本に関すること。
- (2) 学術情報に関する企画・立案
- (3) 学術情報の収集及び利用
- (4) その他、学術情報の収集・管理・配信に関すること
- (5) 大学情報発信に関すること
- (6) 上記に必要な予算にかんすること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月16日(水)	1. 令和7年度行動計画と役割分担 2. 除籍資料の検討 3. 購入図書を選定 4. 大学ウェブサイト運営会議について 報告： 令和7年度附属図書館予算
2	令和7年 5月7日(水)	1. 寄贈図書の受入 2. 学生の大学の要望に対する回答 報告： 1. 図書資料購入リクエストの開始 2. 蔵書点検期間の変更 3. 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗 4. 大学ウェブサイト会議の委員の決定および会議の開催 5. 学生アルバイトについて
3	令和7年 6月4日(水)	1. オープンキャンパスの附属図書館担当者 2. 購入図書を選定 3. 除籍資料の検討 報告： 1. 図書資料購入リクエストの進捗 2. 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗 3. 第1回および第2回大学公式ウェブサイト運営会議の開催
4 臨時	令和7年 6月9日～6月12日 持ち回り審議	大学公式ウェブサイトの編集者・管理者アカウント作成と役割の切り分け 報告事項： 1. 「トップページへの大学紹介動画の掲載」について 2. 「学部の領域紹介のページの整理」について
5	令和7年 7月2日(水)	1. 図書資料購入リクエスト 2. 図書館選定図書購入の検討 3. 寄贈図書の受入の検討 4. 大学Webサーバーのファイル点検結果と削除候補について 報告： 1. オープンキャンパスの担当者 2. 附属図書館の開館時間の短縮 3. 領域紹介ページの編集の進捗

6	令和7年 8月5日～8月8日 メール会議	図書館選定図書購入の検討について
7	令和7年 9月3日(水)	<ol style="list-style-type: none"> WordPressの学術情報委員会管理者アカウント ホームページの編集等に係るチェックリスト 機関別認証評価 大学webサイトの点検 令和7年度看護学術書籍集積事業 寄贈図書の受入の検討 公的資金による助成を受けた学術論文等の即時オープンアクセス義務化 附属図書館のシステムの更新 報告： <ol style="list-style-type: none"> 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗について 2025年度第53回沖縄県大学図書館協議会総会及び講演会の出席 蔵書点検報告
8	令和7年 10月1日～10月3日 メール会議	<ol style="list-style-type: none"> 購入希望資料リクエスト募集 購入図書の選定 59冊 寄贈図書の受け入れ 10冊 報告 <ol style="list-style-type: none"> 第53回沖縄県大学図書館協議会総会 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗 学生アルバイトの募集
9	令和7年 11月5日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 教職員意見に対する審議 データベースの契約更新 図書館システムの1年更新 購入図書の選定 除籍資料の検討 年報の作成 令和8年度予算要求 公立大学図書館協会の令和9年度監査館 報告 <ol style="list-style-type: none"> 購入希望資料リクエスト募集 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗 沖縄県大学図書館研修の参加
10	令和7年 11月11日～11月13日 メール会議	<ol style="list-style-type: none"> 購入図書の選定 除籍資料の検討
11	令和7年 11月18日～11月21日 メール会議	<ol style="list-style-type: none"> 購入リクエスト図書の選定 購入図書の選定
12	令和7年 12月2日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 令和8年度の図書館の開館時間について(ニーズ調査の結果) 令和8年度予算要求 教職員意見に対する審議 年報の内容と様式案 除籍資料の検討 寄贈図書の検討 報告 <ol style="list-style-type: none"> 大学図書館協議会研修の参加 沖縄医療保健看護史料デジタルアーカイブの進捗 JPCOAR地域ワークショップの参加と開館時間の短縮
13	令和8年 1月7日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 附属図書館IC機器免許更新について 令和8年度図書館の開館時間 ラーニングコモンズ利用規程(案) 令和8年度学生便覧の変更点 沖縄医療保健看護史料アーカイブポスター

		6. 購入図書の選定 7. 寄贈図書の検討 8. 除籍資料の検討 9. 年度計画進捗状況報告 1. 沖縄医療保健看護史アーカイブの進捗 2. JPCOAR 地域ワークショップの参加報告 3. 令和8年1月からの図書館の開館時間の拡大 4. 大学案内メニューの追加について
14	令和8年 2月4日(水)	1. 附属図書館運営規程の一部改正について 2. ラーニングコモンズ利用規程、および、利用細則について 3. 島嶼保健看護研究ホームページ作成について 4. 公開講座の役割分担について 5. 寄贈図書の検討 6. 除籍資料の検討 7. 令和7年度計画の確認 8. 令和8年度計画の確認 報告 1. 沖縄医療保健看護史アーカイブの進捗について 2. 令和7年度卒業生対象貸出期限について 3. 図書館システムの更新について 4. 令和7年度図書受入数
15	令和8年 3月4日(水)	1. 公開講座の役割分担 2. 寄贈図書の検討 報告 1. 沖縄医療保健看護史アーカイブの進捗について 2. 次年度からの教員の研究図書の引き渡しについて 3. 次年度の看護学術振興財団看護学術書籍集積事業について

(1) 図書資料の選定と購入

学生及び教職員へ図書資料購入リクエスト調査を2回行い、また、図書館選書により、合計620冊を購入した。購入した620冊のうち、看護図書は126冊(約20%)であった。(全蔵書数67,299冊における看護図書17,787冊の割合:26.4%) (令和8年1月28日時点)

(2) 沖縄医療保健看護史料アーカイブの書誌データの掲載

書誌データの掲載を進め、令和6年度に49件であったデータが109件となった。

(3) 大学リポジトリの登録

博士論文(要約)1件を登録した。

4) 次年度に向けた課題

図書資料を保管する書架や書庫のスペースが不足しつつあるため、保管スペースの確保が課題である。また、教員が研究費で購入するデジタル書籍の管理について考え方と方法を整備する必要がある。大学リポジトリの登録を促進できる体制を整えることが課題である。

15. 大学公式ウェブサイト運営会議

1) 構成員

委員：◎宮里智子、栗島一博、瓜崎貴雄、佐伯宜久、西平朋子、砂川ゆかり、上原和代、
佐久川政吉、与那嶺隆、比嘉公宏

事務局：下地

2) 所掌事項

- (1) 公式ウェブサイトに掲載するコンテンツに関する事
- (2) その他公式ウェブサイトの運営に必要な事項に関する事

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 5月21日(水)	1. 大学公式ウェブサイトの第3次改修計画案 2. トップページへの大学紹介動画の掲載案 3. メニュー「大学案内」「学部」内のページの整理 4. メニュー「大学案内」内のページの文言修正 5. 学部の領域紹介のページの整理
2	令和7年 6月5日(木)	大学公式ウェブサイトの編集者・管理者アカウント作成と役割の切り分け 報告： 1. トップページへの大学紹介動画の掲載について 2. 学部の領域紹介のページの整理について 3. 大学公式ウェブサイトについての修正・要望受付フォームについて
3	令和8年 2月12日(木)	1. 島嶼看護研究推進寄付講座のHPの作成について 2. 大学ウェブサイトの「ご寄付のお願い」の位置について

大学ウェブサイトの検討

必要に応じて会議を開催し、大学ウェブサイトの検討を行った。

4) 次年度に向けた課題

適切でタイムリーな情報発信ができるよう、管理体制を機能させることが課題である。

16. 大学広報委員会

1) 構成員

委員：◎宮里智子、○栗島一博、平良由香利、知念久美子、眞浦有希、宇地原大海
事務局：山城、下地、比嘉公宏

2) 所掌事項

- (1) 大学の広報（入学試験委員会の所掌するものを除く）に関すること
- (2) 広報誌の編集及び発行に関すること
- (3) その他大学の広報の推進に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日（水）	1. 令和7年度活動計画及び役割分担 2. オープンキャンパスについて 3. トートバッグのデザイン案 4. GoodNews・インスタの記事募集の案内について 報告： 1. 広報委員会令和7年度当初予算額 2. 大学案内の動画の編集について
2	令和7年 5月7日（水）	1. オープンキャンパスについて 2. 新たな大学広報活動について 報告： 1. 令和7年度 公開講座「看護専門職の仕事を知ろう！」役割分担 2. 令和7年度看護系3大学合同説明会 3. 日本看護系大学協議会（JANPU）の大学紹介ページのログインメールアドレスとパスワード
3	令和7年 6月4日（水）	1. オープンキャンパスについて 2. 新たな大学広報活動について（高校訪問） 3. 沖縄県立看護大学 SNS 運用ポリシー（案）について 報告 1. オープンキャンパスの準備状況 2. Instagram 講習内容 3. 令和7年度 公開講座「看護専門職の仕事を知ろう！」実施状況 4. 令和7年度看護系3大学合同説明会
4	令和7年 7月2日（水）	1. オープンキャンパスについて 2. 「大学案内」の作成方針について 報告 1. 令和7年度看護系3大学合同説明会 2. 教員の高校訪問について
5	令和7年 9月3日（水）	1. 大学案内2026版の作成 2. かせかけ Vol. 38 について 報告 1. オープンキャンパス2025実施報告 2. 教員の高校訪問実施報告
6	令和7年 10月1日（水）	1. かせかけ Vol. 38 について 2. 大学案内2026について
7	令和7年 11月5日（水）	1. 教職員意見に対する審議について 2. 令和8年度予算要求について 報告

		<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパスツアーについて 2. 大学案内 2026 の進捗 3. 大学広報誌「かせかけ」Vol. 38 の進捗
8	令和7年 12月3日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度オープンキャンパスの日程について 2. R7年度補正予算について 3. R8年度当初予算要求について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年度大学案内の進捗について 2. 大学広報誌「かせかけ Vol.38」の見積もりについて
9	令和8年 1月7日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学案内 2026 の表紙について 2. 令和8年度オープンキャンパスについて 3. 令和8年度教員と学生の高校訪問について 4. 年度計画の進捗について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年度大学案内の進捗について 2. 大学広報誌「かせかけ Vol.38」の進捗
10	令和8年 2月4日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年度オープンキャンパスのキャッチコピーについて 2. 2026年度大学案内の表紙案について 3. 肖像使用同意書について 4. 令和7年度計画の確認 5. 令和8年度計画の確認 6. 大学広報誌「かせかけ Vol.38」表紙案について 7. 「かせかけ 35号」P20 記事・写真使用について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年度大学案内の進捗について 2. 大学広報誌「かせかけ Vol.38」の進捗について 3. 2026年度オープンキャンパスのポスターについて
11	令和8年 3月4日(水)	オープンキャンパスのグッズの予算額について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年度大学案内の進捗について 2. 大学広報誌「かせかけ Vol.38」の進捗について 3. 大学Instagramの掲載状況 4. オープンキャンパス実施企画案、役割分担について

(1) オープンキャンパスの企画・運営

2025年7月19日(土)に開催し、来場者数463人(前年度410人)であった。アンケート回収数/率(276人/59.6%)(前年度291人/65%)

受付名簿を手書きからweb入力に変更、開始直後から全てのブースを開放し、来場者が分散する工夫をした。その結果、来場者の集中する様子はなかった。令和8年度の計画とキャッチコピーを決定し、早めに広報を開始する体制を整えた。

(2) 大学公式 Instagram を活用した大学の情報発信

Instagram 講習に教員2名が参加した。講習で学んだことをいかし、Instagram の表現を工夫したり、学生の広報担当によるオープンキャンパスの動画を作成し、オープンキャンパスの様子をタイムリーに発信した。

<2025年4月1日～2026年1月27日現在>

- ・年間投稿数45件(ストリーズを含むと99件)、フォロワー数885人
- ・新規フォロワー数634人(特にオープンキャンパス時に162人増加)

(3) 教員と学生による高校訪問

6月～7月に、県内の公立高校13校を対象に「教員の高校訪問」を行い、生徒と進路指導の教諭へ大学のピーアールと入試説明を実施した。

4) 次年度に向けた課題

現在行っている広報活動を継続する。高校訪問については、新年度の早い時期に案内文を送付し、5月～6月に実施する。

17. 衛生委員会

1) 構成員

委員：◎名城政広、米納浩幸、佐伯宣久、平良由香利、比嘉公宏、天久いつ子
事務局：上間

2) 所掌事項

- (1) 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- (2) 職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること
- (4) 心理的な負担の程度を把握するための検査に関すること
- (5) その他職員の健康障害の防止及び健康の補助増進に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月10日(木)	1. 公立大学法人安全衛生管理規程について 2. 令和6年度目標・行動計画の最終評価報告書(案)について 3. 令和7年度行動計画(案)について
2	令和7年 5月8日(木)	1. 第1回衛生委員会の議事録について 2. 年間スケジュールについて 3. 働き方改革に関する勤務状況(4月分)について
3	令和7年 6月5日(木)	1. 第2回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(5月分)について 3. 職場一斉点検の実施について 報告： 1. 事務局職員の時間外勤務等について 2. 定期健康診断の実施について
4	令和7年 7月3日(木)	1. 第3回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(6月分)について 3. パッケージ促進週間について 3. 職場一斉点検の実施について
5	令和7年 8月7日(木)	1. 第4回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(7月分)について 3. 職場一斉点検の結果について
6	令和7年 9月18日(木)	1. 第5回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(8月分)について 3. 職場一斉点検の結果について
7	令和7年 10月2日(木)	1. 第6回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(9月分)について 3. 令和7年度年度計画における進捗状況について
8	令和7年 11月6日(木)	1. 第7回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(10月分)について 3. 年次有休休暇の取得促進に向けた取組について 4. ペーパータオルの設置について 5. 教育管理棟における照明点灯について 報告： 1. 休憩室について
9	令和7年 12月4日(木)	1. 第8回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況(11月分)について 3. ペーパータオルの設置について

		4. 教育管理棟における照明点灯について 5. 次年度予算編成に向けた意見にかかる検討状況について 報告： 1. 有休休暇が5日に満たない職員の面談等について
10	令和8年 1月8日（木）	1. 第9回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況（12月分）について 報告： 1. ストレスチェックの集団分析結果について
11	令和8年 2月5日（木）	1. 第10回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況（1月分）について 3. 令和7年度目標・計画にかかる評価報告書（案）について 4. 令和8年度目標・計画（案）について 報告： 1. ハンドドライヤーの設置について
12	令和8年 3月5日（木）	1. 第11回衛生委員会の議事録について 2. 働き方改革に関する勤務状況（2月分）について

(1) 職場一斉点検の実施

令和7年7月に職場一斉点検を実施し、廊下等において通行の妨げとなっている物品の整理・改善点等を上げ、各管理者および職員へ周知し、物品の撤去・処分を行った。

(2) 定期健康診断の実施

令和7年5月21日および29日に定期健康診断を実施し、73名（当初対象者76名）が受診した。

(3) ストレスチェックの実施

令和7年9月にストレスチェックを実施し、68名（対象者72名）が受検、受検率は94.4%となった。

4) 次年度に向けた課題

在学時間や時間外勤務の超過、年次有休休暇取得の少ないこと等について、委員会で課題整理を行い、改善策を講じてきたが、労働基準法や就業規則等のルールが一部理解されていない等の課題も確認されたため、その結果を踏まえ、次年度も引き続き必要な対策を行う。

18. ハラスメント防止・対策委員会

1) 構成員

委員：◎瓜崎貴雄、○比嘉公宏、佐伯宣久、田場由紀、栗原幸子、名城政宏
事務局：赤嶺

2) 所掌事項

- (1) ハラスメントの防止等に係わる研修及び啓発活動に関すること
- (2) ハラスメントの防止に係わる体制の整備及び改善に関すること
- (3) ハラスメントに起因する問題が発生したと相談員から報告された事案についての事実関係の調査、措置及び環境改善に関すること
- (4) その他、ハラスメントの防止・対策に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 5月2日(金)	1. ハラスメント防止・対策委員会関係規程等の確認について 2. ハラスメント相談体制の確認について 3. 令和7年度 年度計画の確認について
2	令和8年 1月27日(火)	1. 令和7年度 年度計画の実績について 2. 令和7年度 ハラスメントに関する調査について
3	令和8年 2月26日(木)	1. ハラスメント調査委員会設置基準について 2. ハラスメントガイドラインの修正について 3. ハラスメントに関する調査結果について

(1) オンライン相談窓口を設置し、周知を図る。

5月に、本学のホームページからハラスメントの相談ができるオンライン相談窓口を設置した。教職員に対しては5月の教職員連絡会議で、学生（看護学部生、別科助産専攻生）に対してはメールでの周知の他に、実習前のオリエンテーションにおいても口頭で周知した。

(2) ハラスメント防止・対策についての意識の向上を図る。

①学生（看護学部生、別科助産専攻生）に対して、実習前にハラスメント防止・対策に関する講話を行った（1年次：5/12、2年次：9/26、3年次：9/25、4年次：5/12、別科助産：8/4に実施）。

②教職員に対して、9/16にハラスメント研修会（「看護の職場におけるハラスメントと大学におけるハラスメントについて」講師：琉球大学法務・コンプライアンス担当副理事・副学長 矢野恵美 教授）を実施し、48名（学内教職員総数77名）が参加した。

(3) ハラスメントに関する調査を実施する。

2026年2月に、学生・教職員を対象として、ハラスメントの実態とハラスメント防止・対策の認識を調べるための調査を実施した。

4) 次年度に向けた課題

今年度、ハラスメントに関する相談は 0 件であったが、ハラスメントに関する調査の結果からは、ハラスメントを受けたと感じたことがある者やハラスメントか否かの判断がつかない者がいることが明らかとなった。また、この調査からは、相談先は理解しているが、「事を大きくしたくない」「不利益が心配」「個人が特定されそうで不安」などの理由で相談していない者がいることも明らかとなった。以上より、ハラスメントの相談窓口を安心して利用できるようにするための環境の整備や、ハラスメントを防止するために、学生・教職員の意識の向上を図ることが課題であると考えられる。

19. 研究不正防止計画推進委員会

1) 構成員

委員：◎神里みどり、○赤嶺伊都子、井上松代、名城政広、比嘉公宏
事務局：三宅

2) 所掌事項

- (1) 研究上の不正防止に関すること
- (2) 公的研究費の不正使用防止に関すること
- (3) 研究倫理の向上に関すること
- (4) 研究上の不正防止を図るために必要な活動に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 6月13日(金)	1. 科研費(直接経費)で雇用する研究協力者の採用基準について 2. コンプライアンス研修について 3. 研究倫理教育セミナーについて 4. 研究不正防止に係る啓発活動について 報告： 1. 令和7年度当初予算について 2. 年度計画の確認について
2	令和7年 12月15日(金)	1. 令和8年度当初予算について 2. 令和7年度年度計画の確認について 報告： 1. 2025年度公的研究に関する確認テスト実施結果 2. 研究倫理e-ラーニングの受講結果について 3. 利益相反及び研究インテグリティ審査委員会報告
3	令和7年 12月19日(金) (書面審議)	1. 「公立大学法人沖縄県立看護大学 会計事務取扱規程」及び「検収確認窓口の設置及び納品検収体制の整備に関する内規」の一部改正について
4	令和8年 2月6日(金)	1. 科研費で雇用する研究協力者の採用基準について 2. 令和7年度年度計画の実績報告について 3. 令和8年度の個別計画及び役割分担について 4. 研究に関する記録及び研究データの保管要綱及び研究に関する記録データの保管申し合わせ事項の一部改正について
5	令和8年 3月18日(水)	

(1) 公的研究費の不正使用防止、利益相反管理に関する取組み

- ・公的研究費の不正使用防止と利益相反管理の強化に向け、教職員を対象としたコンプライアンス研修を実施し、研修後には確認テストを行った。
- ・科研費内部監査では適正な処理を確認し、会計手続きの適正化を目的として会計事務取扱規程等の一部改正を行った。
- ・利益相反及び研究インテグリティ管理委員会・同審査委員会を開催し、外部委員により利益相反状態の不存在を確認した。
- ・科研費で雇用する研究協力者について、親族の採用は利益相反状態と見なされる懸念から原則

禁止とし、事務取扱マニュアルへ明記することを決定した。

(2) 研究不正防止に関する取組み

- ・「公的研究費不正使用及び研究不正行為防止に関する規程」に基づく研究倫理教育セミナーを開催し、文科省ガイドラインに沿った啓発活動として教職員へ情報提供を行った。
- ・研究記録・研究データ管理簿の提出を周知するとともに、研究データ管理責任の明確化を図るため、関連要綱及び申し合わせ事項の一部改正を行い、次年度から施行予定である。

4) 次年度に向けた課題

利益相反管理の徹底のため、自己申告書の様式を見直すとともに、記載方法を統一し、教員への周知を図る必要がある。

20. 研究・研修委員会

1) 構成員

委員：◎赤嶺伊都子、○田場由紀、佐伯宜久、宮里智子、山口賢一、名城政広
事務局：三宅

2) 所掌事項

- (1) 教職員等の能力開発に関すること
- (2) 教員の研究に関すること
- (3) 教員研究費及び学長奨励研究費の執行計画に関すること
- (4) その他研究・研修に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 5月7日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究・研修委員会の年度計画について(個票1) 2. 令和7年度計画(個票2)の担当者確認について 3. 令和7年度研究活動報告会について 4. 新任教員研修セミナーの募集について 5. FD研修案について 6. 学長奨励研究費の採択について 7. 研究員の受入について 8. 研究員に認める施設設備の利用の範囲について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度当初予算について 2. 令和6年度 研究業績報告 3. FD研修報告
2	令和7年 6月4日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学長奨励研究費の採択について 2. 学長奨励研究費学会発表と論文投稿に向けたマネジメントについて 3. 研究員の受入について 4. 研究員に認める施設設備の利用の範囲について 5. 科研費事務取扱マニュアルの改正(案)について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 開学記念事業について 2. 全教員対象FD研修会について 3. 看護教育支援専門員対象FD研修会について
3	令和7年 7月2日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 推進目標3及び7の案について 2. 研究活動の推進・活性化について 3. R7年度の研究時間実態調査(案)について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 学長奨励研究費の採択状況について 2. 令和6年度科研費(間接経費)の収支報告について 3. 科研費申請の概要・重要ポイントについて
4	令和7年 8月6日(水)	1. 研究員に認める施設設備の利用範囲について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 推進目標3について 2. 推進目標7について 3. 推進目標9について

5	令和7年 9月3日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. R7年度の研究時間実態調査結果について 2. R8年度教員研究費配分計画(ドラフト案)について 3. 研究業績1.00未満の領域の研究活動における課題に関する調査について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. FD研修の報告について 2. 宇流麻学術助成基金選考結果報告について 3. 研究員に認める施設設備の利用の範囲(他大学の状況)について 4. 学長奨励研究に係る進捗状況報告について
6	令和7年 10月1日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究促進助成金(科研費不採択者への助成金)について 2. 学長奨励研究費配分方針について 3. 学長奨励研究にかかる論文投稿の義務化について 4. 学長奨励研究費にかかる進捗状況報告について 5. 職務発明等規程(案)について 6. FD研修の方針等を示す資料の作成について 7. 研究員に認める施設設備の範囲について
7	令和7年 11月5日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員意見に対する審議について 2. 令和8年度当初予算要求について 3. 科研費プロの継続利用について 4. 職務発明等規程(案)について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. サバティカル制度について 2. 沖縄県公立大学運営事務研究会の実施について
8	令和7年 12月3日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員意見に対する審議について 2. FD研修の方針等を示す資料の作成について 3. 年度計画の進捗状況について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費プロの継続利用について
9	令和8年 1月7日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認証評価 基準2・基準3の取り組み内容について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度学長奨励研究について 2. 領域長へのインタビュー調査 結果について 3. 年度計画実績の記入について
10	令和8年 2月4日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共同研究取扱規程(案)の制定について 2. 科研費事務取扱マニュアルの改正について 3. 令和8年度学長奨励教育研究の公募について 4. 令和7年度年度計画の実績報告について 5. 令和8年度年度計画案について 報告： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度学長奨励研究の進捗状況について 2. 学長奨励教育研究費で採択された演題のマネジメントについて 3. 研究員の受入について 4. 令和8年度研究活動推進助成金について 5. 令和7年度FD・SD研修実績報告について 6. 領域長へのインタビュー調査 結果について
11	令和8年 3月5日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度学長奨励研究の進捗状況について 2. 令和8年度研究活動推進助成金の公募について 3. 2026年度 開学記念事業 開催プログラムについて 4. 研究員の受入について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度科研費の採択状況について

(1) 学長奨励教育研究費の募集及び申請された研究計画について審議し、学長へ報告を行った。また、採択された研究に予算を配分し教授会へ報告を行った。

(2) 学長奨励研究及び宇流麻学術研究の採択者に発表の場を確保するため、研究活動報告会、発表者交流会を開催した。

- ・研究報告6演題、研修参加報告2演題。教員44名（参加率42/43名、97.7%）、大学院生2名、学外者4名、その他1名の計51名が参加した。実施後のアンケート調査結果では、「満足」、「まあ満足」と回答した者をあわせると満足と回答した者は100%であった。
- ・交流会はセッション1とセッション2に分けて行い、それぞれ持ち時間を20分間とし、32名と30名が参加した（うち1名は大学院生、教員参加率30～32/43名、69.8～74.4%）。発表者交流会の満足度について、「よい」、「まあよい」と回答した者をあわせるとよいと回答した者は100%であった。

(3) 教員の研究時間確保のため、研究活動に関するアンケート調査を行った。

- ・研究時間の確保について「一週間に半日以上の研究時間を確保できていない（月0～1回）」の回答者は31人中12人38.7%（教授：6人/9人66.7%、准教授：3人/10人30.0%、講師：1人/3人33.3%、助教：2人/7人28.6%、助手0人/2人0%）であった。その主な理由として、「教育活動や委員会等の業務による多忙」を挙げていた。

(4) 令和6年度研究業績報告の「教員一人あたりの筆頭本数（論文・学会発表）」の研究業績の低い（1.00未満）領域の領域長へのインタビュー調査を行った。

(5) 科研費申請者を支援するため、教員に対し「科研申請のポイント」として情報提供を行った。科研サポーターを配置し相談対応した。

(6) 研究員の新規受入について、申請内容に関する審議を行った。

(7) 教職員を対象にFD・SD研修を実施した。

①テーマ：研究方法を学ぼう 複線径路等至性アプローチ

日時：2025年8月18日（月）13：30～15：00・講師：安田裕子（立命館大学教授）

参加者数：学内41名（教員35/44名、参加率79.5%；学部生2名、大学院生2名、修了生2名）、学外11名

アンケート結果：満足・まあ満足93%、やや不満足・不満足7%

②テーマ：海外の文献から理論的アプローチを学ぶ（実証主義、構造主義、構築主義）日時：

日時：2025年8月5日（火）10：00～11：30 講師：山口賢一（沖縄県立看護大学 准教授）。

参加者数：学内13名（教員13/44名、参加率29.5%）

③看護教育支援員対象研修会

日時 第1回：令和7年5月20日（火）（5/5名、参加率100%）

第2回：令和7年8月14日（木）（5/5名、参加率100%）

第3回：令和8年3月13日（金）（5/5名、参加率100%）

内容：看護教育制度や臨地実習指導における教員の関わり、過去のインシデント・アクシデント事例の共有と実習に向けた対策など、参加者のニーズに基づき研修プログラム

を作成し、実施した。アンケート調査の結果は、参加者全員が満足したと回答した。

④ラウンドテーブル・ディスカッション：科研費に関する報告会

日時：2025年8月6日（水）13時～14時10分 講師：瓜崎貴雄（沖縄県立看護大学教授）、大城真理子（沖縄県立看護大学准教授）

参加者数：学内19名（教員19/44名、参加率43.1%）

⑤沖縄県公立大学運営事務研究会の開催（令和7年度本学が幹事校）

日時：令和7年10月21日（金） 参加者：本学事務職員9名、学外4名（名桜大学、沖縄県立芸術大学）

内容：働き方改革、事務の簡素合理化など各大学の運営上の課題について意見交換

(8) 大学教員研修セミナーに新任教員2名を派遣した。

(9) 産学官連携強化、研究活動推進のため、職務発明等規程、共同研究取扱規程の整備を行った。

(10) 研究活動推進のため、新たに研究活動推進助成金制度を整備し、次年度から募集を行うこととなった。

4) 次年度に向けた課題

(1) サバティカル制度実施要項を策定したが、服務規程等との整合が取れていない箇所があるため見直しを行い、活用できる制度に見直す必要がある。

(2) 研究員の受入について、改めて整理する必要がある。

21. 紀要編集委員会

1) 構成員

委員：◎金城忍、◎謝花小百合、上原 和代、瓜崎貴雄、山城綾子、砂川ゆかり
事務局：三宅

2) 所掌事項

- (1) 紀要の編集、発行及び推進に関すること
- (2) シンセサイザーの編集及び発行に関すること
- (3) その他紀要に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月9日(水)	1. 令和7年度紀要等原稿投稿の流れについて 2. 紀要第27号査読者の決定について 3. 年度計画について 4. 紀要に記載された論文の転載許可について 報告： 1. 令和7年度当初予算について 2. 教育実践紀要の進捗状況について
2	令和7年 5月12日(月)	1. 紀要27号の査読結果の確認について 2. 令和7年度紀要等原稿投稿の流れについて 3. 査読規程策定に向けた検討について
3	令和7年 7月4日(金)	1. 紀要第27号の再査読結果の確認について 2. 紀要第27号投稿論文の採否について 報告： 教育実践紀要の投稿依頼について
4	令和7年 8月19日(火)	1. 紀要第27号の再査読結果の確認について 2. 紀要投稿規程の一部改正について 報告： 教育実践紀要の投稿依頼について
5	令和7年 10月7日(火)	1. 紀要第27号(上半期分)の再々々査読結果の確認について 2. 紀要第27号(下半期分)査読者の決定について 報告： 紀要第27号(下半期分)島嶼レビューに関する投稿スケジュールについて
6	令和7年 10月24日(金)	1. 紀要第27号(上半期分)の最終原稿の確認について 2. 紀要第27号(下半期)の査読結果の確認について 報告： 1. 「沖縄県立看護大学紀要第27号データ編集等業務」について 2. 紀要第27号(下半期分、島嶼レビュー)査読依頼案について
7	令和7年 12月12日(金)	1. 紀要第27号(下半期分)の査読結果の確認について 報告： 「沖縄県立看護大学紀要第27号データ編集等業務」について
8	令和8年 1月7日(水) (メール開催)	1. 紀要第27号(下半期分)の最終原稿の確認について

9	令和8年 2月6日(金)	1. 紀要第27号(上半期・下半期)著者校正2回目終了後の原稿の確認について 2. 紀要第27号(島嶼レビュー)再査読・委員確認後の最終原稿投稿依頼について 3. 紀要第27号原稿の順番について
---	-----------------	---

(1) 沖縄県立看護大学紀要第27号の編集

年2回の募集により、投稿数10件、うち掲載9編。投稿者の修正期間を延長したことで、投稿取り下げ数が減少し、結果として掲載数が増加した。

(2) 沖縄県立看護大学紀要第28号(特集号)の編集

本学の島嶼保健看護研究25年間のレビュー7編を、紀要第28号特集号と発刊予定である。しかし、全体的な構成など検討が必要であり、今後は沖縄島嶼保健看護協働センターの委員長および担当者と検討していく。研究の蓄積を体系的に整理し、特集号として発信することで、学内外への研究成果の可視化に寄与すると考える。

(3) 査読者マニュアル策定に向けた検討

学術論文の質向上を目的に、査読規程の策定に向けて、他大学や学会における査読規程の有無や内容を調査、必要な資料の収集を行った。今後も引き続き、査読者マニュアルの策定に向けて取り組みを進める。

4) 次年度に向けた課題

引き続き、教員の研究成果発信を活性化するため、大学紀要への投稿やシンセサイザーへの参加を促す方策を継続して実施する。

教育実践紀要は、年2回募集を行い投稿数が0件であった。この状況を改善するため、他委員会と連携し、定期的に公表できるような取組みや仕組みづくりが可能か検討していく。

また、査読規程策定に向けた取組のほか、投稿者から査読者に対して返信する際のマナーなコミュニケーションの基本を学ぶFD研修、査読方法や評価の視点を学ぶFD研修等の企画を検討し、これらの研修を通して、査読の質向上と投稿者・査読者双方のスキル向上を図る。

22. 研究倫理審査委員会

1) 構成員

委員：◎上原和代、○井上松代、瓜崎貴雄、山口賢一、大城真理子、金城忍（年度途中退職）
川津知大、吉田安規良、長嶺由次

事務局：松田

2) 所掌事項

- (1) 研究における倫理のあり方に関わる基本的事項に関すること
- (2) 研究者から申請された研究等に関わる研究計画書の倫理審査に関すること
- (3) その他研究倫理に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月24日(木)	一般審査2件
2	令和7年 5月22日(木)	一般審査6件、迅速1件
3	令和7年 6月26日(木)	一般審査3件
4	令和7年 7月24日(木)	一般審査3件、迅速審査1件
5	令和7年 8月28日(木)	一般審査2件、迅速審査2件
6	令和7年 9月25日(木)	一般審査2件
7	令和7年 10月23日(木)	一般審査1件
8	令和7年 12月25日(木)	一般審査1件
9	令和8年 2月26日(木)	一般審査1件、迅速審査1件
10	令和8年 3月26日(木)	一般審査3件

(1) 研究倫理審査の審議

「公立大学法人沖縄県立看護大学研究倫理委員会規程」および「公立大学法人沖縄県立看護大学研究倫理委員会運営要領」に則して、研究倫理審査申請書一式（研究計画書を含む）を審査した。審査件数は計29件（一般審査24件、迅速審査5件）であり、承認件数は22件（一般審査21件、迅速審査4件）（3月末時点）であった。令和7年度の審査はすべてオンライン（ZOOM）で行った。昨年度は17件（うち迅速審査2件）であったため、今年度は審査件数1.7倍、迅速審査は2.5倍で、組織構成員による研究活動が活発となり、迅速審査の活用が進んでいると評価する。

(2) 審査会の効率化

4月に審査会に先立って委員と今年度の方針として審査の効率化のため、面談は1件30分を超えないこと、審査の指摘は倫理的配慮に関することのみとすること（例えば、研究計画への意見はそ

の他のコメントとする、誤字誤用は包括的な指摘のみ)などを共有した。審査件数が多く予定時間を超過したのは5月(一般審査にて面談4件、書面2件)、その他はおよそ計画通りの時間(1件30分以内、60分以内/回)で審査を進めることができた。面談が早く終了した回は研究倫理に関するFD計画への助言を得る機会とした。

(3) FD活動

10月15日、教職員連絡会議後に30分間のFDを行った。テーマは本審査でよく論点となる「利益相反」に加えて、迅速審査の活用を見込んで「介入と侵襲・迅速審査」とした。はじめに3つのキーワードに関するクイズに即席の教員チームで回答してもらい、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文科省,厚労省,経産省,2021;2023改訂)に基づいて作成したパワーポイントで解答解説をしつつ、包括同意やオプトアウトの具体例、審査様式を紹介しながら本学で迅速審査に該当する研究計画の例を示した。事後アンケートでは研究倫理について複数名で話し合う機会になった。短時間で複数回あるとよいなどの意見であった。

4) 次年度に向けた課題

(1) 審査と効率化

遠隔面談と面談審査30分以内は継続して行う。面談審査とする基準を設けているが(特に倫理的配慮が必要な対象である、計画が複雑など)、今年度は大学院生が申請者であるものは優先して面談審査とした。理由は申請者の研究経験が少なく、計画書の記載漏れが多いこと、書面のみでのやりとり(1往復)では審査委員会の指示や意図が伝わりにくいためである。次年度以降も院生の倫理審査申請が重なる月は面談審査の件数が増える予測である。今年度は規定を逸脱しない範囲で学内委員の分担件数を制限し、審査書類の作成の時間を確保した。迅速審査の活用促進については、現時点の倫理審査申請書(様式1)に申請者の希望する審査の種類(一般か迅速か)のチェックボックスはあるが、迅速審査に該当する理由を表明する様式ではない。また、2023年7月の迅速審査に関する本委員会規定の改正後、迅速審査の申請があった際は、申請資料を閲覧し全委員の合意をもって迅速審査を決定し、2名の委員が審査を行う手続きであるが、審査の効率化と公正性の観点から、閲覧する委員の範囲および全委員の合意が妥当かを再検討する。

(2) 面談審査での申請者と委員とのコミュニケーション

審査は研究倫理申請書と倫理的配慮に係る2-3点に絞って行い、面談の際は一方的な指摘とならないよう、申請者の計画や意図を引き出すコミュニケーションを心がけ、研究倫理をどのように遵守できるか提案型とした。次年度も初回の審査会前には委員へ方針を共有し、審査の効率化と共に審査会での委員のアサーティブなコミュニケーションを期待する。

(3) 構成員の研究倫理への理解を深める

構成員を対象に引き続き年度1回以上のFDを計画する。月ごとの審査の受け入れ状況にもよるが、前年度委員会で計画し5月までに行うことが望ましい。

23. 地域協働連携センター運営委員会

1) 構成員

委員：◎佐久川政吉、○山口初代、牧内忍、鈴木ミナ子、長濱直樹
事務局：川上

2) 所掌事項

- (1) 地域住民との連携に関すること
- (2) 他機関との連携に関すること
- (3) 島嶼看護の人材育成に関すること
- (4) 生涯学習の支援に関すること
- (5) 学生ボランティアに関すること
- (6) その他センターが必要と認めた事項

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月23日(水)	1. 定期的な活動等報告 1) 与儀小学校区まちづくり協議会 2) 寄宮中学校ピアサポート 3) 子どもの居場所ボランティアセンター 4) その他：教員および学生による地域協働活動 2. 公開講座 3. 教育（ゼミナールI等）との連携
2	10月22日(水) (メール会議)	1. 定期的な活動等報告 1) 与儀小学校区まちづくり協議会 2) 寄宮中学校ピアサポート 3) 子どもの居場所ボランティアセンター 4) その他：教員および学生による地域協働活動 2. 公開講座
3	令和8年 2月24日(水)	1. 定期的な活動等報告 1) 与儀小学校区まちづくり協議会 2) 寄宮中学校ピアサポート 3) 子どもの居場所ボランティアセンター 4) その他：教員および学生による地域協働活動 2. 公開講座 3. 新年度に向けて：沖縄島嶼保健看護協働センターとの統合

*活動の詳細は、6. 地域貢献・地域社会を参照。

(1) 活動の概要

令和7年度の地域協働連携センターの活動は、地域社会との協働を基盤とし、公開講座、ボランティア活動、地域団体との連携事業などを通して多様な地域貢献活動を展開した。公開講座では、従来の単発講演型から実践的・継続型の学びへと転換し、ペアレントトレーニングの連続講座などを実施することで、地域住民や専門職が共に学び合う機会を創出した。

また、学生ボランティア活動では、医療・保健・福祉分野に加え、教育、防災、地域イベントなど幅広い分野で活動を展開し、沖縄県内各地や離島地域において地域住民との交流と実践的学習を

深めた。さらに、自治体や学校、医療機関、地域団体との協働により、インターンシップや地域行事への参画、学校でのピアサポート活動などを実施し、学生が地域社会の課題や特性を理解する学修機会を提供した。これらの活動は、大学と地域との信頼関係の構築を基盤とし、学生のグローバルな視点と地域に根ざした保健看護実践力の育成に寄与するものであった。

(2) 次年度に向けた課題

地域協働連携センターは、中期計画に基づき、令和8年度より沖縄島嶼保健看護協働センターへ統合されることとなり、これまで本センターが担ってきた地域連携活動を円滑に引き継ぐ体制整備が課題となる。特に、島嶼を除く地域団体や学校、自治体等との継続的な協働関係、公開講座やボランティア活動の運営方法、学生参加の仕組みなどについて、活動の経緯や実施方法を整理し、組織として共有していく必要がある。

また、地域との信頼関係を基盤として築いてきた協働の枠組みを維持しつつ、島嶼地域を含む広域的な地域連携へと発展させる視点も重要である。今後は、これまでの活動成果を踏まえ、沖縄島嶼保健看護協働センターへ役割機能と連動した新たな地域協働体制の構築が求められる。

24. 国際交流室運営委員会

1) 構成員

委員：◎謝花小百合、○山口賢一、山城綾子、知念久美子、眞浦有希、下中壽美、
宮城裕子、屋宜佳成、有銘恭子、伊波良剛

事務局：片山

2) 所掌事項

- (1) 教育及び学術に関する国際交流についての基本方針に関すること
- (2) 教育及び学術に関する国際交流計画及びその実行に関すること
- (3) 留学生の派遣及び受け入れに関すること
- (4) その他教育及び学術に係わる国際交流に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月3日(木)	1. 2025年度の業務項目要旨について 2. 委員会役割分担について 3. OPCNのプログラムの詳細および役割分担
2	令和7年 4月23日(水)	1. 2025年台湾学生受け入れ(OPCNプログラム)調整進捗状況について 2. 2025年夏の台湾研修 学部学生派遣について 3. 2025年3月のTMU研修の報告書作成についての進捗状況について 4. カビオラニCCとの交流事業の進捗状況について 5. 年度計画について 6. ハワイ大学ウェストオアフ校との交流について 報告： 令和7年度予算について
3	令和7年 5月28日(水)	1. 台湾研修受け入れの進捗状況(調整、予算)について 2. 台湾研修生への連絡事項について 3. 台湾研修生および本学の学生へのアンケート内容について 4. 東南植物楽園での研修/本学学生企画案について 5. MOAプログラム名表記について 報告： 1. 2025年度「沖縄からアジアへトビタテ」申請(応募者5名) 2. TMU研修報告書の進捗状況 3. 台湾研修(護理大学)派遣学生の選考結果(8名)と説明会
4	令和7年 6月25日(水)	1. 台湾研修生受け入れの内容・スケジュール確認・通訳資料の確認について 報告： 1. TMU看護研修(2025年3月)の報告書 2. 「沖縄からアジアへトビタテ」選考結果 5名が応募し、1年次1名、2年次2名の計3名が最終選考合格
5	令和7年 7月11日(水)	1. 台湾研修生受け入れプログラム最終確認について 報告： 1. 海外研修(TMU、2025年3月)報告書進捗 2. 海外研修(TMU、2025年3月)オープンキャンパス用ポスター 3. 海外研修(国立台北護理健康大学、2025年8月)進捗 4. 訪中団募集に3名の応募、2名学内選考

6	令和7年 9月24日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外研修(国立台北護理健康大学)報告書&ポスター作製担当について 2. 大学案内の原稿作成担当について 3. HP掲載原稿作成について 4. ウチナンチュ・ナースデイ関連企画について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本学生支援機構主催留学支援制度:申請予定 2. 2025PCN 研修プログラム(7月14-7月25)報告書 進捗状況 3. 友好訪中団研修終了(2年次2名+宮里先生) 4. 国立台北護理健康大学研修終了 5. 令和7年度第1回円卓会議(沖縄 トビタテ) および情報交換会
7	令和7年 11月26日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際交流への意見への回答 グローバルな視点の養成についての課題認識と今後の方向性について、 2. 令和8年度当初予算の編成について 3. 大学ポータルにおける教育情報調査票の登録・公開について 4. 国際交流室運営委員会フォルダ整理について 5. ミネタ・アンバサダー・プログラム応募について(12/5説明会参加予定) 6. TMU(2026年3月)の2次募集について 7. ウチナンチュ・ナース交流会について 8. 本学ウェブサイトに関して新レイアウトについて 報告: <ol style="list-style-type: none"> 1. 2026年大学案内の執筆、担当を確認 2. 令和7年度第1回沖縄地域留学生交流推進協議会運営委員会参加報告 3. 友好中訪団の報告会への参加報告 4. 国立台北護理健康大学研修終了報告 5. 令和7年度第1回円卓会議(沖縄 トビタテ) および情報交換会報告 6. 台湾研修生受入れの報告書用アンケート報告
8	令和8年 1月28日(水) (メール開催)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際交流の認証評価にむけて 2. 令和8年度沖縄研修プログラム案・役割分担 3. ロヨラ大学学生との交流会(5/25)の企画担当について 4. ウチナンチュ・ナースデイの企画(在学生との交流) 5. トビタテ沖縄の学生の記事および研修報告会の開催企画について 6. 年次計画の記載 報告: <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度沖縄研修報告書の初稿が完成・確認後HP掲載予定 2. 令和7年度台湾研修(夏)の報告書最終稿が完成・確認後HP掲載予定 3. 令和8年3月のTMU(2026年3月)研修参加者のキャンセル 5. ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジとの協定について
9	令和8年 2月25日(水) 予定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年次計画実績について 2. 令和8年度役割分担(案)について 3. 令和8年度沖縄研修プログラム・役割分担 4. ロヨラ大学学生との交流会(5/25)の企画担当について 5. ウチナンチュ・ナースデイの企画進捗について 報告: ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジとの協定締結
10	令和8年 3月27日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウチナンチュ・ナースデイ記事のホームページ掲載について 2. 7月の台湾研修生受け入れ:国立台北護理健康大学からの受け入れ人数 3. 8月の海外研修(国立台北護理健康大学):送り出し人数について 報告 <ol style="list-style-type: none"> 1. ウチナンチュ・ナースデイ開催(3月9日)の報告 2. 台湾研修の単位認定(英語Ⅲ2単位、島嶼国際保健看護1単位)

(1) 国際交流活動の新たなホームページ設定と活動情報の公開

これまでの国際交流室運営委員会の活動とレイアウトをまとめおよび大学公式ウェブサイト運営委員の栗島先生と協議し、ホームページ設置を行った。

沖縄研修 2025 報告書、夏の台湾研修 2025、春の台湾研修 2024、友好中訪団の報告書、JICA 研修 2025 報告書の情報公開および研修受入および海外派遣の実績の公開をおこない、活動の可視化を行った。

(2) 沖縄研修 2025 の運営および報告書作成

台北医学大学と国立台北護理健康大学の研修生の受け入れ企画のため、保健医療福祉施設との日程調整とプログラムの確定・研修生 7 名（台北医学大学学生 2 名、国立台北護理健康大学学生 5 名）受け入れの担当・研修報告書作成を行った。

(3) 春の台湾研修 2025 の企画および報告書作成

春の台湾研修の募集、研修の説明、派遣学生の選考および派遣先の国立台北護理健康大学の担当者との調整を行い、無事に派遣学生 8 名を研修へ送り出した。研修中は派遣学生と密に連絡を取り、安全を確保した。また、社会情勢および災害などが頻発していることを鑑み、派遣中の連絡網について、学務課長および総務課長に相談し、本学の緊急時連絡網を作成した。

派遣学生の帰国後に台湾研修プログラムへの参加内容と学びレポートの提出および校正を行い、報告書を作成した。

(4) 春の台湾研修 2024 報告書の作成

春の台湾研修生の研修プログラム内容および学びのレポートの校正を行い、報告書を作成した。

(5) 友好中訪団へ派遣する学生の選考および 2 名の学生派遣を行った。

(6) 沖縄からアジアヘトビタテの申請者 5 名の申請書類の添削および校正を行った。申請が受理された学生 3 名をシンガポール研修に送り出した（2026 年 2 月 15 日から 3 月 15 日）

(7) ハワイカピオラコミュニティ大学との学術交流協定を進め、締結を行った。

(8) ミネタ・アンバサダー・プログラムオンライン説明会に参加し、新たな海外研修に関する資金獲得の模索を行った。

4) 次年度に向けた課題

引き続き、研修受入および海外派遣への取り組みを行う。

これまでは、沖縄からアジアヘトビタテの申請支援を行っていたが、帰国後のレポートを依頼し、ホームページに掲載し、在学生への周知など図る。

台湾研修と英語および国際保健看護についての単位認定など、海外研修と本学の教育と連携していることの周知を図る。

台湾研修の事前説明会などを行い、在学生が海外研修へ興味関心が持てるような機会を多くすることの検討していく。

ウチナンチュナースデイで本学卒業の海外で働く看護師との交流について、在学生が参加しやすい日程を検討する。

25. 沖縄島嶼保健看護協働センター

1) 構成員

委員：◎佐久川政吉、上原和代、瓜崎貴雄、大城真理子、砂川ゆかり、知念久美子
知念真樹、名城政広、西平朋子、山口初代、宮里智子

事務局：川上

2) 所掌事項

- (1) 島嶼保健看護の人材育成及び確保に関すること
- (2) 島嶼地域の地域貢献に関すること
- (3) その他、島嶼保健看護に関すること

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 5月14日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域貢献 <ol style="list-style-type: none"> (1) 多良間村住民会議 (2) 多良間出身高校生と大学生との交流「ふしやぬふうぐなーろ café」 (3) 離島たびんちゅサークル (4) その他 2. 教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部・別科助産 (2) 大学院 3. 研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 島嶼保健看護立ち上げ開学25周年記念誌 4. その他
2	7月7日～13日 (メール会議)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域貢献 <ol style="list-style-type: none"> (1) 多良間村住民会議 (2) 多良間出身高校生と大学生との交流「ふしやぬふうぐなーろ café」 (3) 離島たびんちゅサークル (4) その他 2. 教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部・別科助産 (2) 大学院 3. 研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 島嶼保健看護立ち上げ開学25周年記念誌 4. その他
3	11月26日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域貢献 <ol style="list-style-type: none"> (1) 多良間村住民会議 (2) 多良間出身高校生と大学生との交流「ふしやぬふうぐなーろ café」 (3) 離島たびんちゅサークル (4) その他 2. 教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部・別科助産 (2) 大学院 3. 研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 島嶼保健看護立ち上げ開学25周年記念誌 4. その他
4	令和8年 1月26日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域貢献 <ol style="list-style-type: none"> (1) 多良間村住民会議 (2) 多良間出身高校生と大学生との交流「ふしやぬふうぐなーろ café」

		(3)離島たびんちゅサークル (4)その他 2. 教育 (1)学部・別科助産 (2)大学院 3. 研究 (1)島嶼保健看護立ち上げ開学 25 周年記念誌 4. その他
5	3月11日(水)	1. 地域貢献 (1)多良間村住民会議 (2)多良間出身高校生と大学生との交流「ふしやぬふうぐなーろ café」 (3)離島たびんちゅサークル (4)その他 2. 教育 (1)学部・別科助産 (2)大学院 3. 研究 (1)島嶼保健看護立ち上げ開学 25 周年記念誌 4. その他 ・寄附講座との関連 ・地域協働連携センターとの統合に向けて

令和7年度は、地域貢献・教育・研究を柱として島嶼保健看護に関する多様な活動を展開した。

地域貢献では、多良間村との包括連携協定のもと、住民主体の地域包括ケアシステム構築を目的とした住民会議「じゅ！まーつき」をほぼ毎月開催し、その内容を『じゅ！まーつき通信』として全世界帯へ配布した。また、多良間出身高校生を対象としたピアサポート「ふしやぬふうぐな〜り café」を継続し、交流会や研究発表等を実施した。また、離島たびんちゅサークルによるマラソン大会や地域交流も行った。教育面では、情報共有として、宮古・久米島等での早期体験実習や在宅保健看護実習、地域保健看護実習Ⅱを行い、島嶼保健看護を担う人材育成を確認した。大学院では「実践島嶼保健看護（JANPU-NP）」カリキュラムの承認を共有した。研究では島嶼保健看護教育・実践に関する成果の発表や紀要投稿を進めるとともに、開学 25 周年事業として関連研究の取りまとめを行った。

4) 次年度に向けた課題

次年度は、本センターの取り組みが4年目に入り、これまでの地域貢献・教育・研究の成果を踏まえた活動の深化が求められる。特に、多良間村との包括連携協定を基盤とした住民主体の地域づくりの継続的支援や、学生の離島体験・人材育成の充実を図ることが重要である。加えて、次年度からは大学中期計画の組織再編に伴い、地域協働連携センターの役割も本委員会の活動に関わることとなり、地域連携の推進体制を整理する必要がある。

一方で、委員数は少数体制となる見込みであるため、これまでの活動を維持・発展させるためには、役割分担の明確化や学内外との連携強化、学生や地域関係者の主体的参画を促す仕組みづくりが課題となる。限られた人的資源の中で、効率的かつ持続可能な運営体制を構築することが次年度の重要な検討事項である。

26. IR・データサイエンス教育推進委員会

1) 構成員

委員：◎佐伯宣久、○栗島一博、眞浦有希
事務局：与那嶺隆、比嘉

2) 所掌事項

- (1) 教育・研究・法人運営に関する IR 分析とこれにもとづく提案
- (2) 数理・データサイエンス・AI 教育を推進し、自己点検ならび改善のための取り組み
- (3) デジタルトランスフォーメーションの推進

3) 委員会活動

回	日時	議題・報告内容等
1	令和7年 4月15日(火)	1. 委員会規程の確認 2. 令和7年度行動計画の確認 報告： MDASH 受審
2	令和7年 6月6日(金)	1. 学生用電源の拡充 報告：年度始め学生アンケート調査の結果 / 入試選抜枠間分析 (R6 学部在 学生)
3	令和7年 8月26日(火)	1. 学生用電源の拡充 2. IR のための情報集積 報告： アセスメントポリシーにおける当委員会の役割の確認
4	令和7年 9月24日(水)	1. 教育・研究・職場の環境教員意識調査の結果を受けた理事長報告・委 員会提言 2. 「情報学」2025 の自己点検 3. MDASH 修了証のデザイン 報告： 2025 年度前学期成績入試枠別 GPA 分析

(1) 学生定期実態調査

年度初めに学生に対して実態調査を実施した。通学手段やアルバイトなどの生活実態調査や健康面に関する調査、大学に対する満足度などの調査を実施した。

(2) 教員意識調査

教員を対象に、大学全体及び教員自身における教育・研究・職場の状況についてどのように考えるか意識調査を行った。

(3) 新入生の入学後の成績の入試選抜枠間比較分析

新入生の前学期必修科目 GPA を用いて、入試選抜枠間の差を検証するための比較分析を実施した。

(4) 令和6年度在学学生 GPA についての入試選抜枠間比較分析

令和6年度在学学生の GPA データを用いて、入試選抜枠間の差を検証するための比較分析を実施

した。

(5) 学生駐車スペース実態調査

大学周囲に駐車スペースがないことならびにこれが学生の学修に影響を与えていることが懸念されたことから、学部と別科助産専攻の学生を対象に実態調査を実施した。

(6) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）実施状況の自己点検

今年度の実施状況について、受講者アンケートの結果などを用いて点検をおこない、大学ウェブサイトで公表した。

(7) 新入生に対する受入方針方針（AP）適合度調査

APに関連した質問項目を設定し、今年度の学部卒業生を対象にアンケート調査をした。回答結果より AP の適合度を分析した。（入学試験委員会主導）

(8) 卒業生に対する学位授与方針（DP）適合度調査

DPに関連した質問項目を設定し、今年度の学部卒業生を対象にアンケート調査をした。回答結果より DP の適合度を分析した。

(9) 大講義室の受講者用電源の確保

受講者用座席に電源が設置されていないことから、Dx 推進の観点からそのインフラ整備の一環として、電源設置案を作成した。

(10) IRに関するFD・SD研修

IR活動を活発におこなっている他大学から講師を招き、自身の大学でのIR活動の状況についてご紹介いただいた。オンライン開催で42人の教職員の参加があった。

4) 次年度に向けた課題

(1) 教職員の意識改革

IRの本質である“データに基づいた意志決定”を教職員に浸透させ、これを実践していくために、FD・SD研修を実施し、本委員会によるIR活動を活発におこなっていく必要がある。

(2) データサイエンス教育の推進

次世代を支える学生に対して、“データに基づいた意志決定”を実践する素養が身に着く教育を推進していく必要がある。

学術情報委員会

委員長：宮里智子

委員：栗島一博、山城綾子、岡崎実子、兼島利奈、与那嶺隆

事務担当：下地、比嘉公宏

公立大学法人沖縄県立看護大学年報

令和7年度（2025年度）

2026（R8）年3月31日発行

発行者 沖縄県立看護大学

〒902-8513 那覇市与儀 1-24-1

電話（098）833-8800

FAX（098）833-5133